

市外居住者アンケート調査
報告書

平成 31 年 3 月
富津市

目次

I 調査概要	1
1. 調査の趣旨	1
2. 調査の方法	1
3. 調査結果の見方	1
4. 回答者の属性	2
II 調査結果	4
1. 富津市の認知度	4
(1) 認知度	4
(2) 富津市のイメージ	6
(3) 認知物	13
(4) 認知方法	16
2. 観光・交流	20
(1) 選択基準	20
(2) 来訪意思	24
(3) 来訪したくない理由	26
(4) 来訪経験	30
(5) 来訪場所	32
(6) 再訪意思	34
(7) 再訪したくない理由	36
3. 移住意向	40
(1) 移住希望	40
(2) 市への移住	43
(3) 移住を考えられる理由	46
(4) 移住したくない理由	50
(5) 移住に関して求めるもの	54

I 調査概要

1. 調査の趣旨

2020年度以降の富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に当たり、市外居住者の富津市に関する認知度等を把握するため、WEBアンケートを実施する。

2. 調査の方法

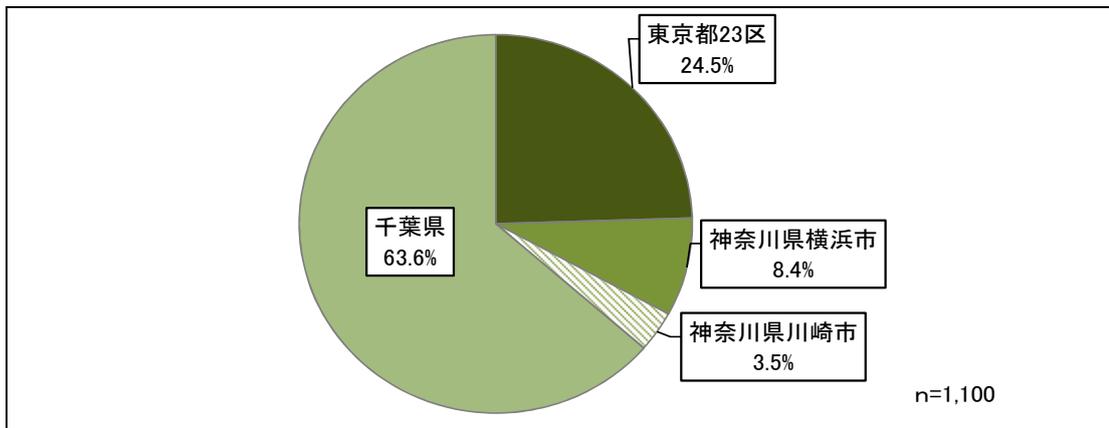
調査対象	次の地域に居住の20歳代から60歳代までの男女 1,100人 ①東京23区、横浜市及び川崎市 400人 ②千葉県内の都市部（人口15万人以上の市） 350人 ③千葉県内の都市部以外の地域（人口15万人未満の市町村） 350人
調査方法	インターネットを介したWEBアンケート調査
調査期間	平成30年11月

3. 調査結果の見方

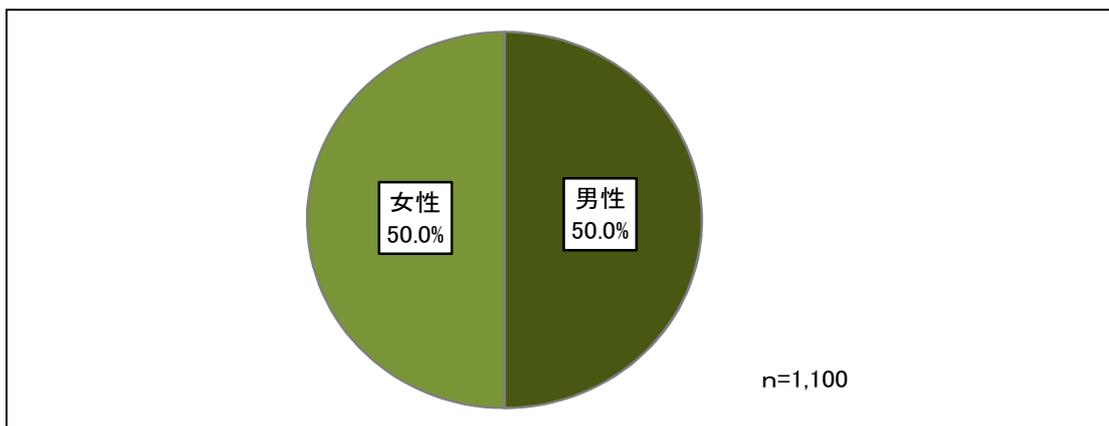
- ①各設問の比率は、傾向を分かりやすくするために「無回答」を除外して算出している。
- ②本文中の「SA」「MA」は以下の概略である。また、「n」はその設問の有効回答数を示す。
 - ・「SA」（Single Answer）：単一回答形式（選択肢の中から1つを選択してもらう設問）
 - ・「MA」（Multiple Answer）：複数回答形式（選択肢の中から複数を選択してもらう設問）
- ③掲載しているグラフの単位は「%」で、各設問の標本数を100%とした百分比で表示した。また、原則として小数点第2位を四捨五入しており、その結果として「SA（単一回答形式）」では、この比率の合計が100%にならないこともある。
- ④「MA（複数回答形式）」では、回答者が複数の選択肢を選択するため、百分比（%）の合計は通常100%を超える。

4. 回答者の属性

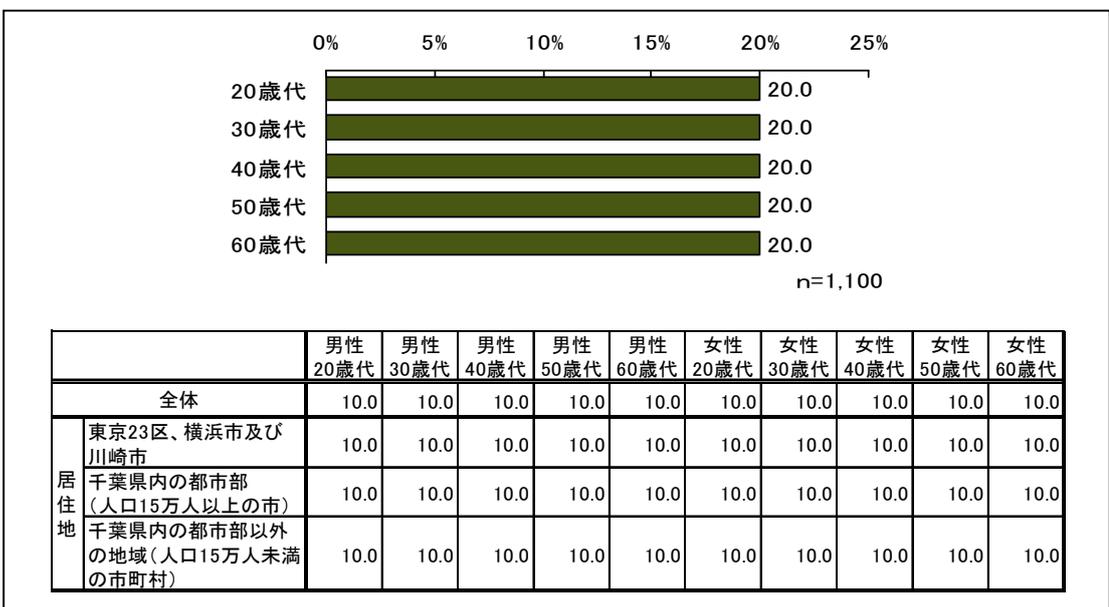
①居住地



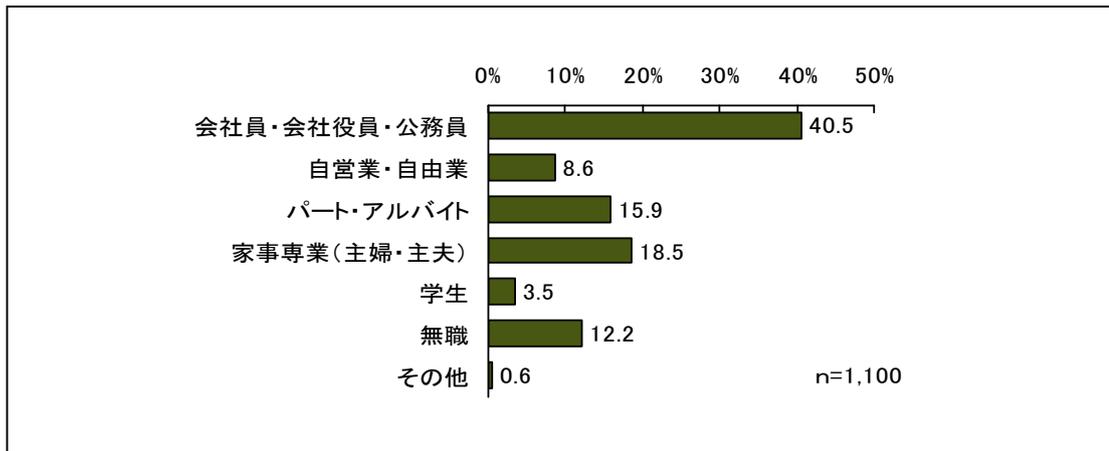
②性別



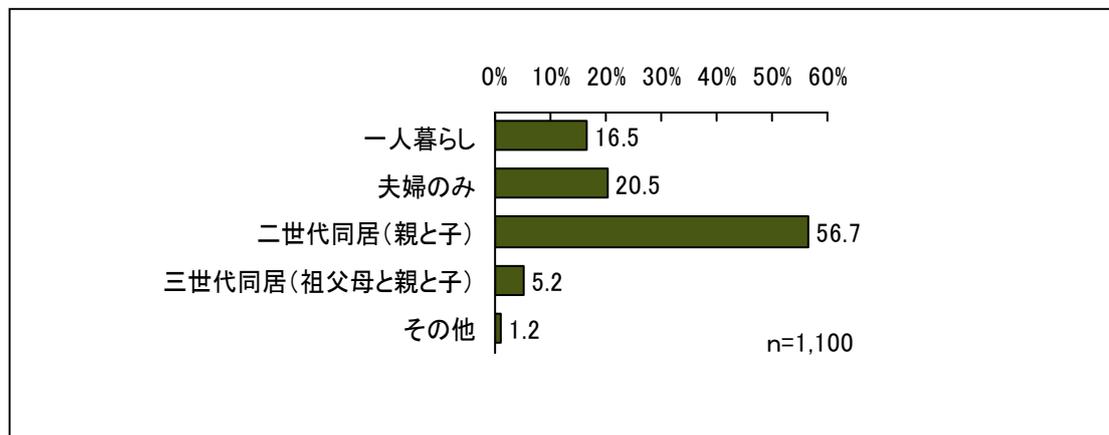
③年齢階層



④職業



⑤家族構成



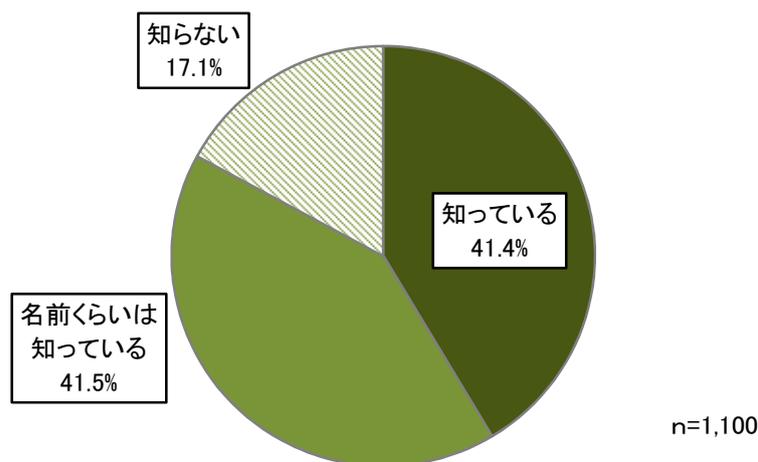
II 調査結果

1. 富津市の認知度

(1) 認知度

Q1. あなたは、富津市のことをご存知ですか（1つだけ）。

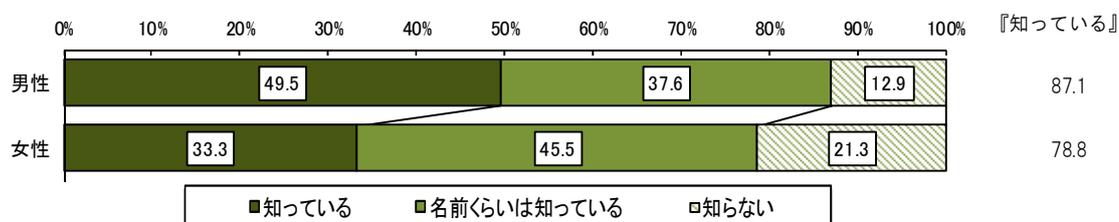
「知っている」「名前くらいは知っている」を合わせた『知っている』は82.9%で、「知らない」の17.1%を大きく上回っていることから、富津市の認知度は高いといえる。



■ 属性別動向

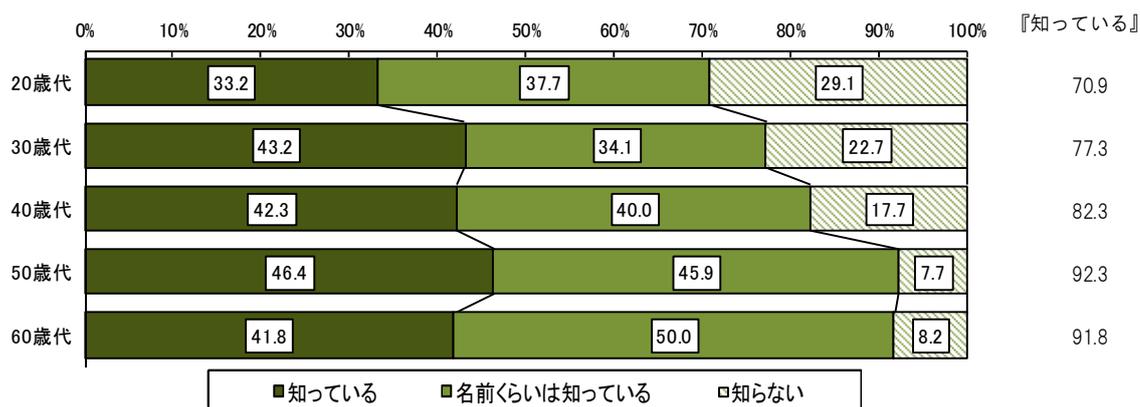
① 性別

・『知っている』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



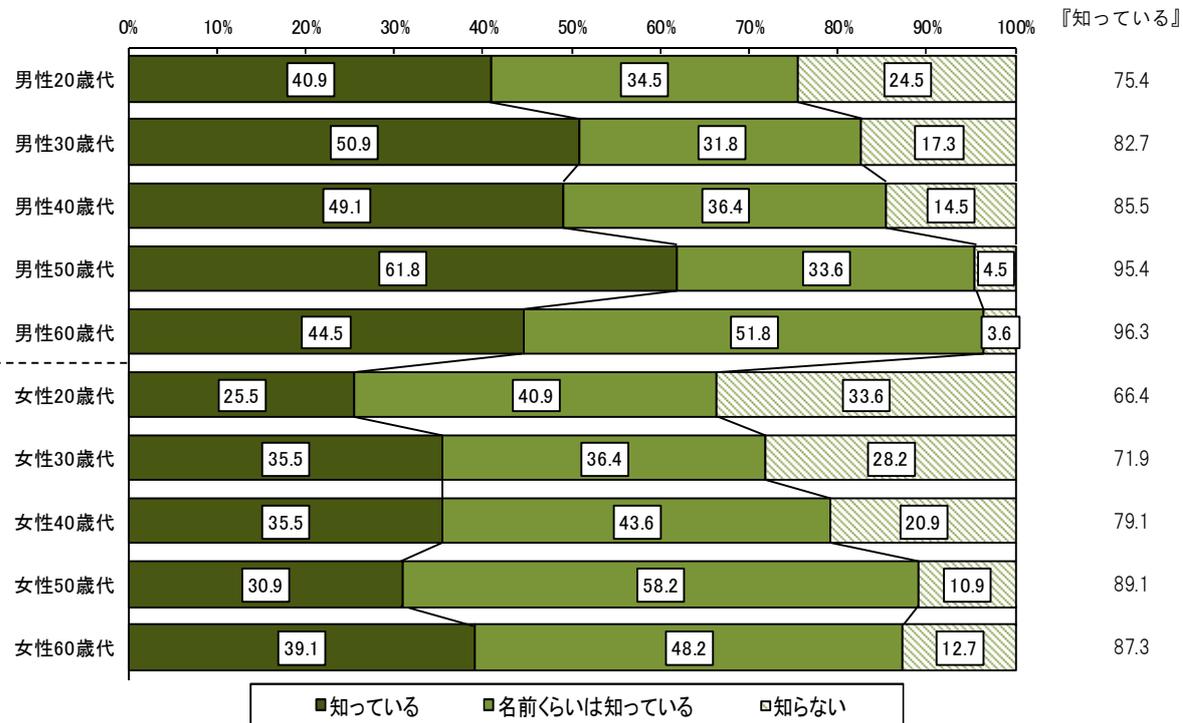
② 年齢階層別

・全体的な傾向として年代が上がるにつれて『知っている』の回答比率が高くなっている。『知っている』の回答比率が最も高いのは50歳代となっている。



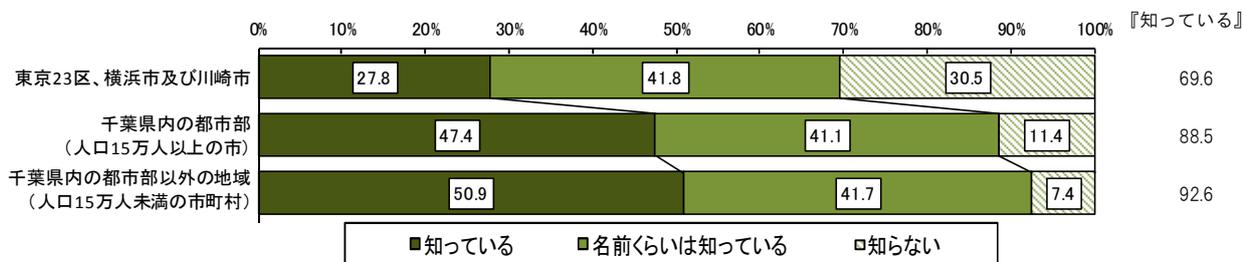
③性・年齢階層別

- 全ての年代で『知っている』の回答比率は、男性の方が高くなっている。『知っている』の回答比率が最も高いのは男性60歳代で、「知らない」の回答比率が最も高いのは女性20歳代となっている。



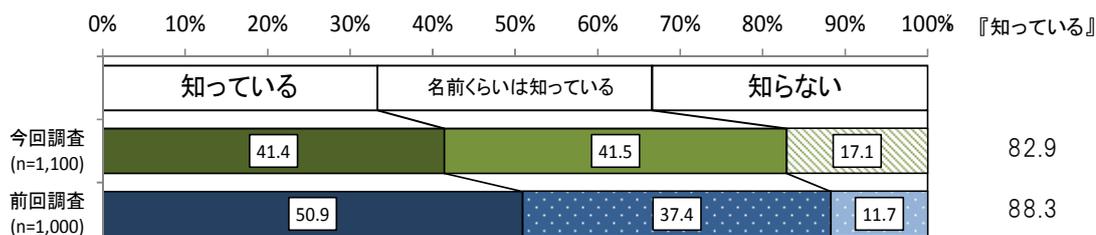
④居住地別

- 東京23区、横浜市及び川崎市は「知らない」の回答比率が「知っている」の回答比率を上回っている。



前回調査との比較

- 前回調査と比較して『知っている』の回答比率は減少し、「知らない」の回答比率は増加している。

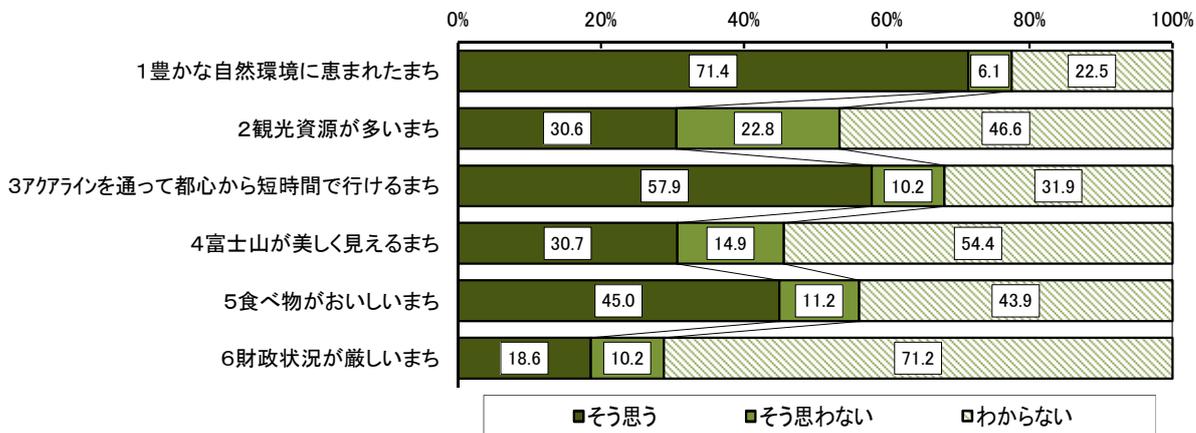


(2) 富津市のイメージ

Q2. あなたは、富津市にどのようなイメージを持っていますか（それぞれ1つずつ）。

※Q1で「知っている」または「名前くらいは知っている」とした者のみ回答

「そう思う」の回答比率が最も高いのは「豊かな自然環境に恵まれたまち」で、次いで「アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち」「食べ物がおいしいまち」となっている。



■属性別動向

①性別

- 男女ともに「そう思う」の回答比率が最も高いのは「豊かな自然環境に恵まれたまち」となっている。男女間の回答比率では「アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち」の差異が目立つ。

②年齢階層別

- 全ての年代で「そう思う」の回答比率が最も高いのは「豊かな自然環境に恵まれたまち」となっている。世代間の回答比率では「アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち」の差異が目立つ。

③居住地別

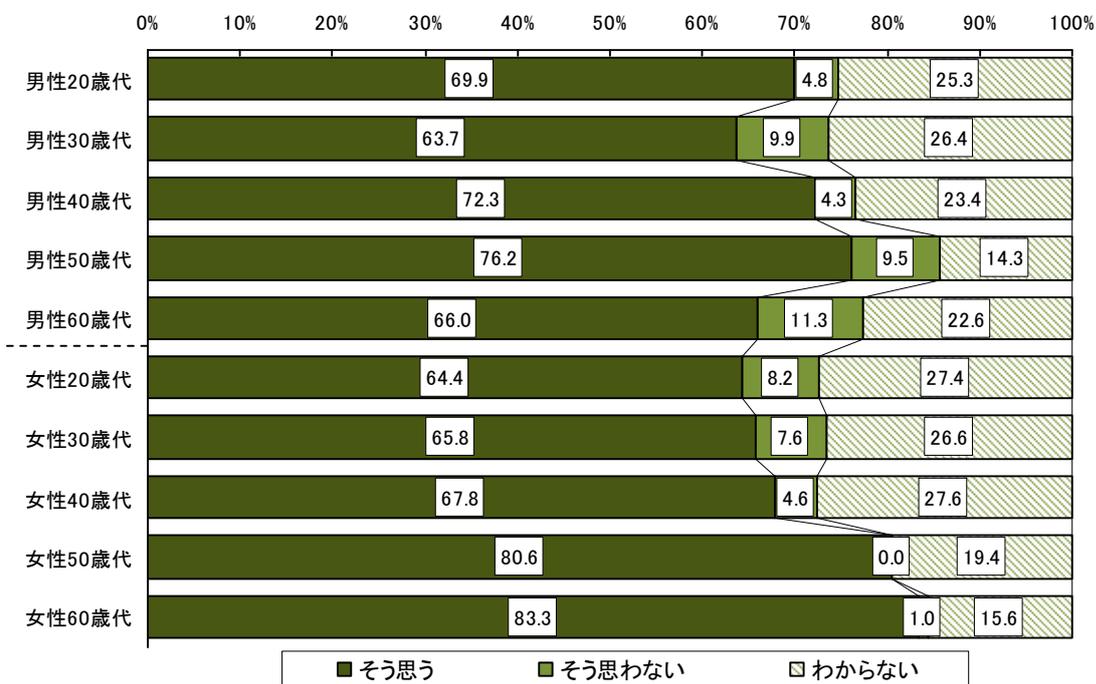
- 全ての居住地で「そう思う」の回答比率が最も高いのは「豊かな自然環境に恵まれたまち」となっている。全ての項目について東京23区、横浜市及び川崎市よりも千葉県内の方が「そう思う」の回答比率が高くなっている。

「そう思う」	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	東京23区、 横浜市及び 川崎市	千葉県内の 都市部	千葉県内の 都市部以外 の地域
1豊かな自然環境に恵まれたまち	69.7	73.2	67.3	64.7	70.2	78.3	74.3	63.7	78.4	71.3
2観光資源が多いまち	31.7	29.3	27.6	34.7	29.3	34.0	27.2	27.0	35.5	29.0
3アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち	66.2	48.7	48.1	50.0	56.9	58.6	72.3	53.2	59.7	60.2
4富士山が美しく見えるまち	33.6	27.5	30.1	32.4	26.5	25.1	39.1	29.9	30.6	31.5
5食べ物がおいしいまち	45.3	44.6	47.4	41.8	43.6	42.9	49.0	42.8	48.7	43.2
6財政状況が厳しいまち	21.3	15.7	25.6	24.1	15.5	16.7	13.4	15.1	19.7	20.7

④性・年齢階層別

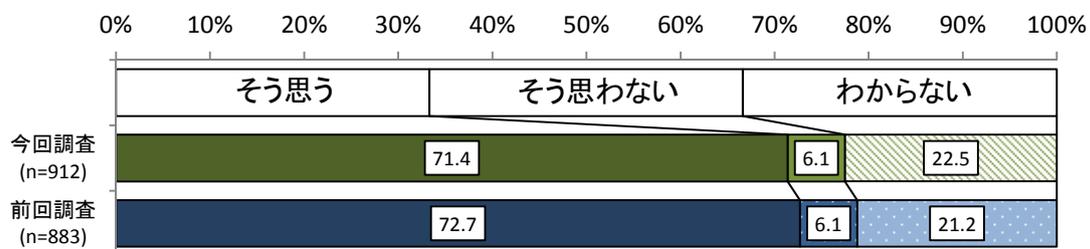
1) 豊かな自然環境に恵まれたまち

- 男女とも全ての年代で「そう思う」の回答比率が高くなっている。男性では40歳代と50歳代の、女性では50歳代以上の回答比率が他の年代よりも高くなっている。



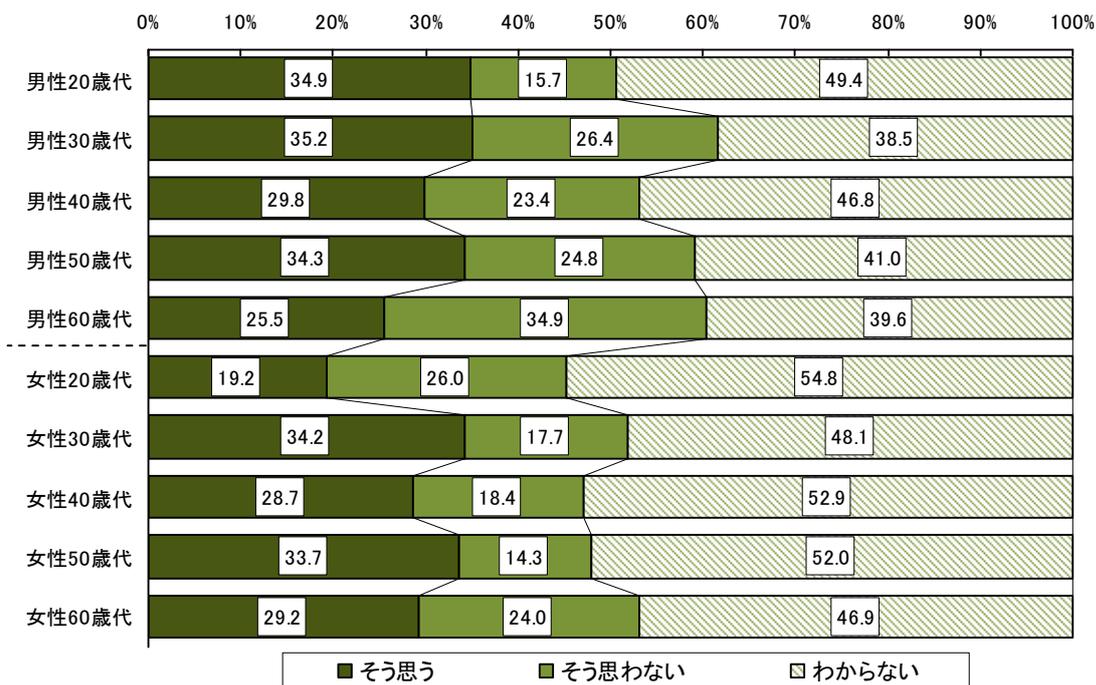
前回調査との比較

- 前回調査と比較して大きな差異はみられない。



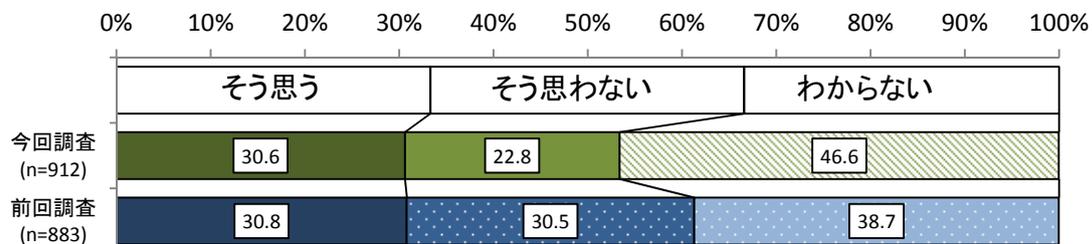
2) 観光資源が多いまち

- 男女ともに「そう思う」の回答比率が最も高いのは30歳代となっている。



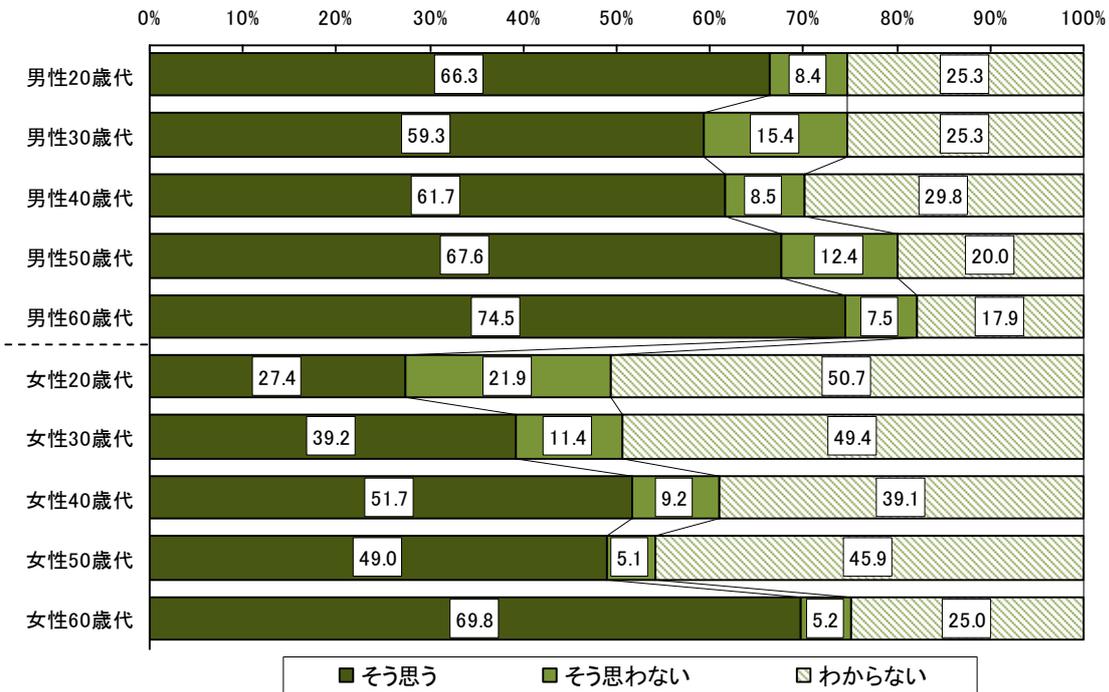
前回調査との比較

- 前回調査と比較して「そう思わない」の回答比率の減少、「わからない」の回答比率の増加が目立つ。



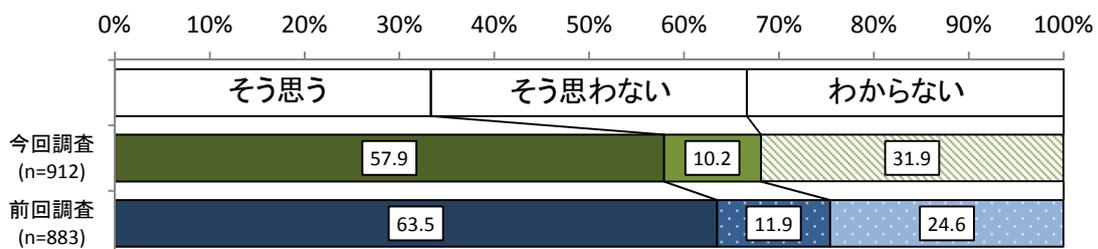
3) アクアラインを通過して都心から短時間でいけるまち

- 全ての年代で「そう思う」の回答比率は、男性の方が高くなっている。女性 20 歳代は「そう思う」の回答比率が他の区分と比較して特に低くなっている。



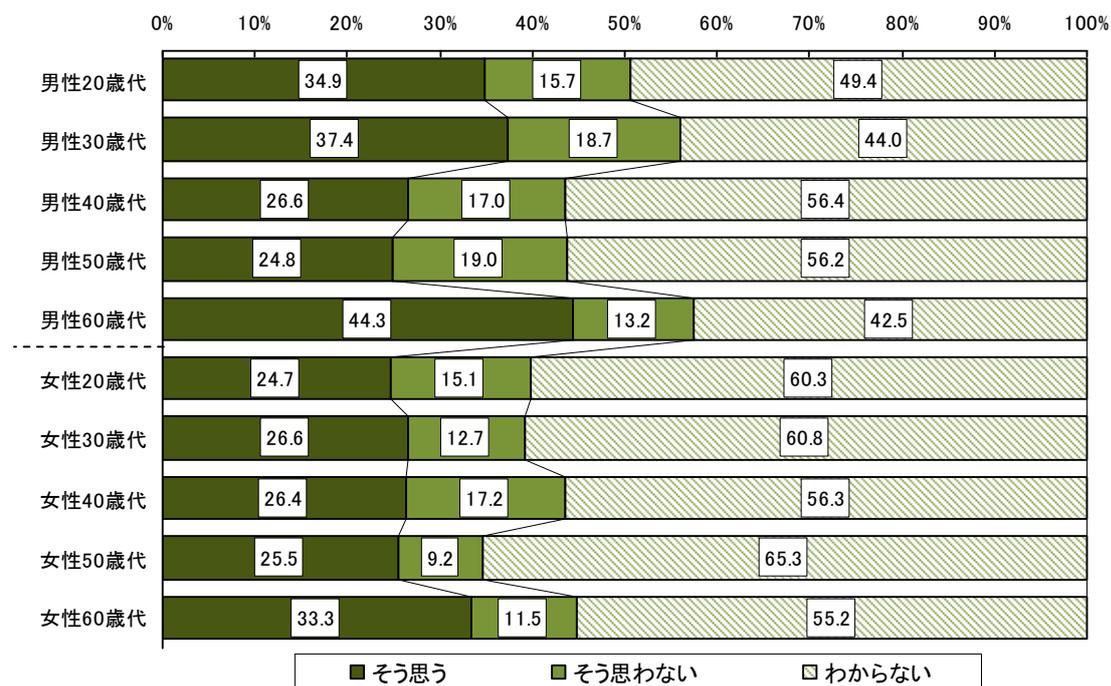
前回調査との比較

- 前回調査と比較して「そう思わない」の回答比率の減少、「わからない」の回答比率の増加が目立つ。



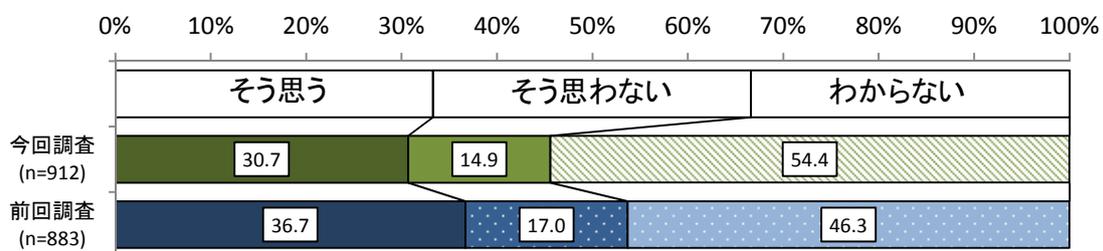
4) 富士山が美しく見えるまち

- ・50歳代を除く全ての年代で「そう思う」の回答比率は、男性の方が高くなっている。



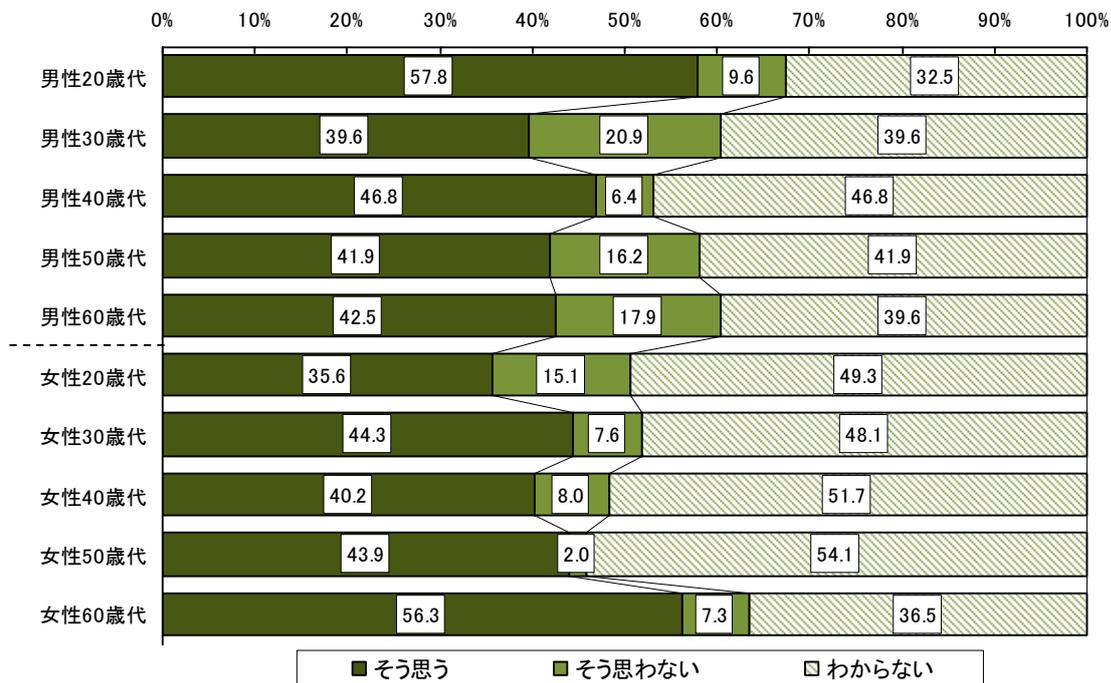
前回調査との比較

- ・前回調査と比較して「そう思う」の回答比率の減少、「わからない」の回答比率の増加が目立つ。



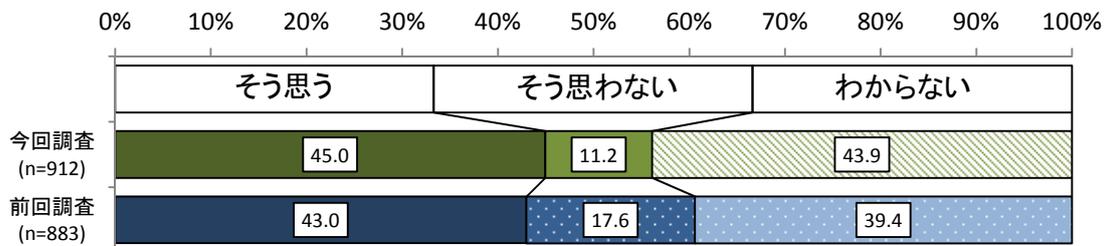
5) 食べ物がおいしいまち

- 男性 20 歳代と女性 60 歳代は「そう思う」の回答比率が他の区分と比較して突出して高くなっている。



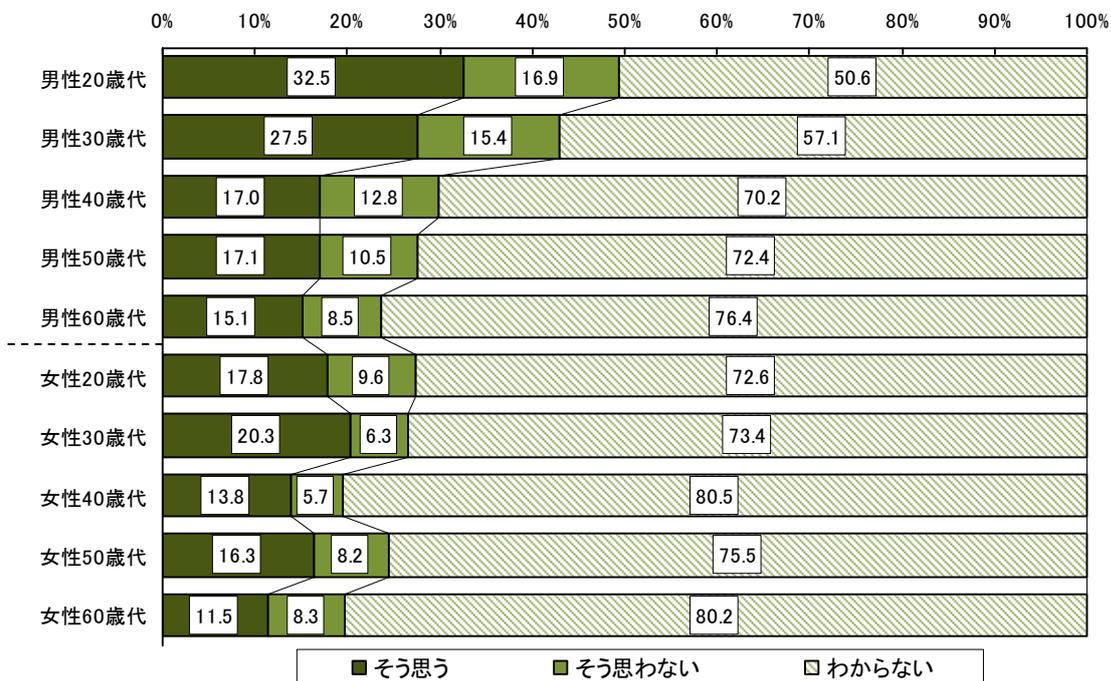
前回調査との比較

- 前回調査と比較して「そう思う」の回答している比率は増加し、「そう思わない」の回答比率は減少している。



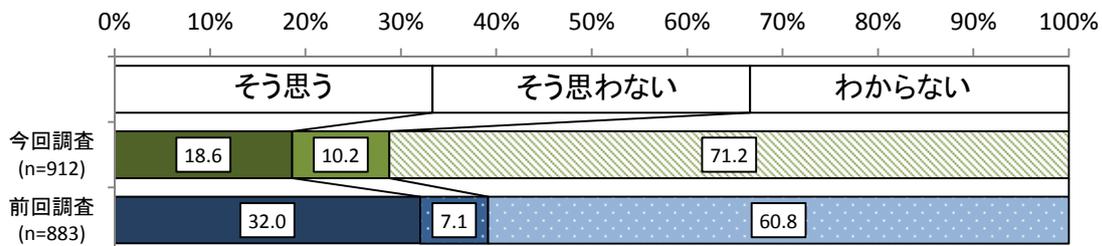
6) 財政状況が厳しいまち

- 男性 20 歳代と男性 30 歳代で「そう思う」の回答比率が高くなっている。全体的に「わからない」の回答比率が高くなっている。



前回調査との比較

- 前回調査と比較して「そう思う」の回答比率の減少、「わからない」の回答比率の増加が目立つ。

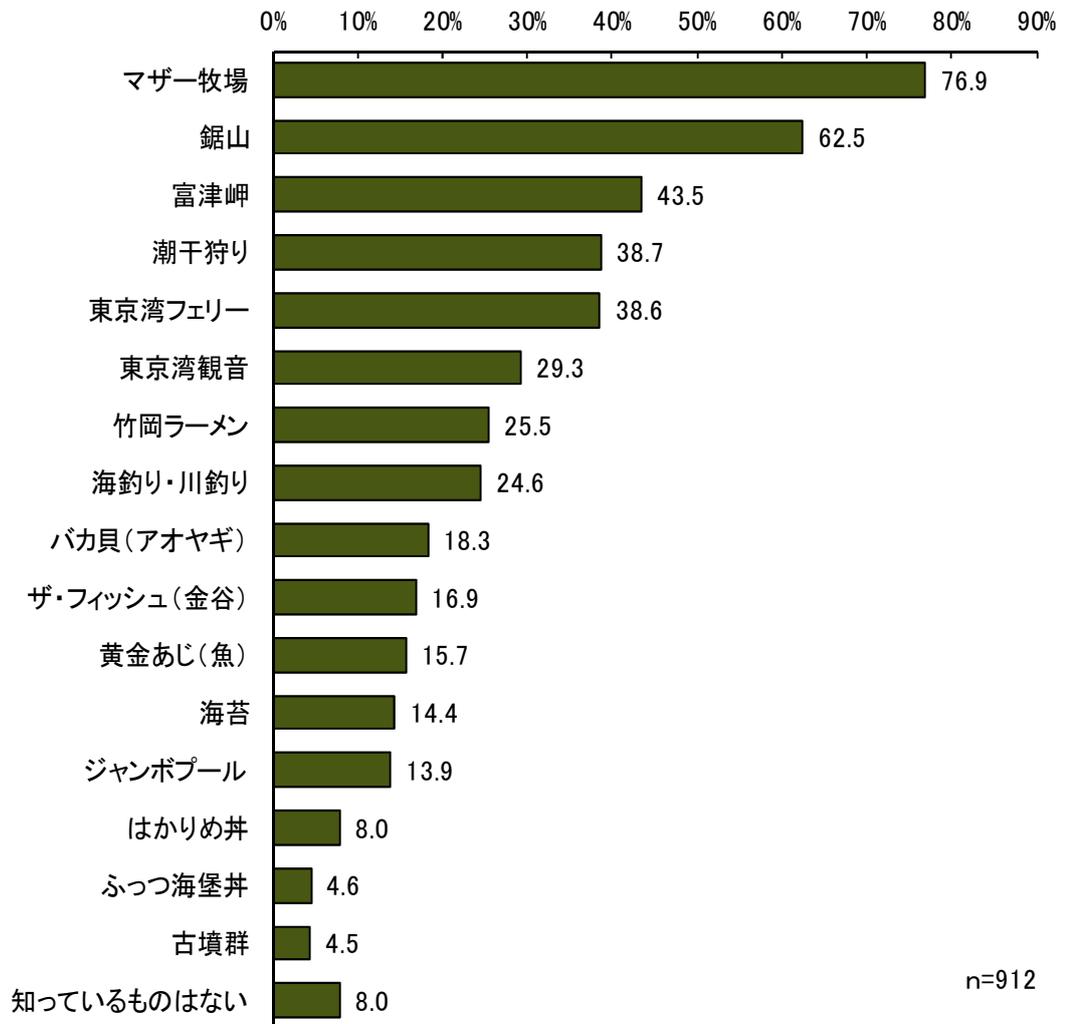


(3) 認知物

Q3. あなたは、以下の富津市に関するものについてご存じですか（いくつでも）。

※Q1で「知っている」または「名前くらいは知っている」とした者のみ回答

「マザー牧場」の比率が最も高く、次いで「鋸山」「富津岬」「潮干狩り」「東京湾フェリー」となっている。



■属性別動向

①性別

- ・男女ともに上位項目は同じとなっている。男女間の回答比率では「鋸山」「富津岬」「海釣り・川釣り」で差異が目立つ。

②年齢階層別

- ・全ての年代で上位項目は同じとなっている。全体的な傾向として年代が上がるにつれて回答比率が高くなっている。「知っているものはない」の回答比率が最も高いのは20歳代となっている。

③性・年齢階層別

- ・全ての区分で上位項目はほぼ同じとなっている。上位項目の中で、男性20歳代の「マザー牧場」、女性20歳代の「鋸山」「潮干狩り」「東京湾フェリー」の回答比率が他の区分と比較して特に低くなっている。

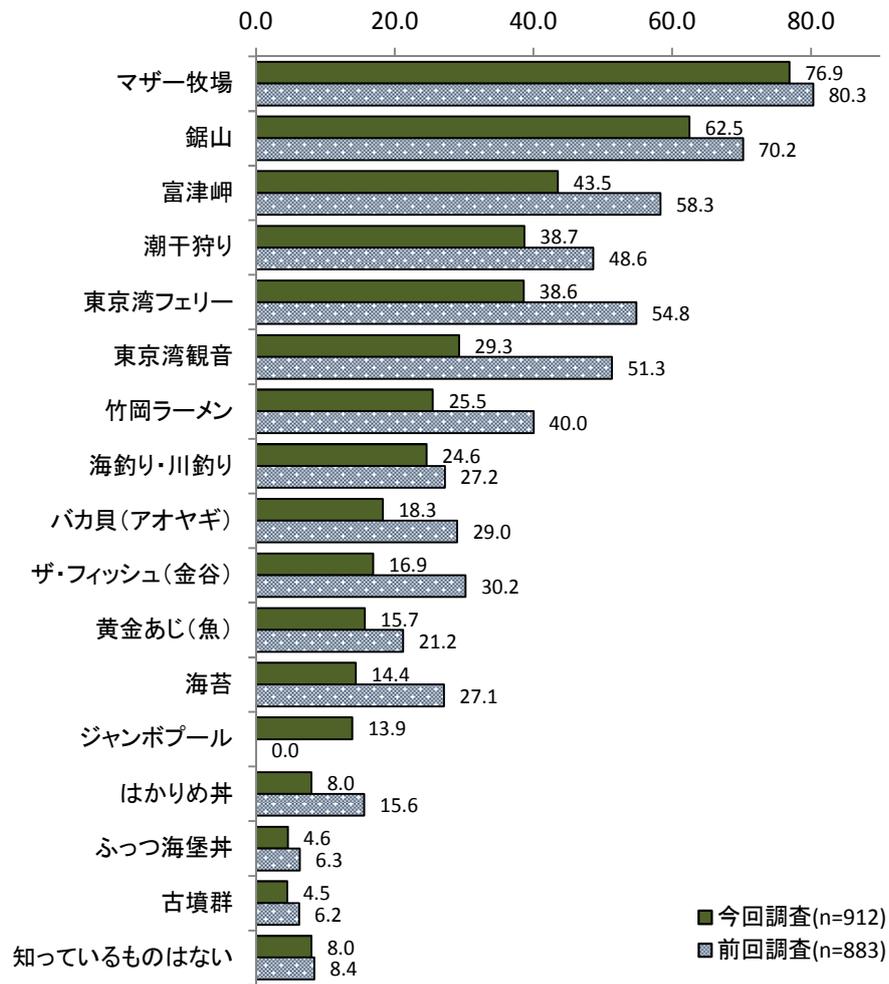
④居住地別

- ・全ての居住地で上位項目は同じとなっている。「黄金あじ(魚)」「ふつつ海堡井」「古墳群」の回答比率は、千葉県内より東京23区、横浜市及び川崎市の方が高くなっている。

		マザー牧場	鋸山	富津岬	潮干狩り	東京湾フェリー	東京湾観音	竹岡ラーメン	海釣り・川釣り	パカ貝(アオヤギ)	ザ・フィッシュ(金谷)	黄金あじ(魚)	海苔	ジャンポブル	はかりめ井	ふつつ海堡井	古墳群	知っているものはない
性別	男性	73.5	68.5	50.9	40.5	42.2	32.2	29.0	29.9	20.5	18.2	18.4	15.0	14.0	9.0	5.4	5.0	6.9
	女性	80.6	55.9	35.3	36.7	34.6	26.1	21.7	18.7	15.9	15.5	12.7	13.6	13.9	6.9	3.7	3.9	9.2
年代	20歳代	69.2	50.6	41.7	30.1	25.0	23.7	21.8	23.1	14.1	14.1	10.3	9.6	11.5	7.1	4.5	7.1	13.5
	30歳代	72.4	58.2	41.8	34.7	34.7	25.3	30.0	22.9	17.1	18.2	15.9	11.8	17.1	12.4	4.1	6.5	7.6
	40歳代	75.7	54.7	39.2	37.6	35.4	23.8	24.3	22.1	17.7	15.5	16.6	14.4	17.1	8.8	5.5	2.8	9.9
	50歳代	81.8	69.0	42.9	40.9	41.4	29.6	27.6	24.6	18.7	18.7	19.2	15.3	13.3	4.4	3.0	3.0	6.9
	60歳代	82.7	75.7	51.0	47.5	52.5	41.6	23.8	29.2	22.8	17.3	15.3	19.3	10.9	7.9	5.9	4.0	3.5
性年代	男性20歳代	59.0	57.8	51.8	31.3	27.7	24.1	22.9	27.7	14.5	19.3	12.0	8.4	9.6	7.2	4.8	8.4	12.0
	男性30歳代	70.3	65.9	41.8	33.0	37.4	28.6	34.1	23.1	15.4	17.6	17.6	11.0	12.1	14.3	4.4	5.5	7.7
	男性40歳代	75.5	58.5	47.9	38.3	38.3	24.5	28.7	28.7	22.3	16.0	21.3	16.0	17.0	11.7	7.4	5.3	8.5
	男性50歳代	82.9	79.0	50.5	44.8	46.7	33.3	32.4	31.4	21.9	20.0	20.0	15.2	15.2	2.9	2.9	2.9	3.8
	男性60歳代	76.4	77.4	61.3	51.9	56.6	47.2	26.4	36.8	26.4	17.9	19.8	22.6	15.1	9.4	7.5	3.8	3.8
	女性20歳代	80.8	42.5	30.1	28.8	21.9	23.3	20.5	17.8	13.7	8.2	8.2	11.0	13.7	6.8	4.1	5.5	15.1
	女性30歳代	74.7	49.4	41.8	36.7	31.6	21.5	25.3	22.8	19.0	19.0	13.9	12.7	22.8	10.1	3.8	7.6	7.6
	女性40歳代	75.9	50.6	29.9	36.8	32.2	23.0	19.5	14.9	12.6	14.9	11.5	12.6	17.2	5.7	3.4	-	11.5
	女性50歳代	80.6	58.2	34.7	36.7	35.7	25.5	22.4	17.3	15.3	17.3	18.4	15.3	11.2	6.1	3.1	3.1	10.2
女性60歳代	89.6	74.0	39.6	42.7	47.9	35.4	20.8	20.8	18.8	16.7	10.4	15.6	6.3	6.3	4.2	4.2	3.1	
居住地	東京23区、横浜市及び川崎市	67.6	51.1	30.9	33.1	40.3	18.0	12.6	21.2	14.7	13.3	18.0	8.6	5.0	5.4	5.0	5.8	10.1
	千葉県内の都市部(人口15万人以上の市)	81.0	67.7	49.7	39.0	32.6	28.7	23.9	22.3	18.1	15.2	12.3	13.5	12.9	6.8	4.5	4.2	6.8
	千葉県内の都市部以外の地域(人口15万人未満の市町村)	80.9	67.3	48.5	43.2	42.9	39.5	38.3	29.6	21.6	21.6	17.0	20.1	22.5	11.4	4.3	3.7	7.4

前回調査との比較

- 前回調査と比較して「富津岬」「東京湾フェリー」「東京湾観音」「竹岡ラーメン」の回答比率の減少が目立つ。

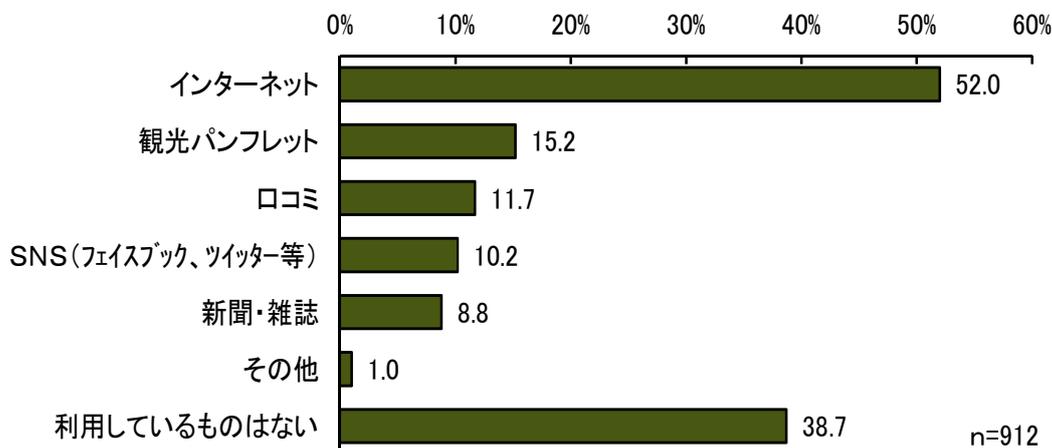


(4) 認知方法

Q4. あなたは、富津市の情報を得るとき主に何を利用していますか（いくつでも）。

※Q1で「知っている」または「名前くらいは知っている」とした者のみ回答

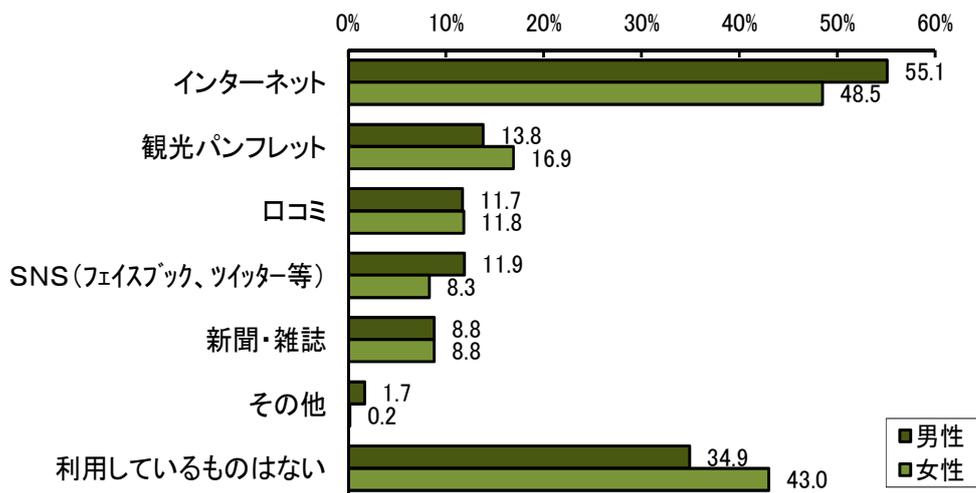
「インターネット」の比率が突出して高く、次いで「観光パンフレット」「口コミ」となっている。



■属性別動向

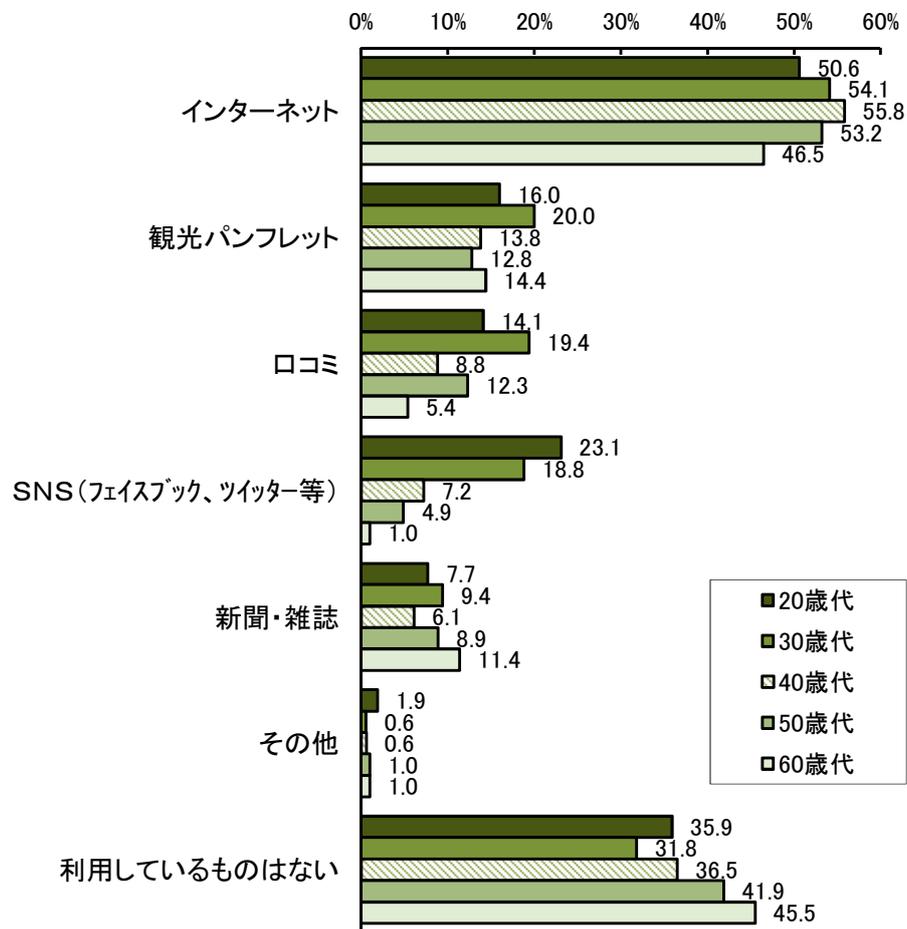
①性別

- 男女ともに「インターネット」の回答比率が高くなっている。男女間の回答比率では「インターネット」「利用しているものはない」で差異が目立つ。



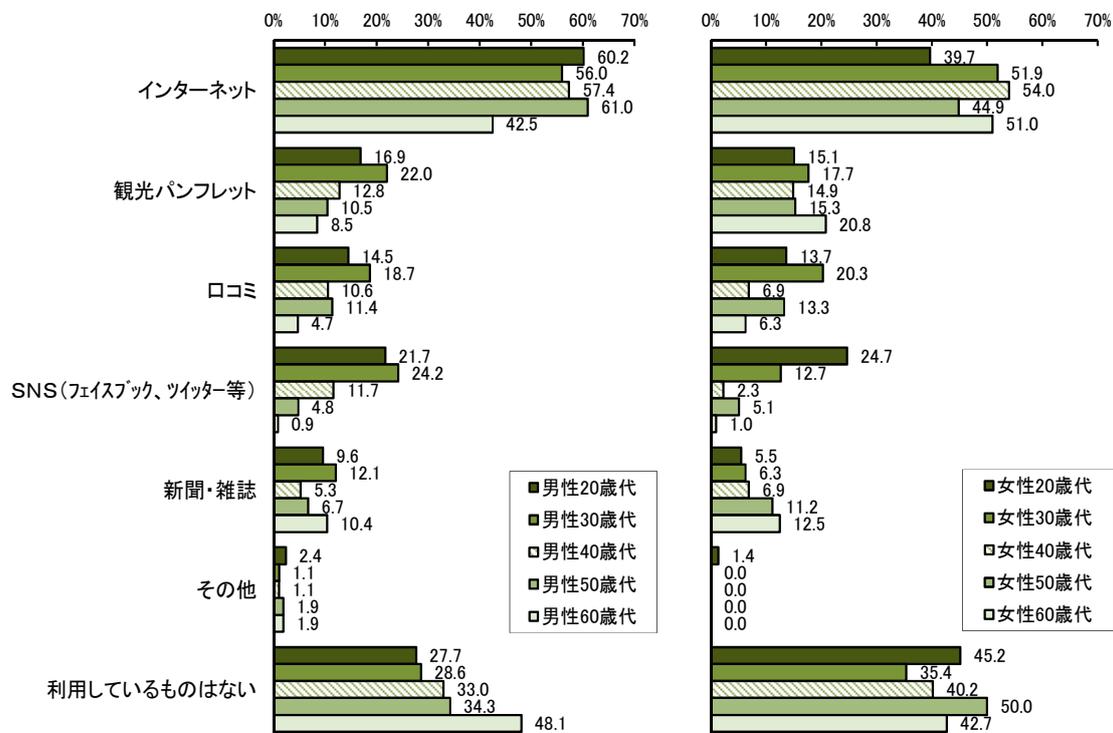
②年齢階層別

- 全ての年代で「インターネット」の回答比率が高くなっている。「SNS（フェイスブック、ツイッター等）」は20歳代の、「観光パンフレット」「口コミ」は30歳代の回答比率が他の年代と比較して高くなっている。



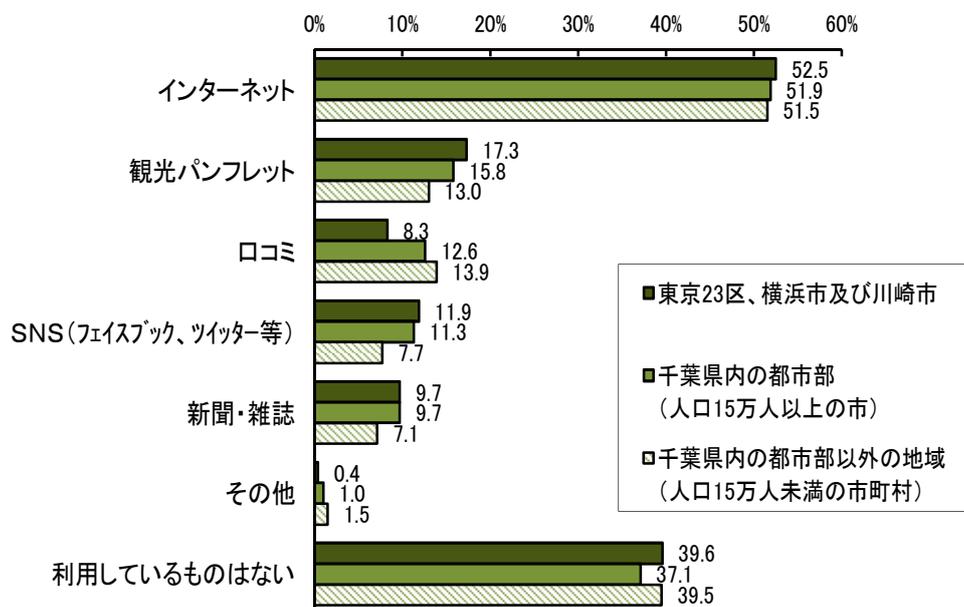
③性・年齢階層別

- 「インターネット」の回答比率は男性 20 歳代と男性 50 歳代が高く、女性 20 歳代が最も低くなっている。「観光パンフレット」の回答比率は男性 30 歳代と女性 60 歳代が高くなっている。「ロコミ」の回答比率は男女ともに 30 歳代が高くなっている。「SNS（フェイスブック、ツイッター等）」の回答比率は男女 20 歳代と男性 30 歳代が高くなっている。



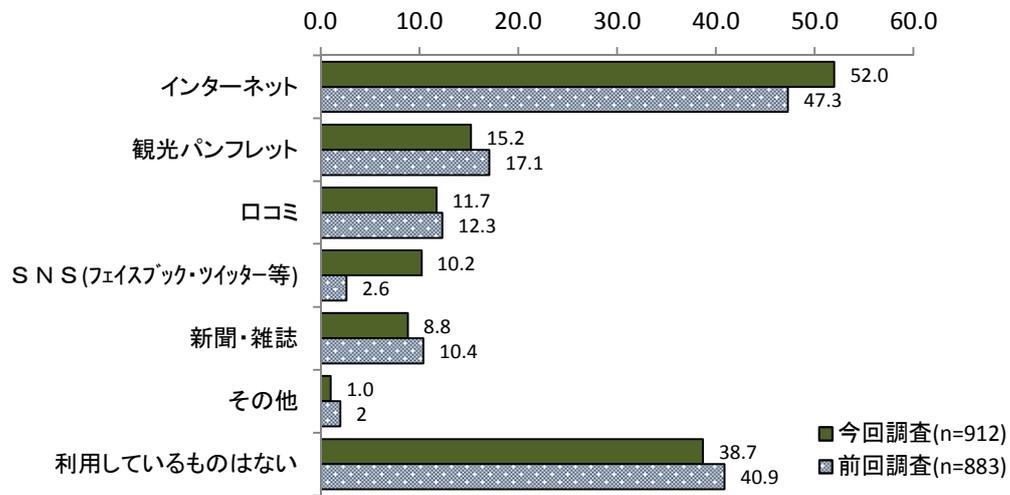
④居住地別

- 「インターネット」「観光パンフレット」「SNS（フェイスブック、ツイッター等）」の回答比率は千葉県内より東京 23 区、横浜市及び川崎市の方が高く、「ロコミ」の回答比率は東京 23 区、横浜市及び川崎市より千葉県内の方が高くなっている。



前回調査との比較

- 前回調査と比較して「インターネット」と「SNS（フェイスブック、ツイッター等）」の回答比率の増加が目立つ。

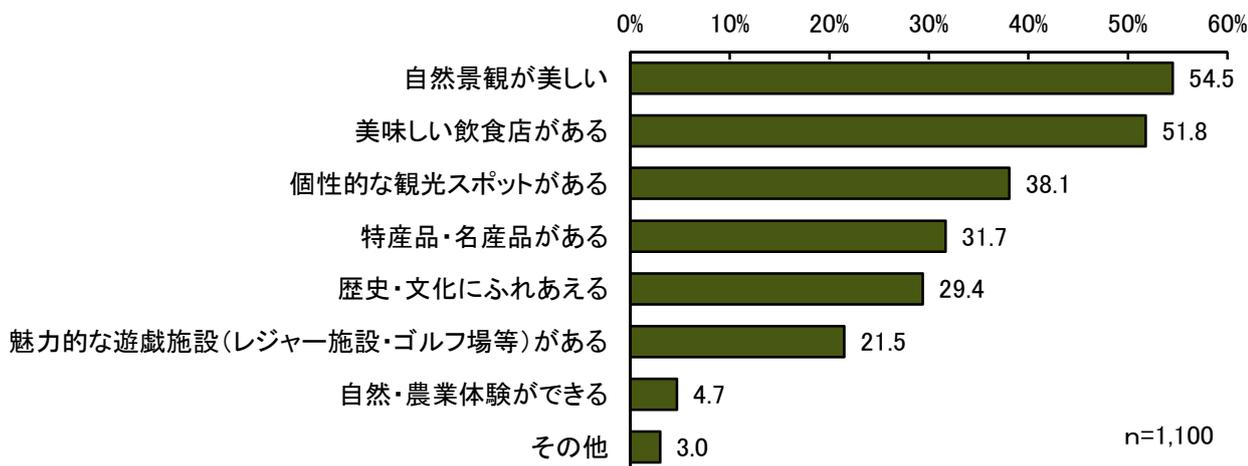


2. 観光・交流

(1) 選択基準

Q5. あなたは、観光地に行く際に、どのような基準で場所を選びますか（3つまで）。

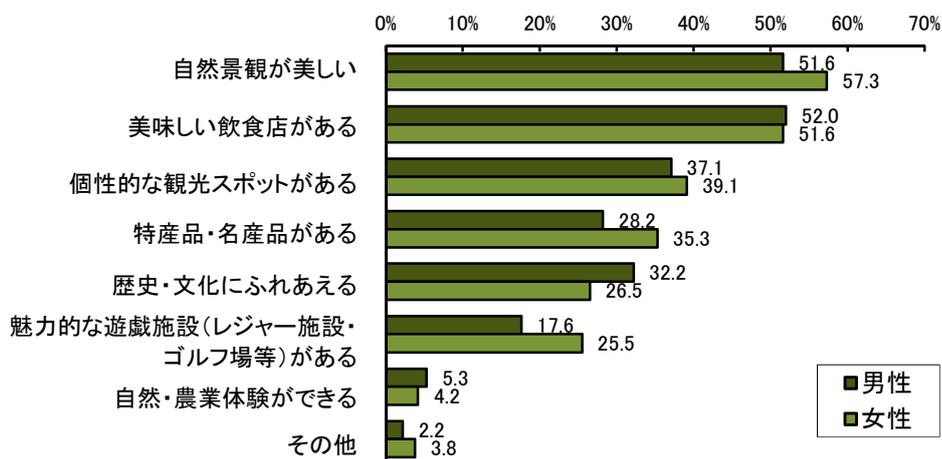
「自然景観が美しい」の比率が最も高く、次いで「美味しい飲食店がある」「個性的な観光スポットがある」「特産品・名産品がある」となっている。



■ 属性別動向

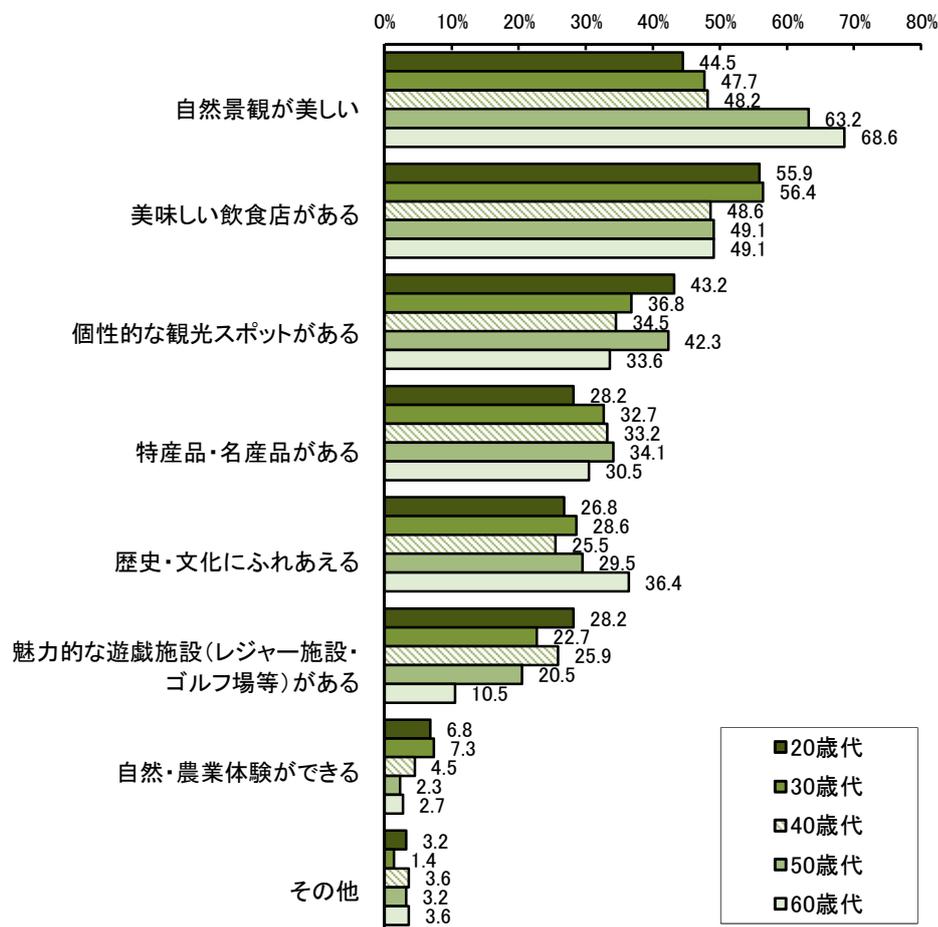
① 性別

・男女間の回答比率では「自然景観が美しい」「特産品・名産品がある」「歴史・文化にふれあえる」「魅力的な遊戯施設(レジャー施設・ゴルフ場等)がある」で差異が目立つ。



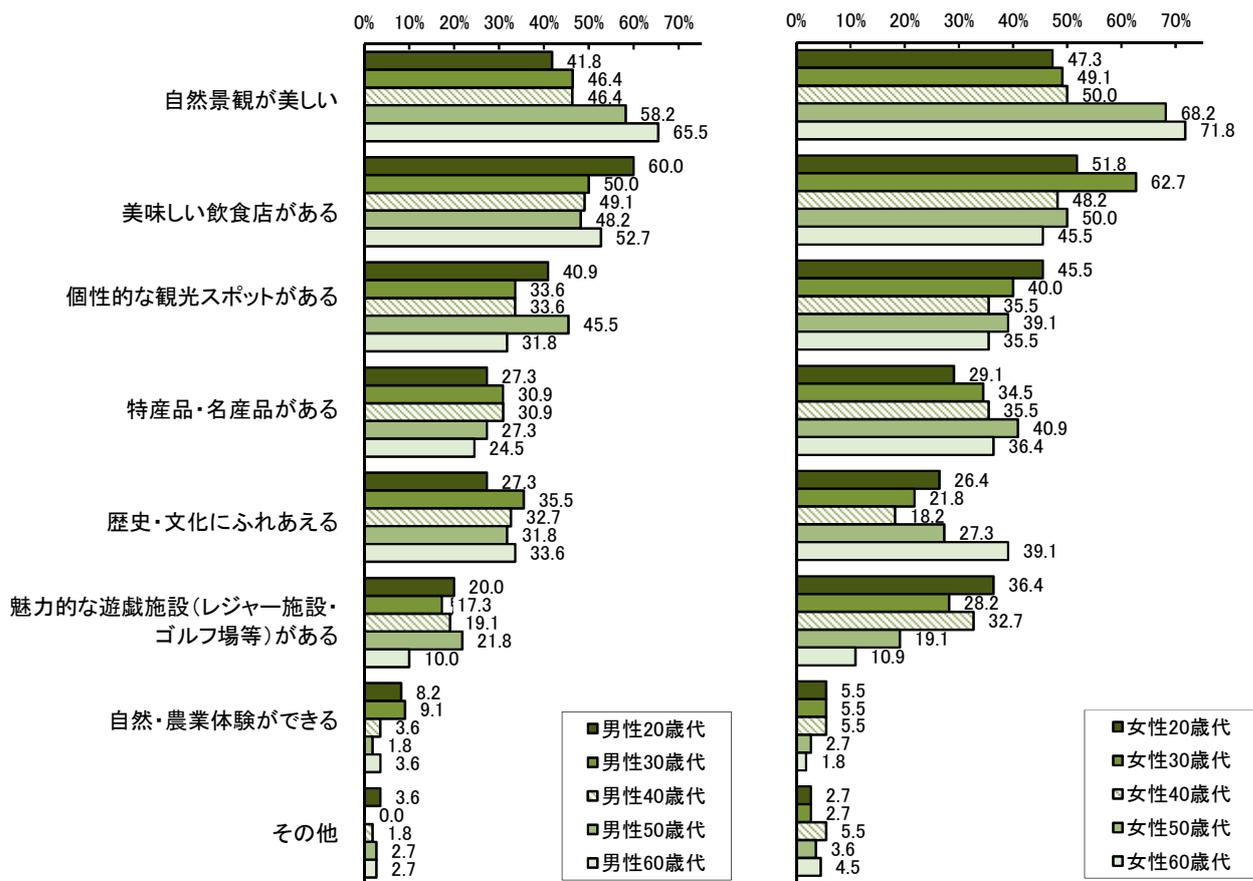
②年齢階層別

- ・「自然景観が美しい」は50歳代と60歳代の、「美味しい飲食店がある」は20歳代と30歳代の、「個性的な観光スポットがある」は20歳代と50歳代の、「歴史・文化にふれあえる」は60歳代の回答比率が他の年代と比較して高くなっている。



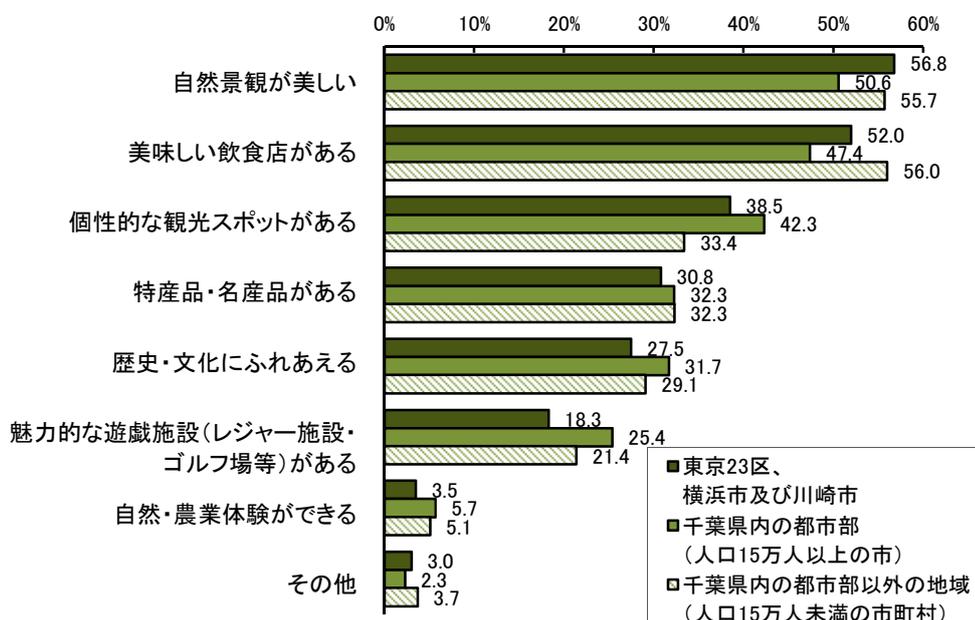
③性・年齢階層別

・男女ともに「②年齢階層別」とほぼ同じ特徴がみられる。



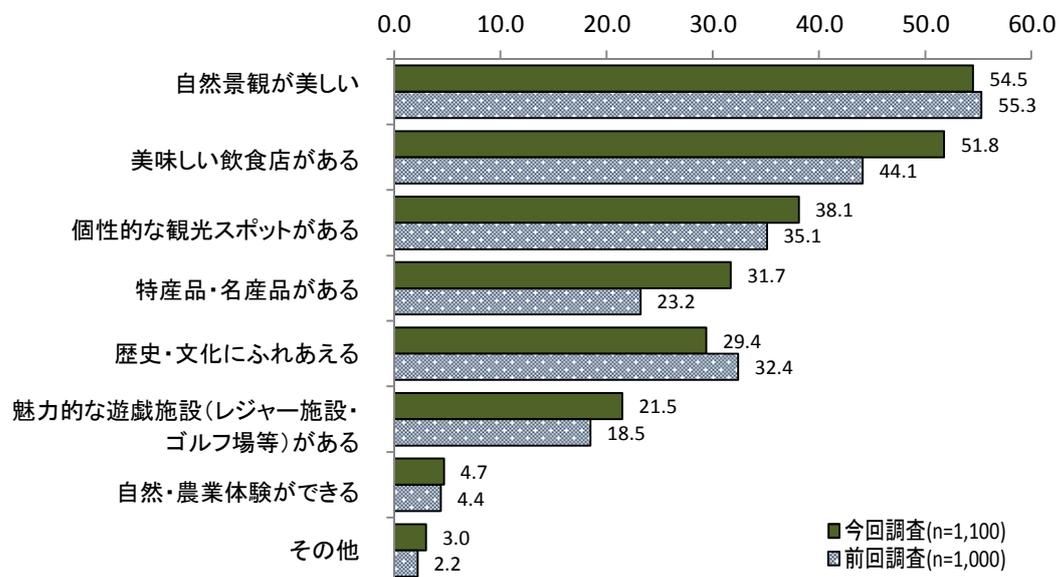
④居住地別

・「自然景観が美しい」の回答比率は千葉県内より東京23区、横浜市及び川崎市の方が高くなっている。「特産品・名産品がある」「歴史・文化にふれあえる」「魅力的な遊戯施設(レジャー施設・ゴルフ場等)がある」「自然・農業体験ができる」の回答比率は東京23区、横浜市及び川崎市より千葉県内の方が高くなっている。



前回調査との比較

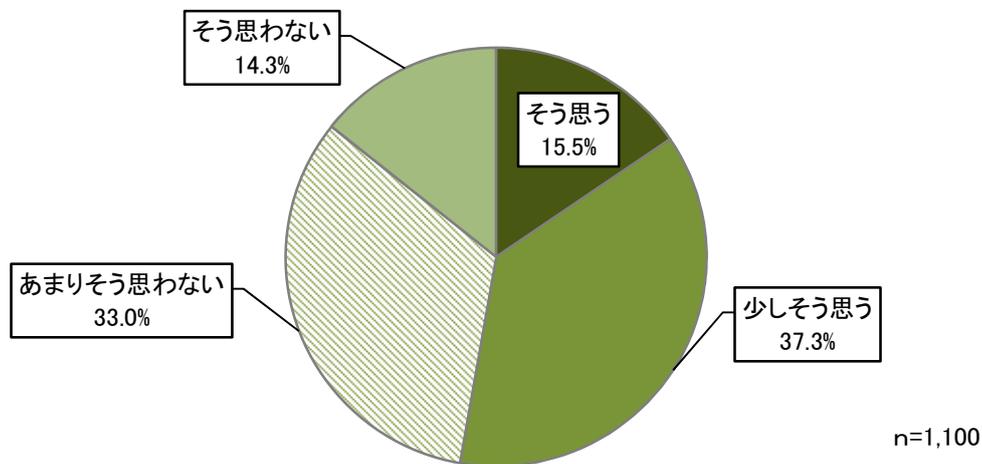
- 前回調査と比較して「美味しい飲食店がある」「特産品・名産品がある」の回答比率の増加が目立つ。



(2) 来訪意思

Q6. あなたは、富津市を「観光で訪れたいまち」だと思いますか（1つだけ）。

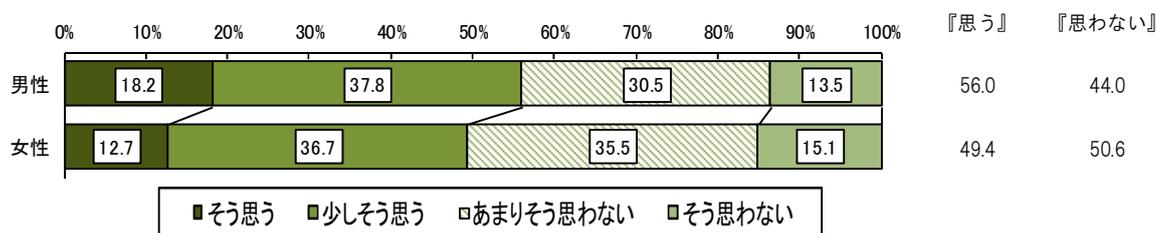
「そう思う」「少しそう思う」を合わせた『思う』は52.8%で、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた『思わない』の47.3%を上回っている。



■属性別動向

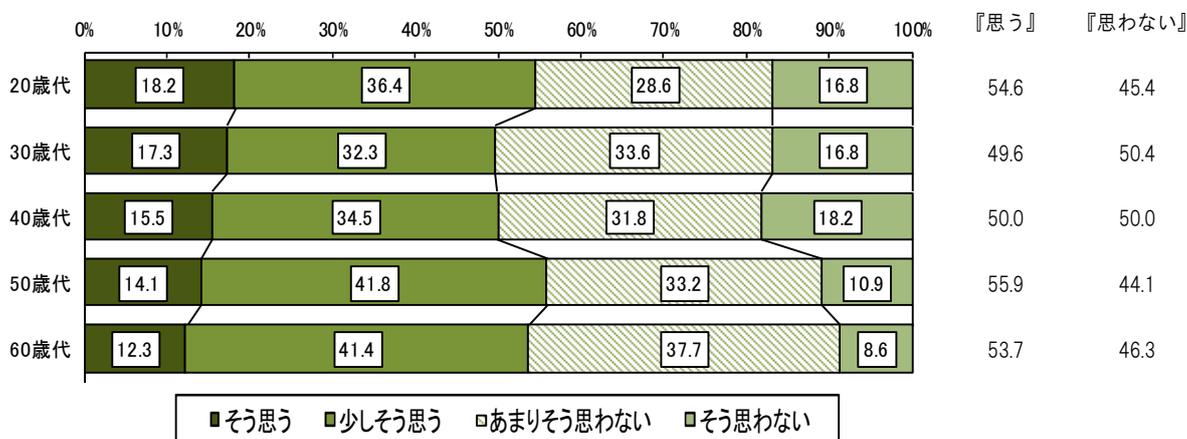
①性別

・『思う』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



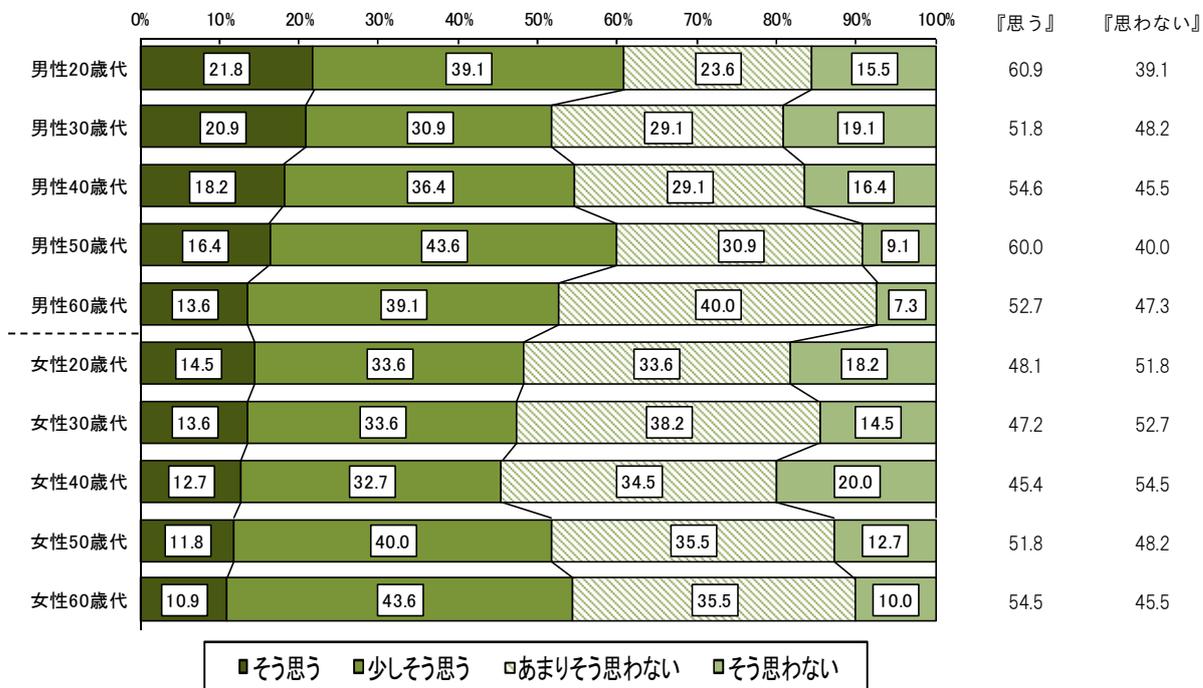
②年齢階層別

・『思う』の回答比率が最も高いのは50歳代で、『思わない』の回答比率が最も高いのは30歳代となっている。



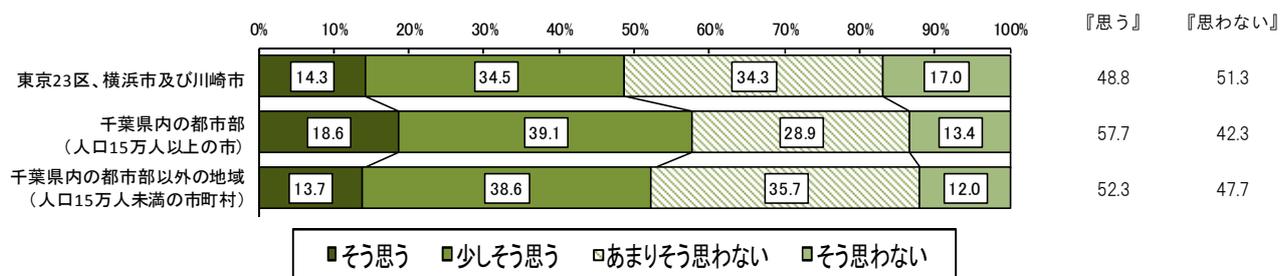
③性・年齢階層別

- 男女間の回答比率では60歳代を除く全ての年代で『思う』は男性の方が、『思わない』は女性の方が高くなっている。男性は20歳代が『思う』の回答比率が最も高く、『思わない』の回答比率が最も低くなっている。女性は60歳代が『思う』の回答比率が最も高く、『思わない』の回答比率が最も低くなっている。



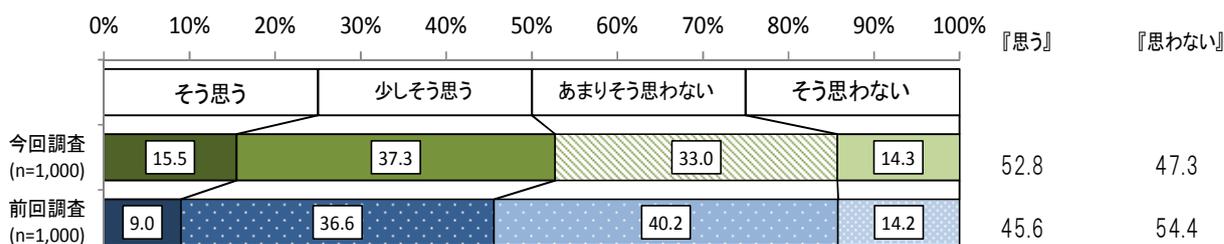
④居住地別

- 東京23区、横浜市及び川崎市は『思わない』の回答比率が『思う』の回答比率を上回っている。



前回調査との比較

- 前回調査と比較して『思う』の回答比率は増加し、『思わない』の回答比率は減少している。

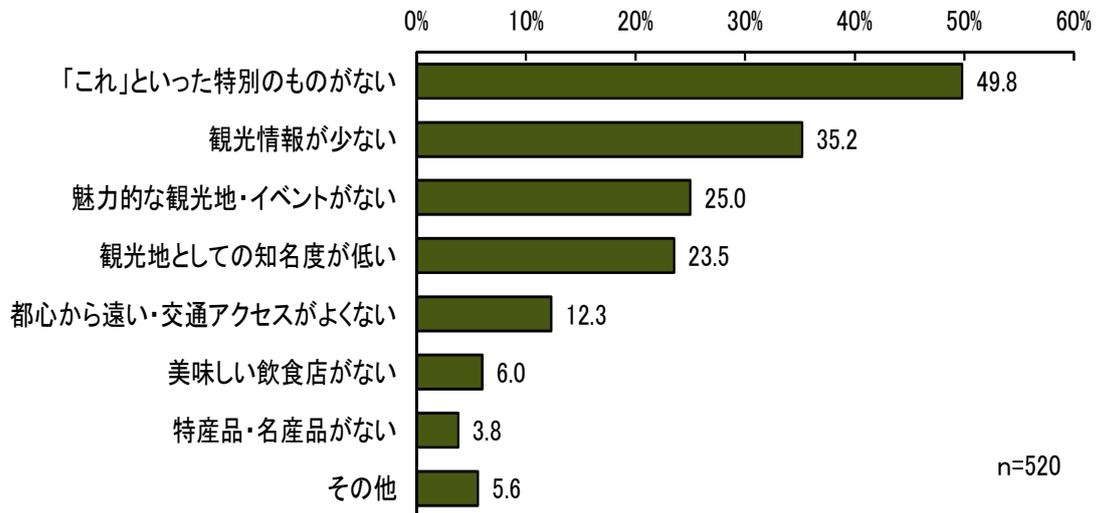


(3) 来訪したくない理由

Q7. そのように否定的に感じるのは何故だと思いますか（いくつでも）。

※Q6 で「あまりそう思わない」または「そう思わない」とした者のみ回答

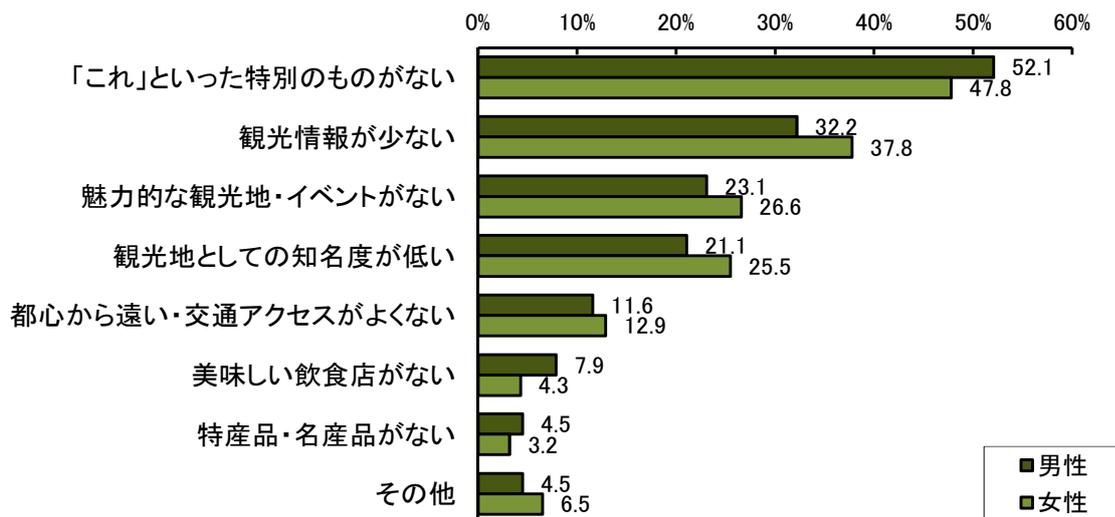
「これ」といった特別なものがない」の比率が最も高く、次いで「観光情報が少ない」「魅力的な観光地・イベントがない」「観光地としての知名度が低い」となっている。



■ 属性別動向

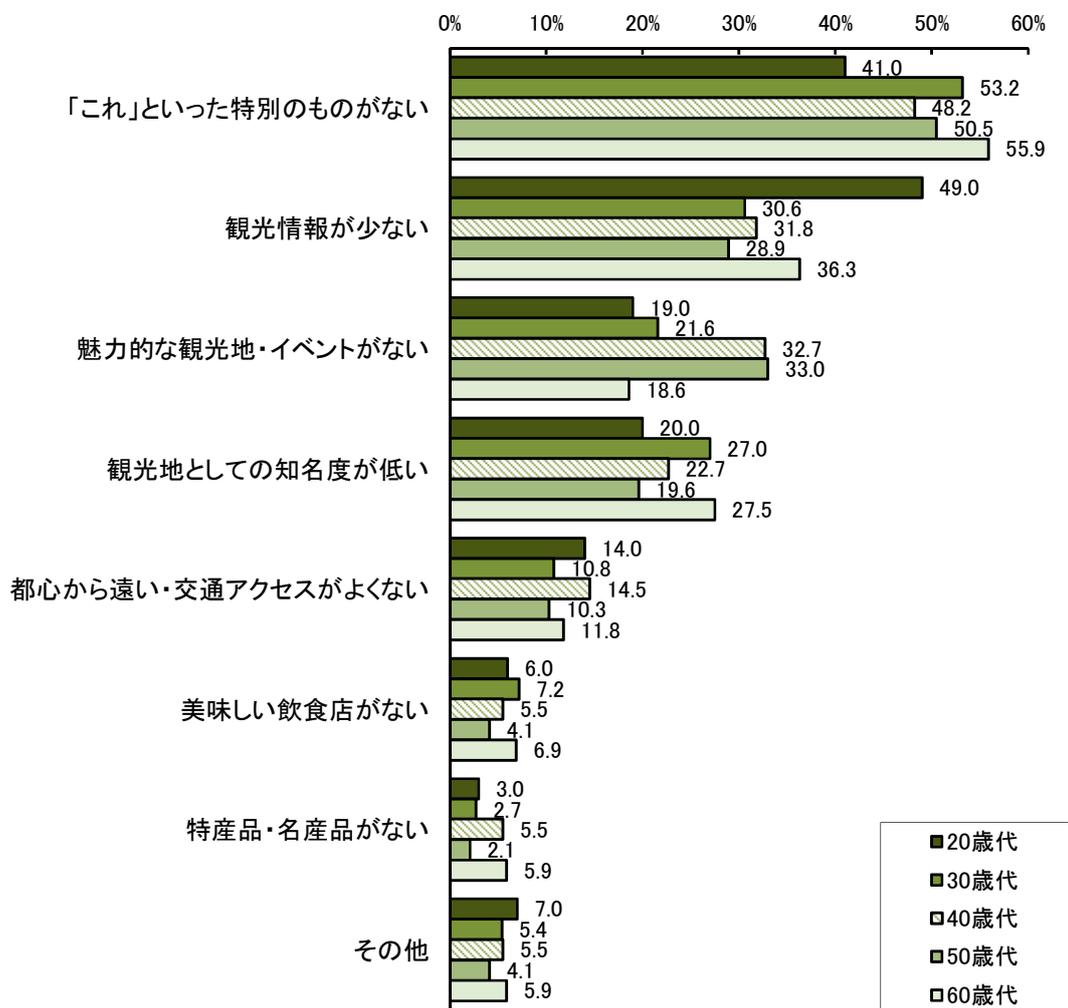
① 性別

・男女間の回答比率では「「これ」といった特別なものがない」「観光情報が少ない」「観光地としての知名度が低い」で差異が目立つ。



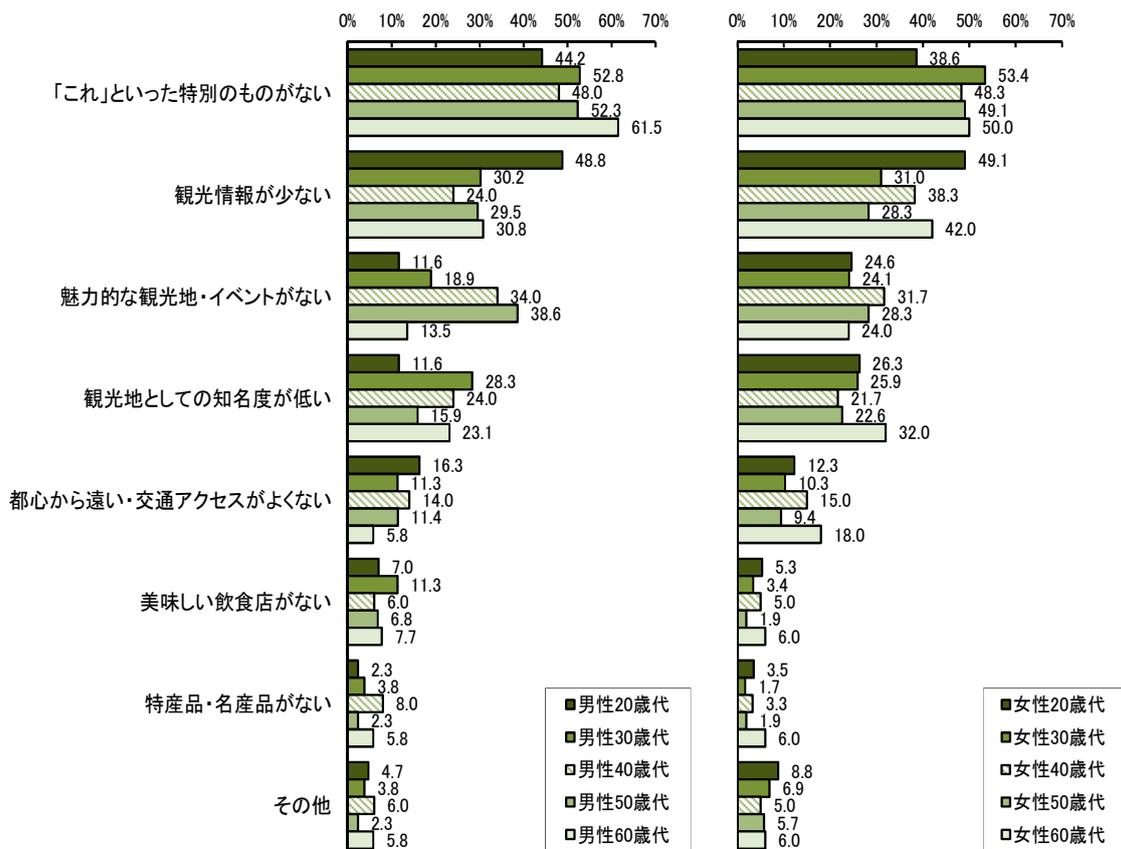
②年齢階層別

- 「観光情報が少ない」は20歳代の、「魅力的な観光地・イベントがない」は40歳代と50歳代の回答比率が他の年代と比較して突出して高くなっている。



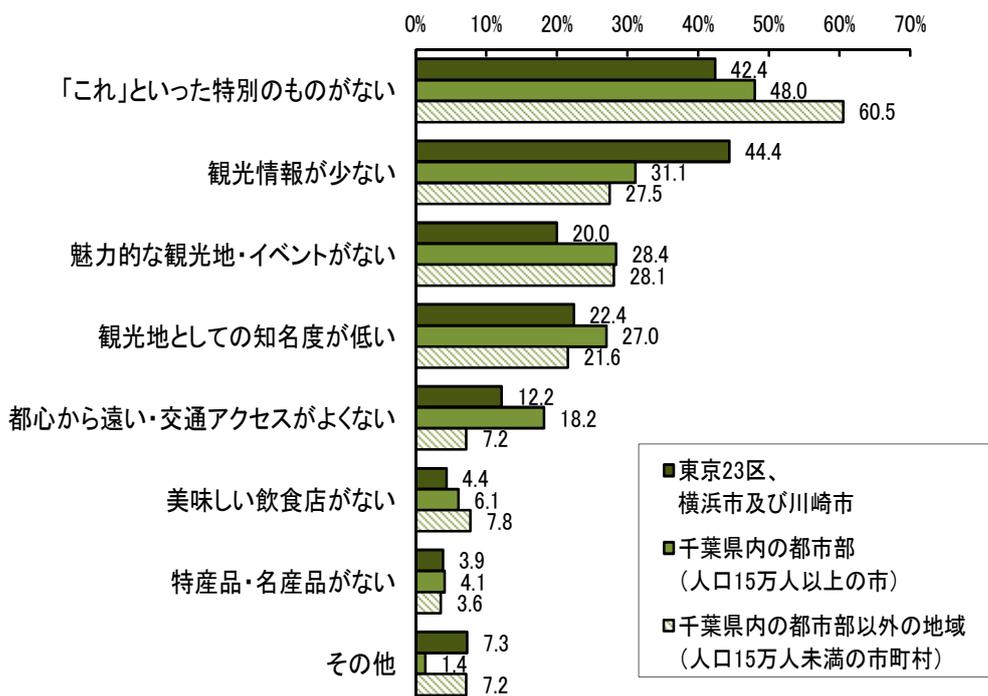
③性・年齢階層別

・男女ともに「②年齢階層別」とほぼ同じ特徴がみられる。



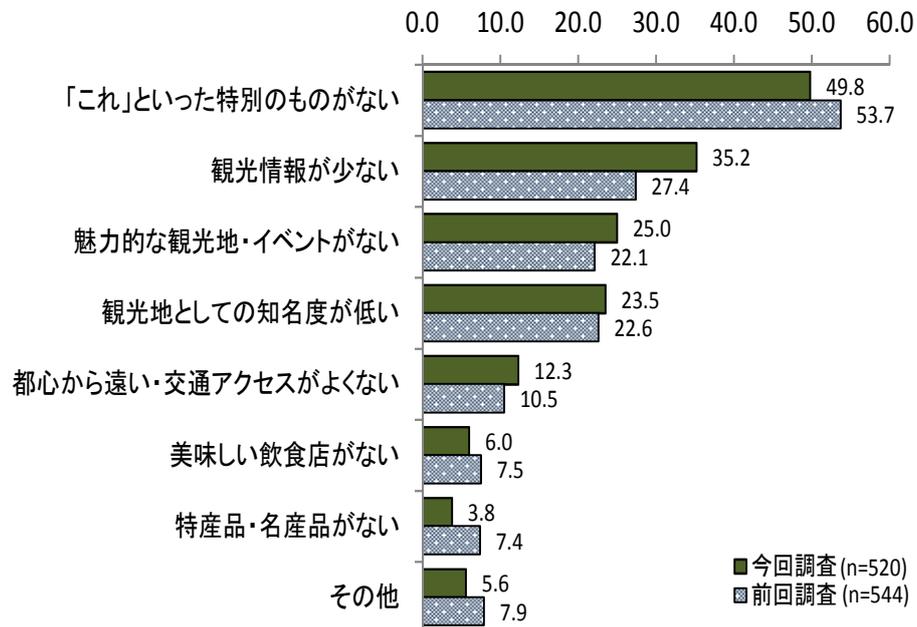
④居住地別

・「「これ」といった特別なものが無い」は千葉県内の都市部以外の地域の、「観光情報が少ない」は東京23区、横浜市及び川崎市の回答比率が他の区分と比較して突出して高くなっている。



前回調査との比較

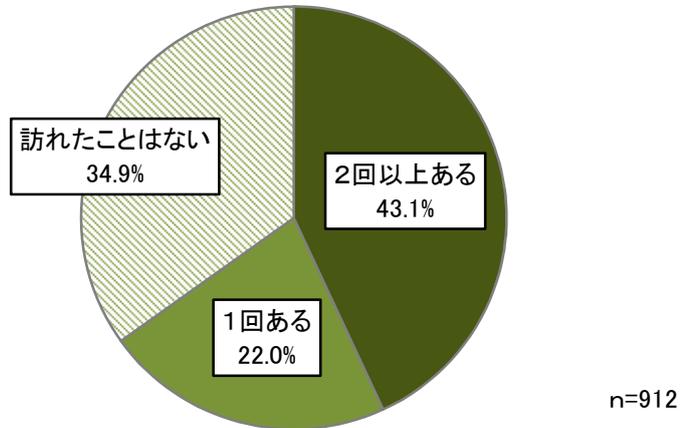
- 前回調査と比較して「「これ」といった特別なものがない」の回答比率の減少、「観光情報が少ない」の回答比率の増加が目立つ。



(4) 来訪経験

Q8. あなたは、観光で富津市を訪れたことがありますか（1つだけ）。

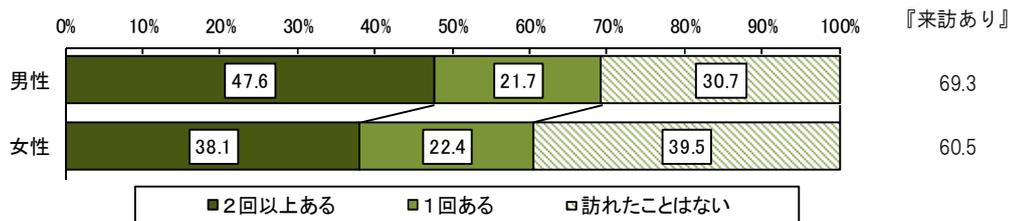
「2回以上ある」「1回ある」を合わせた『来訪あり』は65.1%で、「訪れたことはない」の34.9%を大きく上回っている。



■属性別動向

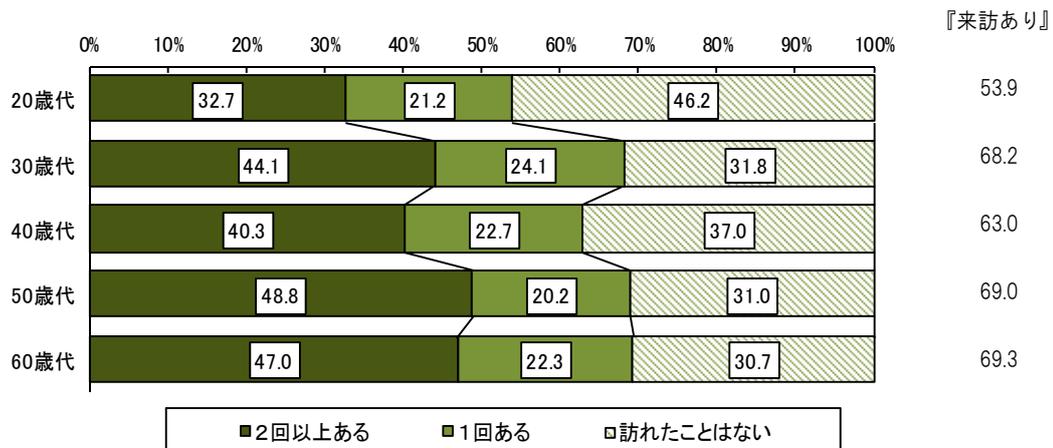
①性別

・『来訪あり』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



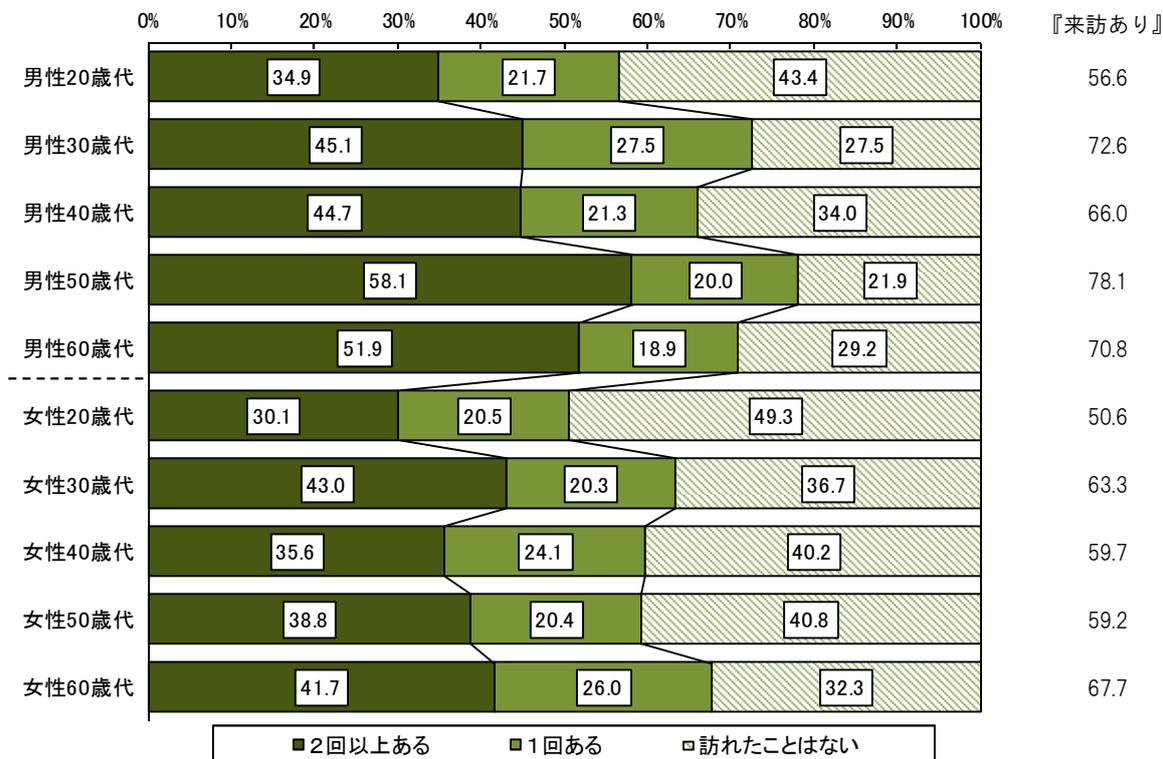
②年齢階層別

・『来訪あり』の回答比率が最も高いのは60歳代で、最も低いのは20歳代となっている。



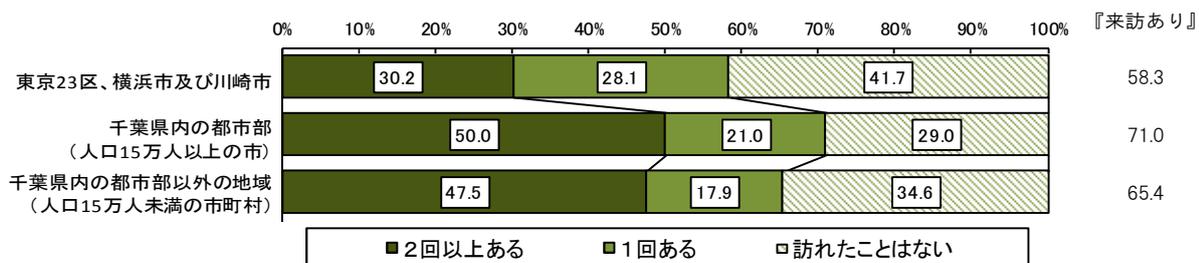
③性・年齢階層別

- 男女とも全ての年代で『来訪あり』の回答比率が「訪れたことはない」の回答比率を、『来訪あり』のうち「2回以上ある」の回答比率が「1回ある」の回答比率を上回っている。



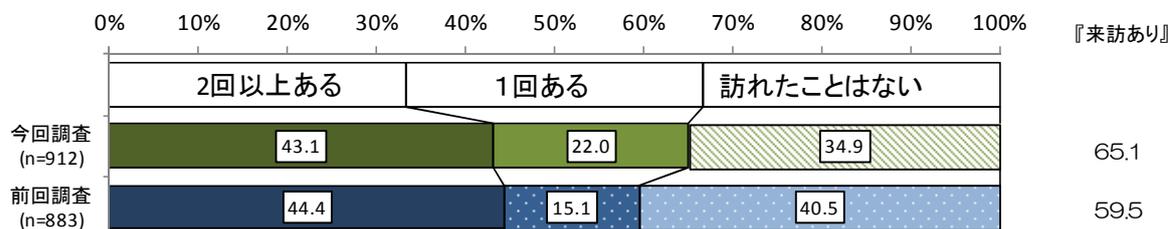
④居住地別

- 『来訪あり』の回答比率は、千葉県内の都市部が最も高くなっている。全ての居住地で『来訪あり』のうち「2回以上ある」の回答比率が「1回ある」の回答比率を上回っている。



前回調査との比較

- 前回調査と比較して『来訪あり』の回答比率は増加し、「訪れたことはない」の回答比率は減少している。

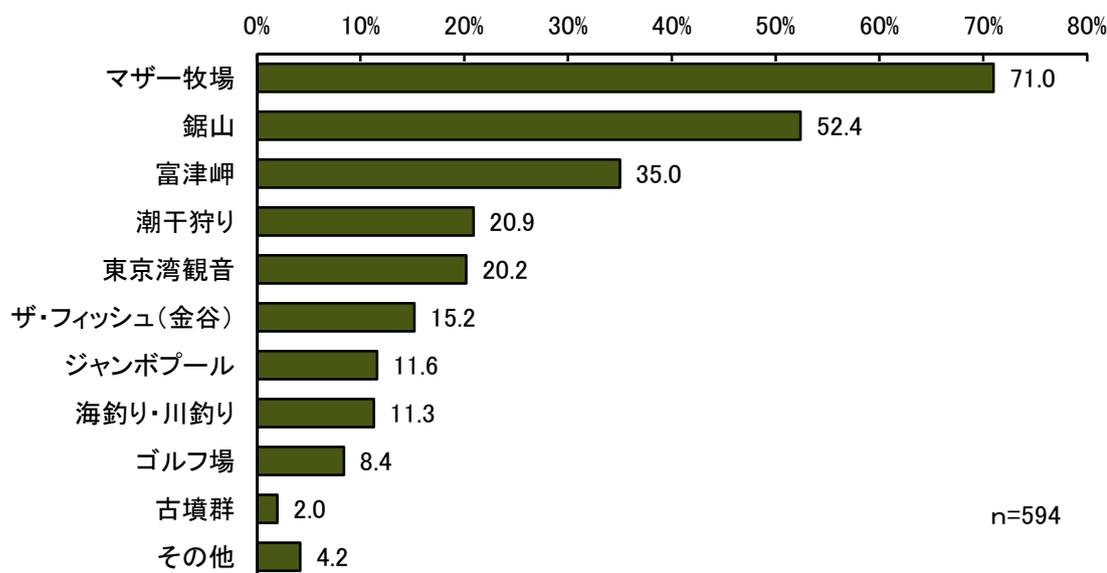


(5) 来訪場所

Q9. あなたが富津市で、観光で訪れたことがある場所をお選びください（いくつでも）。

※Q8で「2回以上ある」または「1回ある」とした者のみ回答

「マザー牧場」の比率が最も高く、次いで「鋸山」「富津岬」「潮干狩り」「東京湾観音」となっている。



■属性別動向

①性別

- 男女ともに上位項目は同じとなっている。男女間の回答比率では「富津岬」「マザー牧場」「鋸山」で差異が目立つ。

②年齢階層別

- 全ての年代で上位項目は同じとなっている。「鋸山」「東京湾観音」は50歳代と60歳代の、「海釣り・川釣り」は20歳代と50歳代の回答比率が他の年代と比較して特に高くなっている。

③性・年齢階層別

- 全ての区分で上位項目はほぼ同じとなっている。「マザー牧場」は女性40歳代と女性50歳代の、「鋸山」は男性50歳代と男性60歳代の回答比率が他の区分と比較して特に高くなっている。男性20歳代の「マザー牧場」、女性20歳代の「富津岬」、女性40歳代の「潮干狩り」の回答比率が他の区分と比較して特に低くなっている。

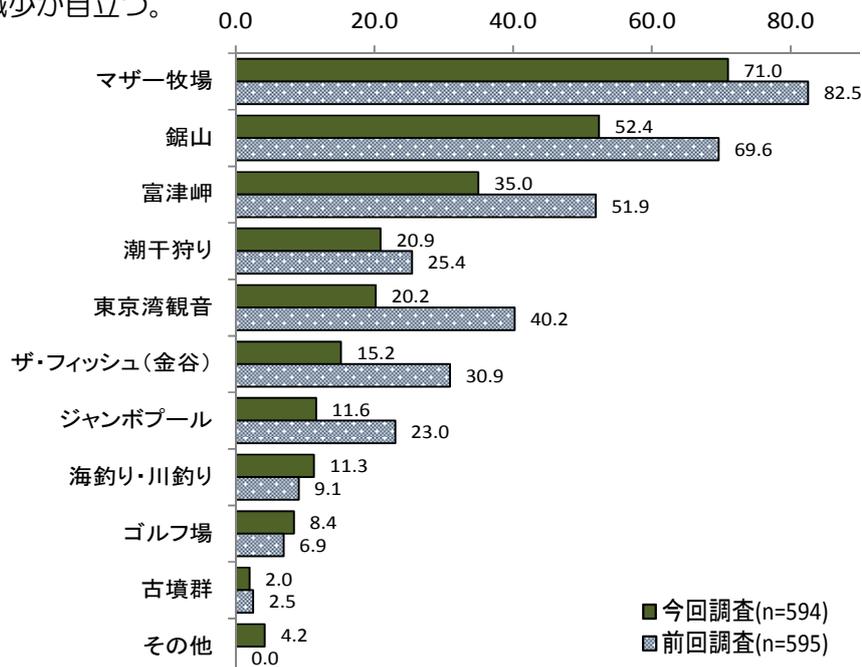
④居住地別

- 全ての居住地で上位項目は同じとなっている。「鋸山」「東京湾観音」「ジャンボプール」は千葉県内の都市部以外の地域の、「ゴルフ場」は東京23区、横浜市及び川崎市の回答比率が他の区分と比較して特に高くなっている。

		マザー牧場	鋸山	富津岬	潮干狩り	東京湾観音	ザ・フィッシュ(金谷)	ジャンボプール	海釣り・川釣り	ゴルフ場	古墳群	その他
性別	男性	64.2	56.6	43.1	23.2	21.7	16.3	10.8	15.4	11.1	1.8	3.3
	女性	79.8	46.9	24.8	17.9	18.3	13.7	12.6	6.1	5.0	2.3	5.3
年代	20歳代	56.0	41.7	32.1	19.0	14.3	14.3	10.7	13.1	7.1	4.8	6.0
	30歳代	69.0	47.4	30.2	23.3	15.5	18.1	15.5	9.5	10.3	3.4	1.7
	40歳代	70.2	40.4	36.0	18.4	15.8	14.0	14.9	8.8	7.9	1.8	7.9
	50歳代	78.6	60.0	39.3	21.4	22.1	14.3	12.1	15.7	5.0	1.4	2.9
	60歳代	75.0	65.0	35.7	21.4	29.3	15.0	5.7	9.3	11.4	-	3.6
性年代	男性20歳代	40.4	42.6	44.7	21.3	12.8	19.1	4.3	19.1	6.4	4.3	2.1
	男性30歳代	62.1	54.5	30.3	19.7	16.7	19.7	13.6	12.1	12.1	1.5	1.5
	男性40歳代	59.7	40.3	43.5	25.8	17.7	16.1	14.5	12.9	9.7	3.2	11.3
	男性50歳代	70.7	68.3	50.0	25.6	24.4	14.6	12.2	18.3	6.1	1.2	2.4
	男性60歳代	77.3	68.0	45.3	22.7	32.0	13.3	8.0	14.7	20.0	-	-
	女性20歳代	75.7	40.5	16.2	16.2	16.2	8.1	18.9	5.4	8.1	5.4	10.8
	女性30歳代	78.0	38.0	30.0	28.0	14.0	16.0	18.0	6.0	8.0	6.0	2.0
	女性40歳代	82.7	40.4	26.9	9.6	13.5	11.5	15.4	3.8	5.8	-	3.8
	女性50歳代	89.7	48.3	24.1	15.5	19.0	13.8	12.1	12.1	3.4	1.7	3.4
女性60歳代	72.3	61.5	24.6	20.0	26.2	16.9	3.1	3.1	1.5	-	7.7	
居住地	東京23区、横浜市及び川崎市	60.5	43.2	33.3	14.2	11.7	13.0	3.7	11.1	13.0	1.9	2.5
	千葉県内の都市部(人口15万人以上の市)	72.3	51.8	35.5	23.2	18.6	11.8	8.2	12.3	7.3	2.7	5.9
	千葉県内の都市部以外の地域(人口15万人未満の市町村)	77.8	59.9	35.8	23.6	28.3	20.3	21.2	10.4	6.1	1.4	3.8

前回調査との比較

- ・前回調査と比較して多くの項目で回答比率が大幅に減少している。中でも「東京湾観音」の回答比率の減少が目立つ。

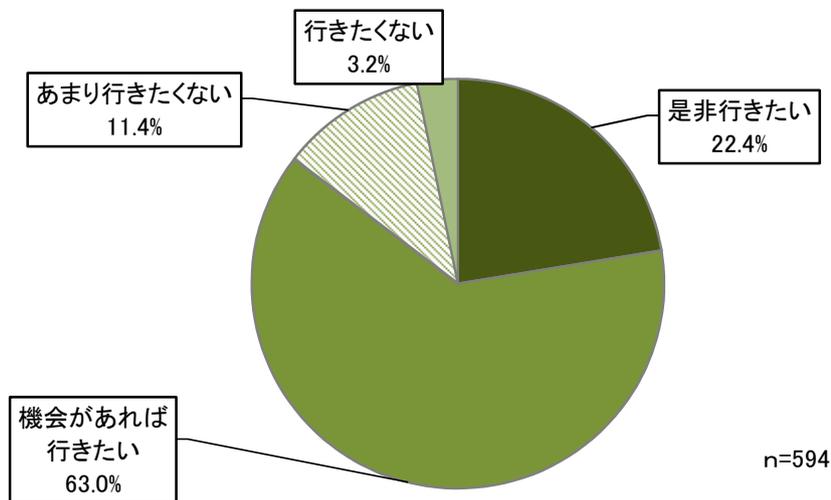


(6) 再訪意思

Q10. あなたは、再度富津市を訪れたいと感じていますか（1つだけ）。

※Q8で「2回以上ある」または「1回ある」とした者のみ回答

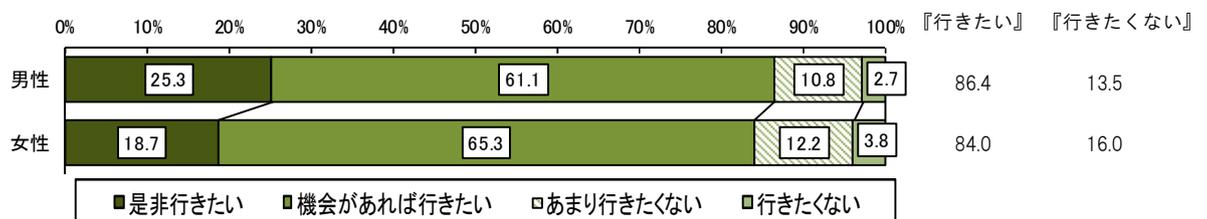
「是非行きたい」「機会があれば行きたい」を合わせた『行きたい』は85.4%で、「あまり行きたくない」「行きたくない」を合わせた『行きたくない』の14.6%を大きく上回っている。



■属性別動向

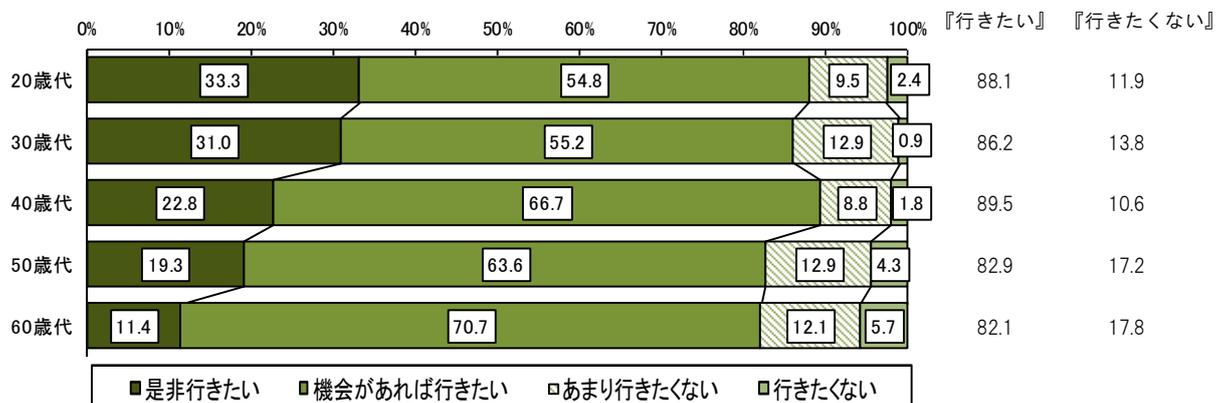
①性別

- 『行きたい』のうち「是非行きたい」の回答比率は、男性の方が高くなっている。



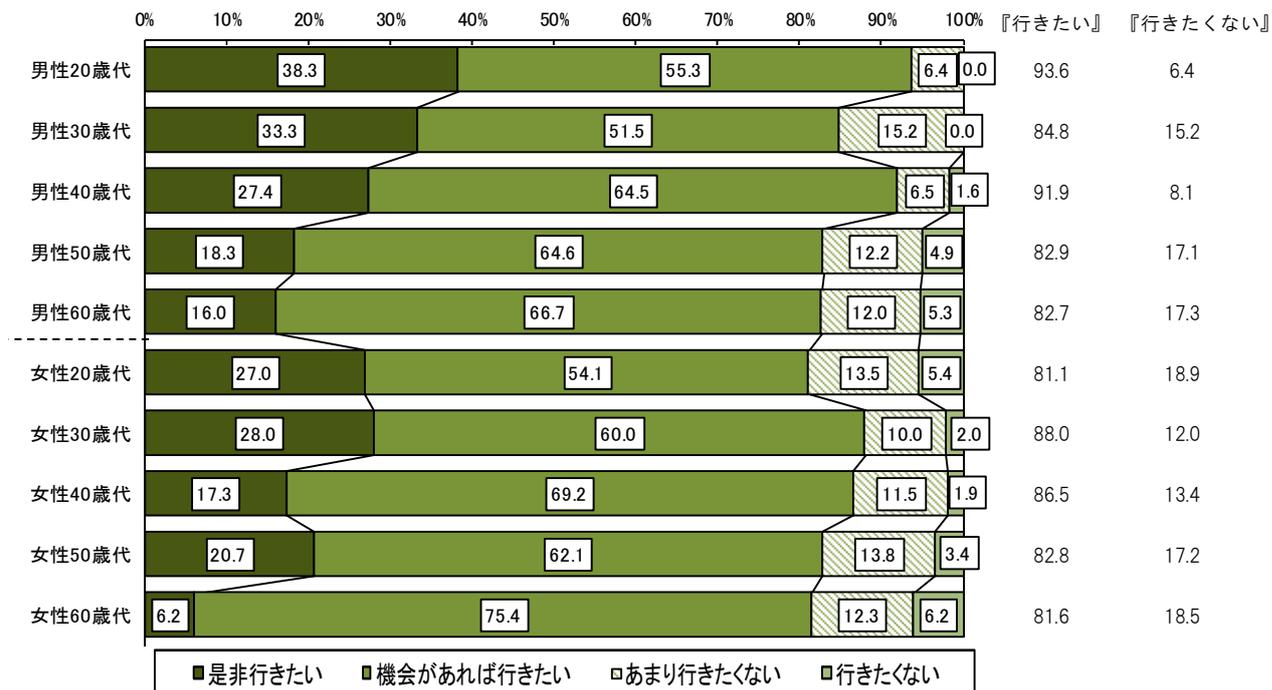
②年齢階層別

- 『行きたい』のうち「是非行きたい」の回答比率は、年代が低いほど高くなっている。



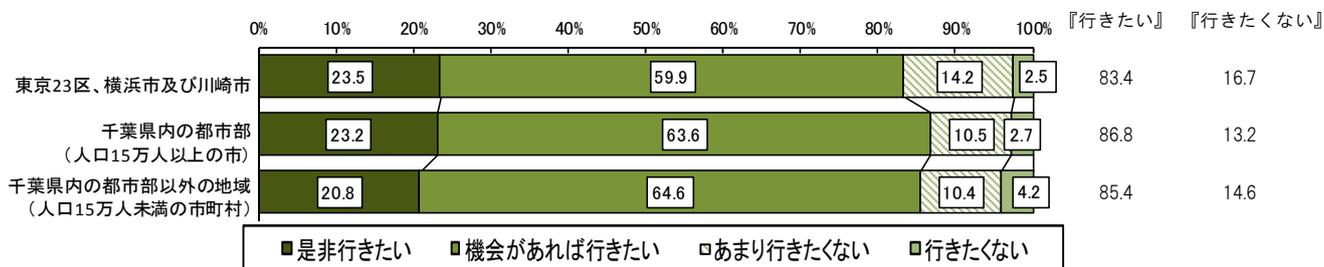
③性・年齢階層別

- 男女とも全ての年代で『行きたい』の回答比率が8割を超えている。中でも男性20歳代と男性40歳代の回答比率は高く、9割を超えている。



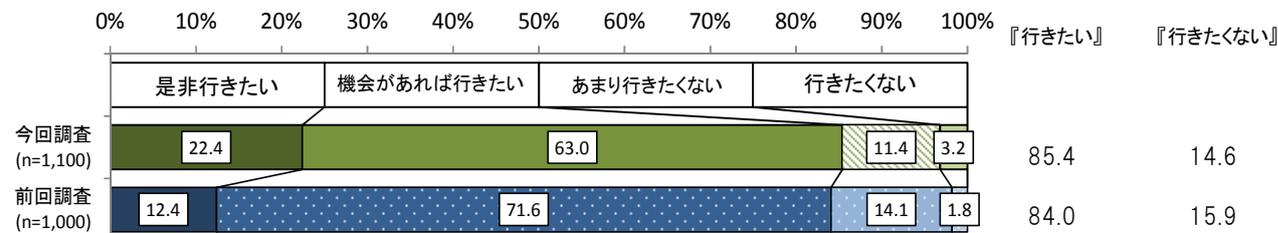
④居住地別

- 『行きたい』のうち「是非行きたい」の回答比率は東京23区、横浜市及び川崎市が最も高くなっている。



前回調査との比較

- 前回調査と比較して『行きたい』のうち「是非行きたい」の回答比率は大幅に増加している。

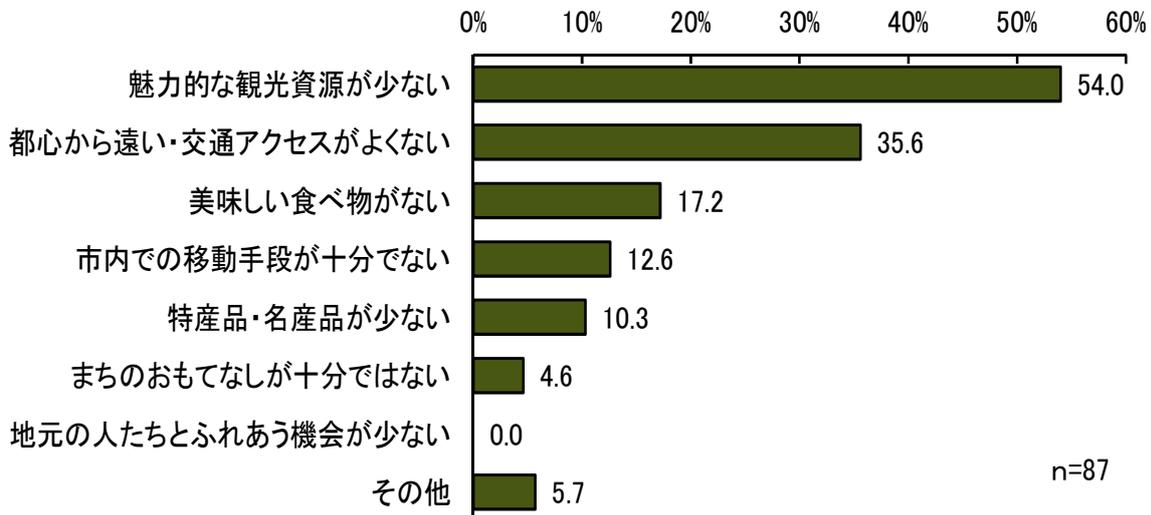


(7) 再訪したくない理由

Q11. そのように否定的に考える理由をお答え下さい（いくつでも）。

※Q10で「あまり行きたくない」または「行きたくない」とした者のみ回答

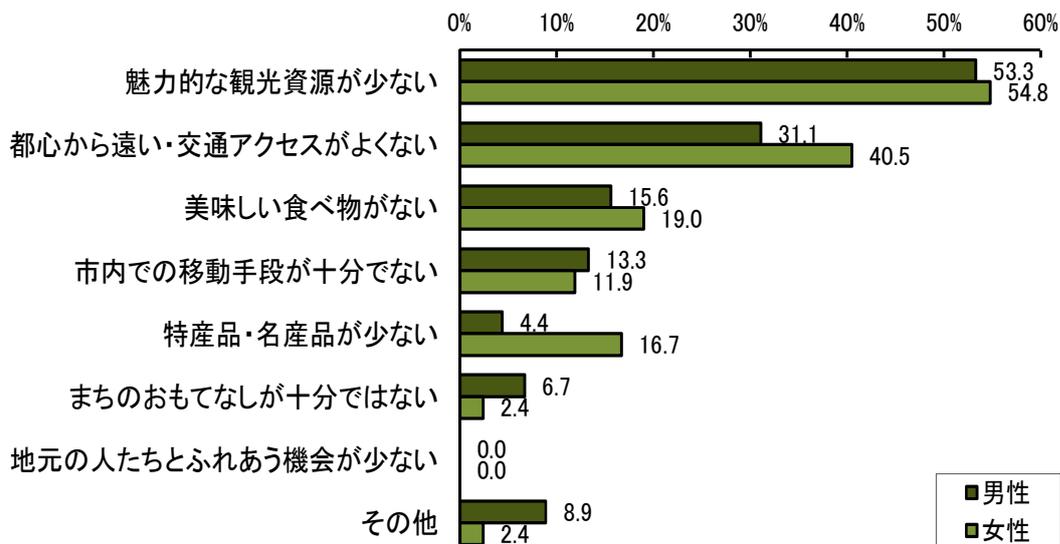
「魅力的な観光資源が少ない」の比率が最も高く、次いで「都心から遠い・交通アクセスがよくない」「美味しい食べ物がない」となっている。



■ 属性別動向

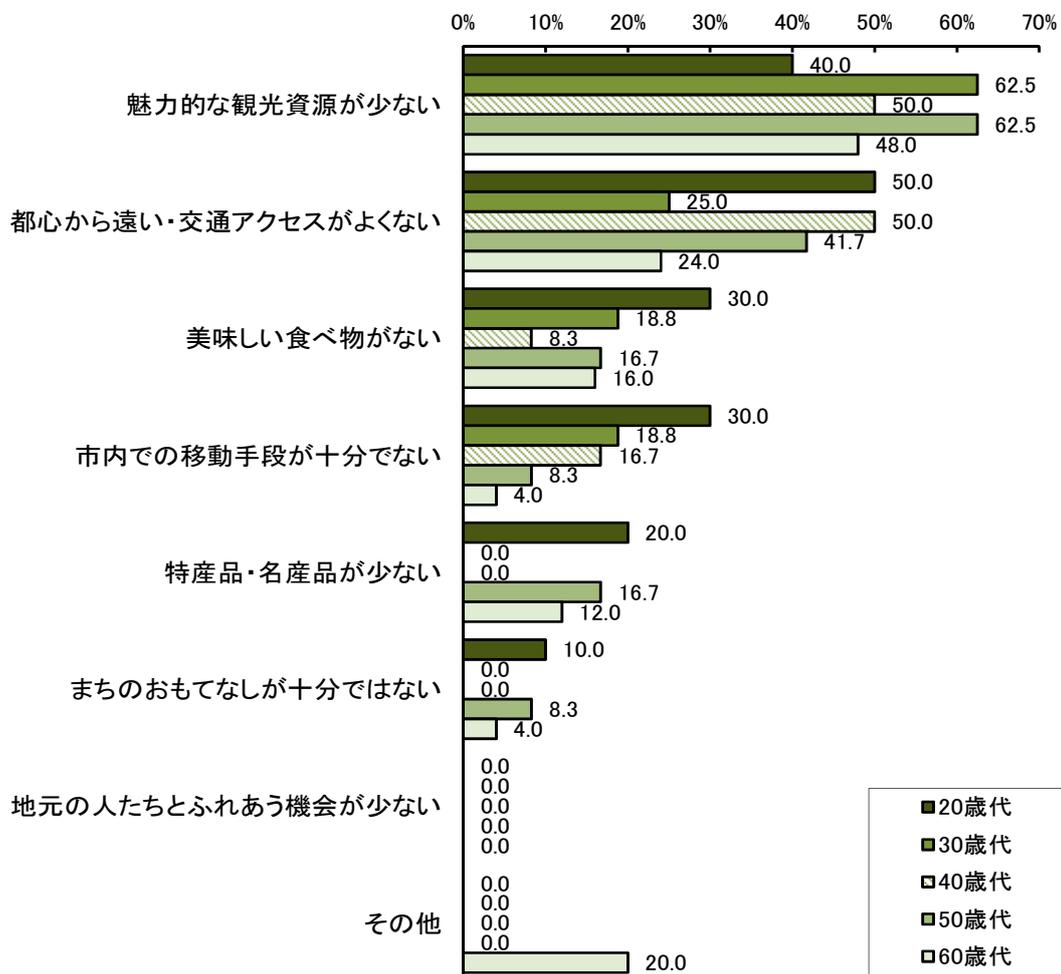
① 性別

・男女間の回答比率では「都心から遠い・交通アクセスがよくない」「特産品・名産品が少ない」で差異が目立つ。



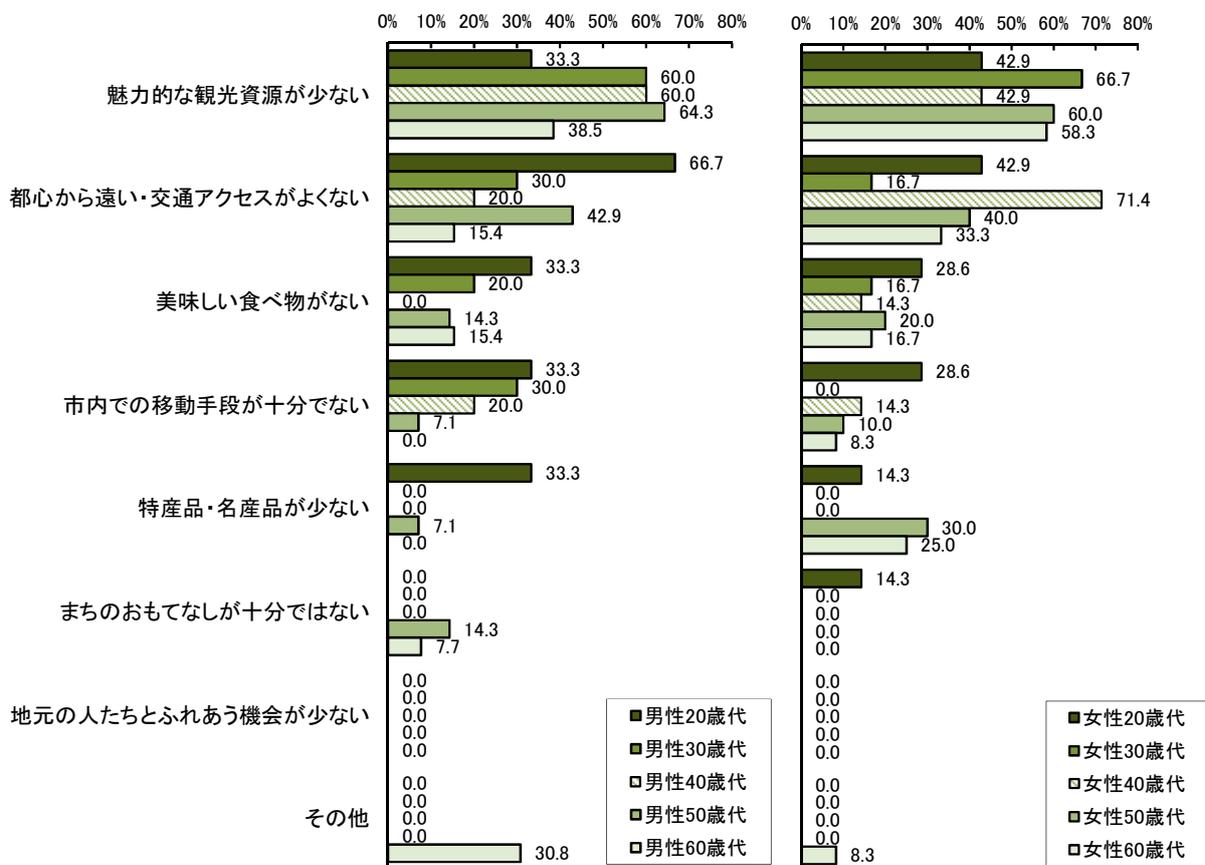
②年齢階層別

- ・「魅力的な観光資源が少ない」は30歳代と50歳代の、「都心から遠い・交通アクセスがよくない」は20歳代と40歳代の、「美味しい食べ物がない」「市内での移動手段が十分でない」は20歳代の回答比率が他の年代と比較して特になくなってきている。



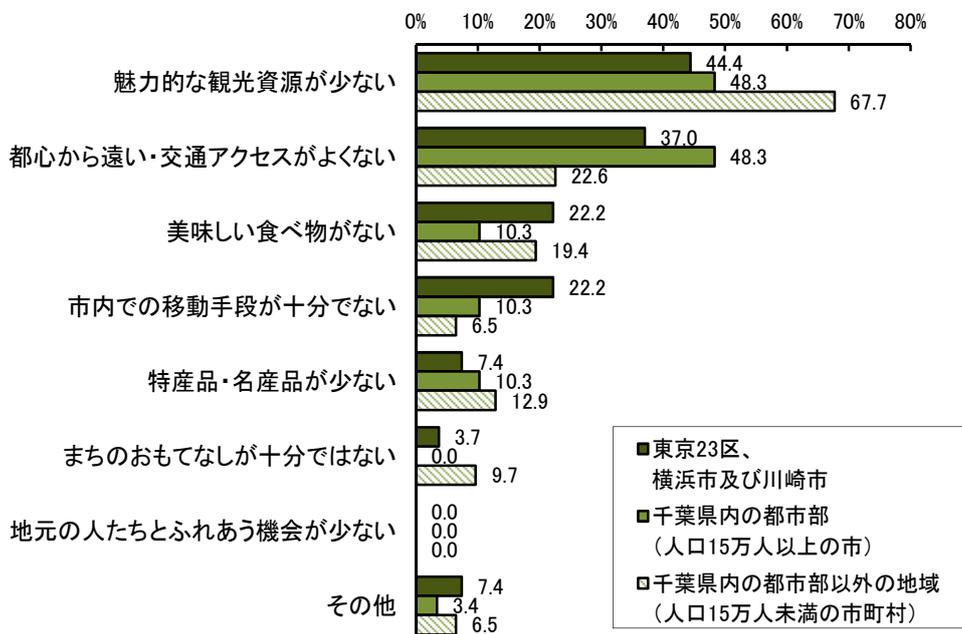
③性・年齢階層別

・「都心から遠い・交通アクセスがよくない」の20歳代と40歳代、「市内での移動手段が十分でない」の30歳代、「特産品・名産品が少ない」の50歳代と60歳代の男女間の回答比率に大きな差異がみられる。



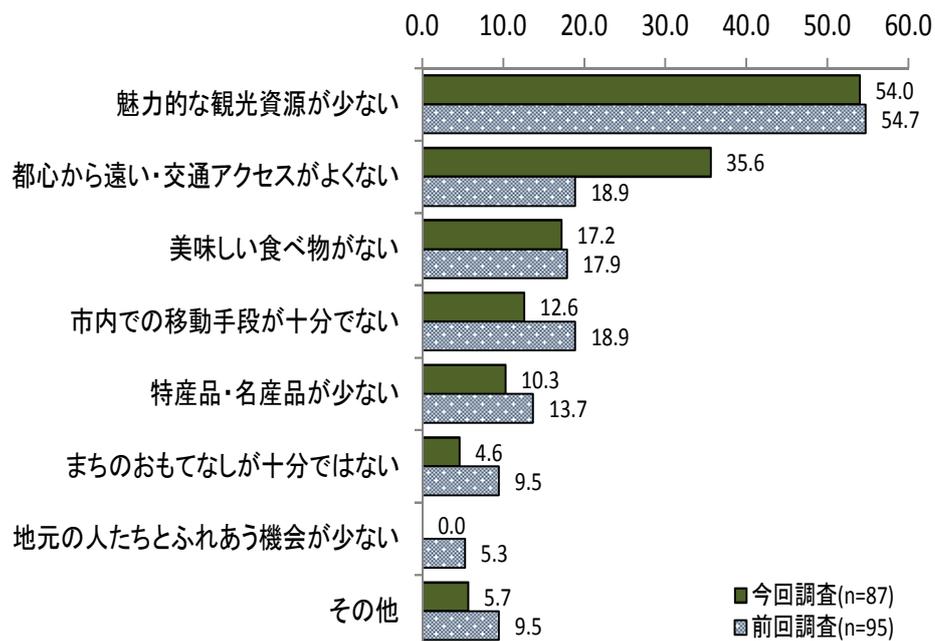
④居住地別

・千葉県内の都市部以外の地域は「魅力的な観光資源が少ない」の回答比率が他の居住地と比較して突出して高くなっている。「都心から遠い・交通アクセスがよくない」は千葉県内の都市部、「美味しい食べ物がない」「市内での移動手段が十分でない」は東京23区、横浜市及び川崎市の回答比率が最も高くなっている。



前回調査との比較

- 前回調査と比較して「都心から遠い・交通アクセスがよくない」の回答比率が大幅に増加している。

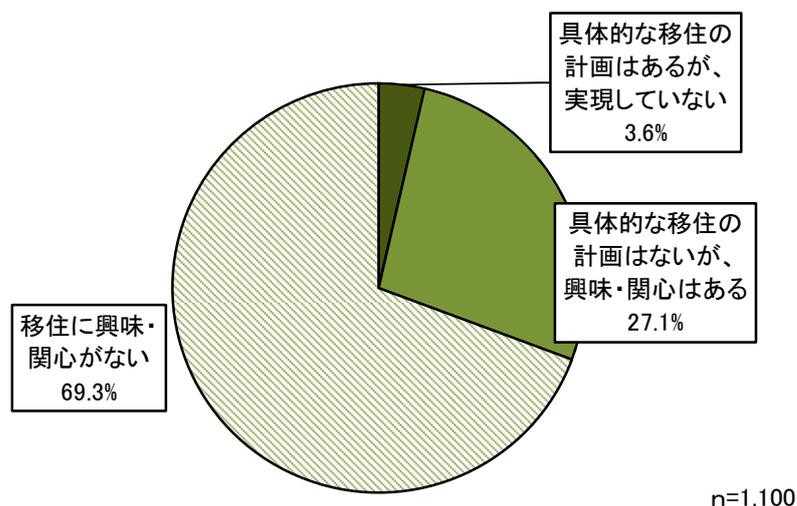


3. 移住意向

(1) 移住希望

Q12. あなたは、将来移住したいと思いますか（1つだけ）。

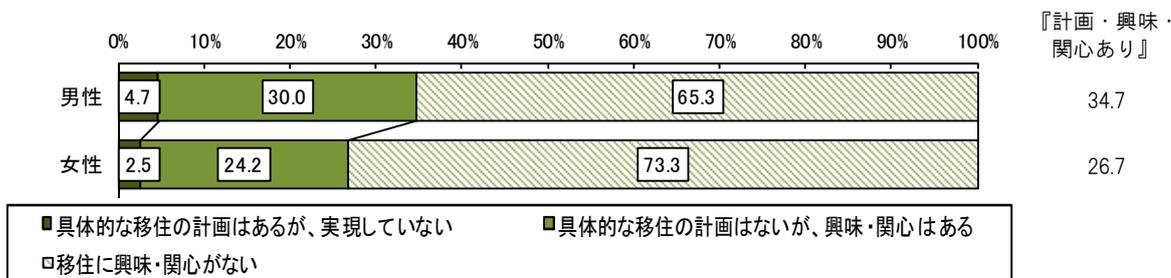
「具体的な移住の計画はあるが、実現していない」「具体的な移住の計画はないが、興味・関心はある」を合わせた『計画・興味・関心あり』は30.7%で、「移住に興味・関心がない」の69.3%を大きく下回っている。



■属性別動向

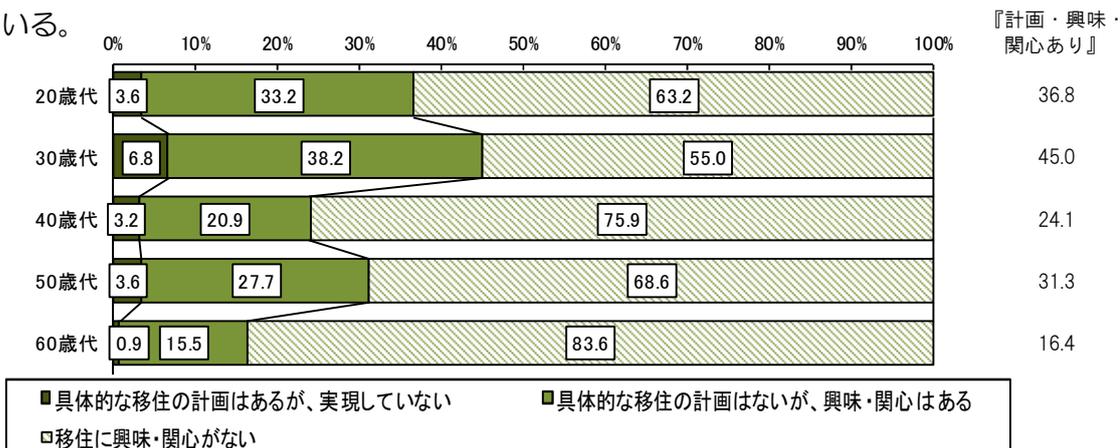
①性別

・『計画・興味・関心あり』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



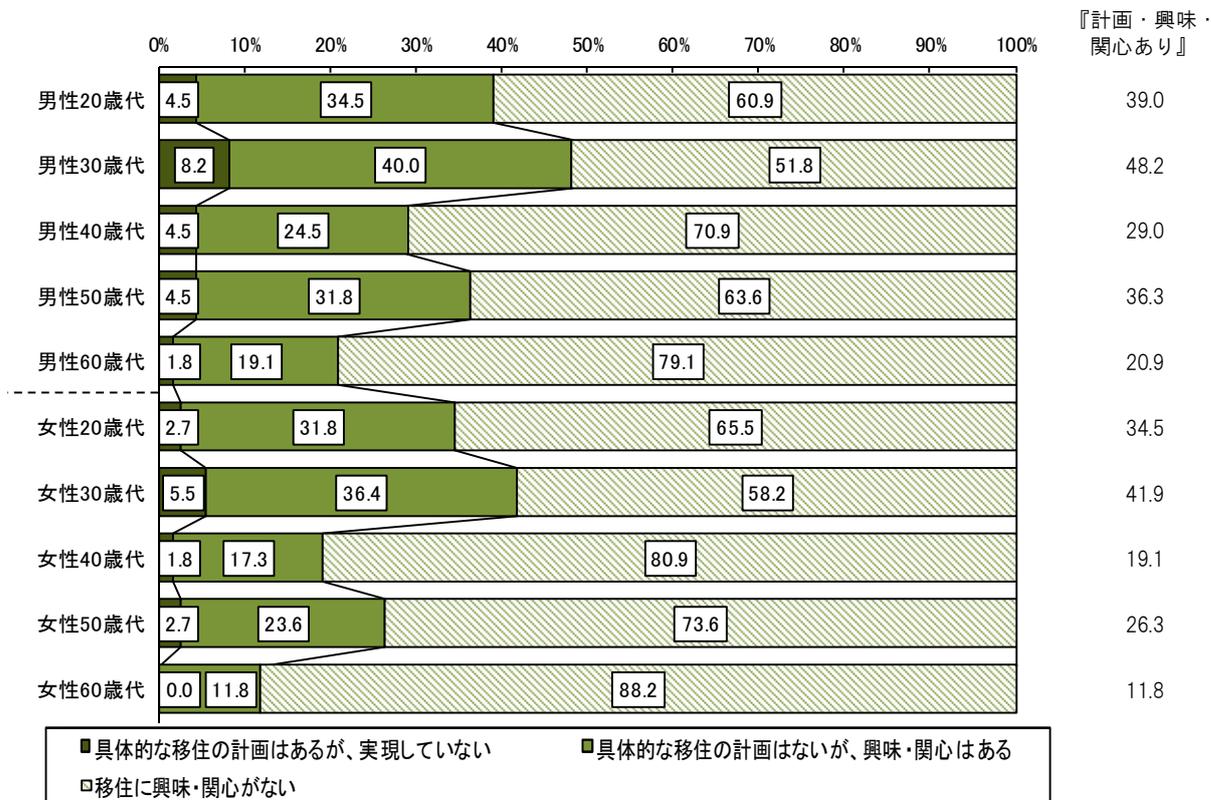
②年齢階層別

・『計画・興味・関心あり』の回答比率が最も高いのは30歳代で、最も低いのは60歳代となっている。



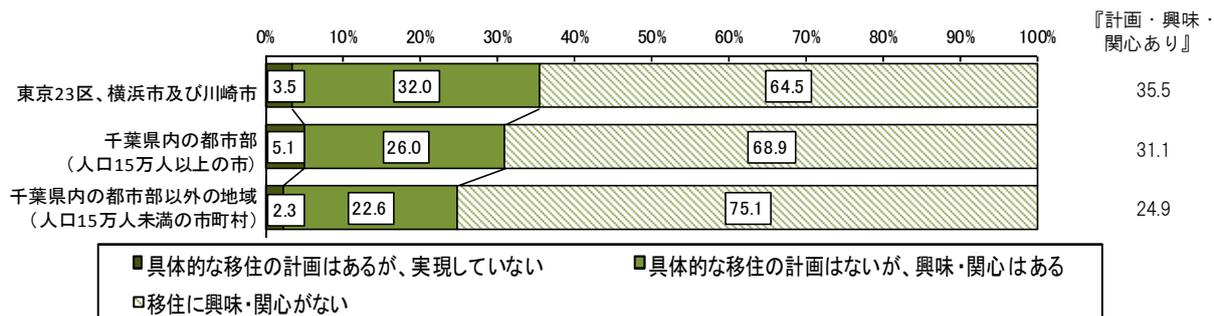
③性・年齢階層別

- 『計画・興味・関心あり』の回答比率が最も高いのは男性30歳代となっている。男女ともに『計画・興味・関心あり』の回答比率が高いのは20歳代と30歳代となっている。



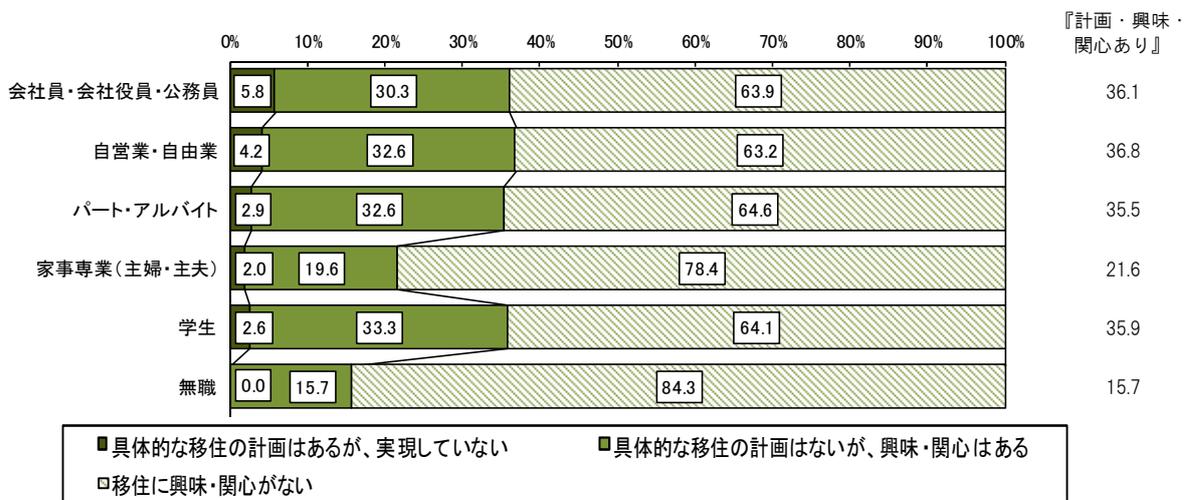
④居住地別

- 『計画・興味・関心あり』の回答比率が最も高いのは東京23区、横浜市及び川崎市となっている。



⑤職業別

- 『計画・興味・関心あり』の回答比率は、家事専業（主婦・主夫）と無職を除き、ほぼ同じとなっている。



前回調査との比較

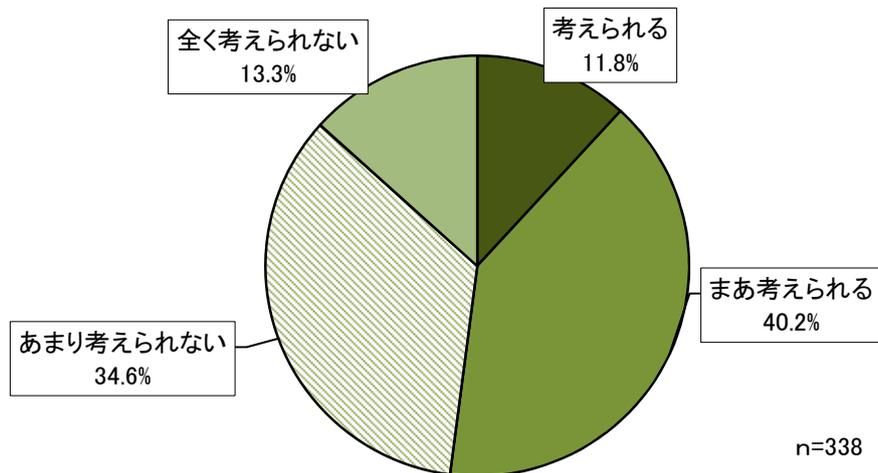
- 今回の調査において新たに設けた質問のため、前回調査との比較はできない。

(2) 市への移住

Q13. あなたは、富津市を将来の居住地の候補として考えることができますか（1つだけ）。

※Q12で「具体的な移住の計画はあるが、実現していない」または「具体的な移住の計画はないが、興味・関心はある」とした者のみ回答

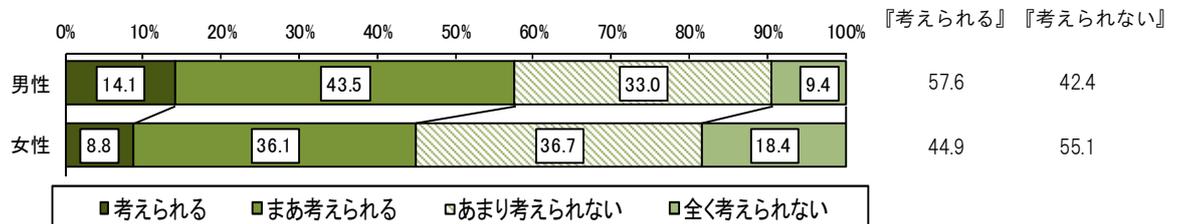
「考えられる」「まあ考えられる」を合わせた『考えられる』は52.0%で、「あまり考えられない」「全く考えられない」を合わせた『考えられない』の47.9%を上回っている。



■属性別動向

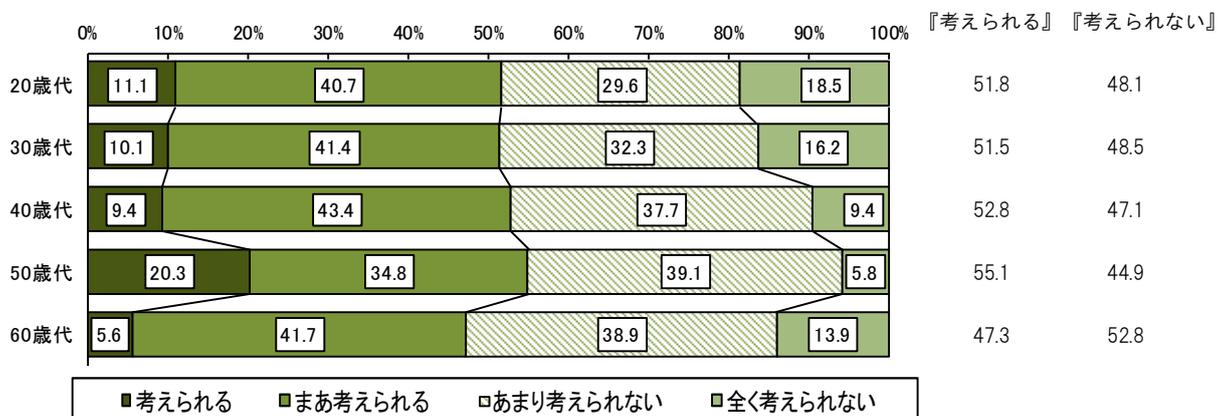
①性別

・『考えられる』の回答比率は、男性の方が高くなっている。



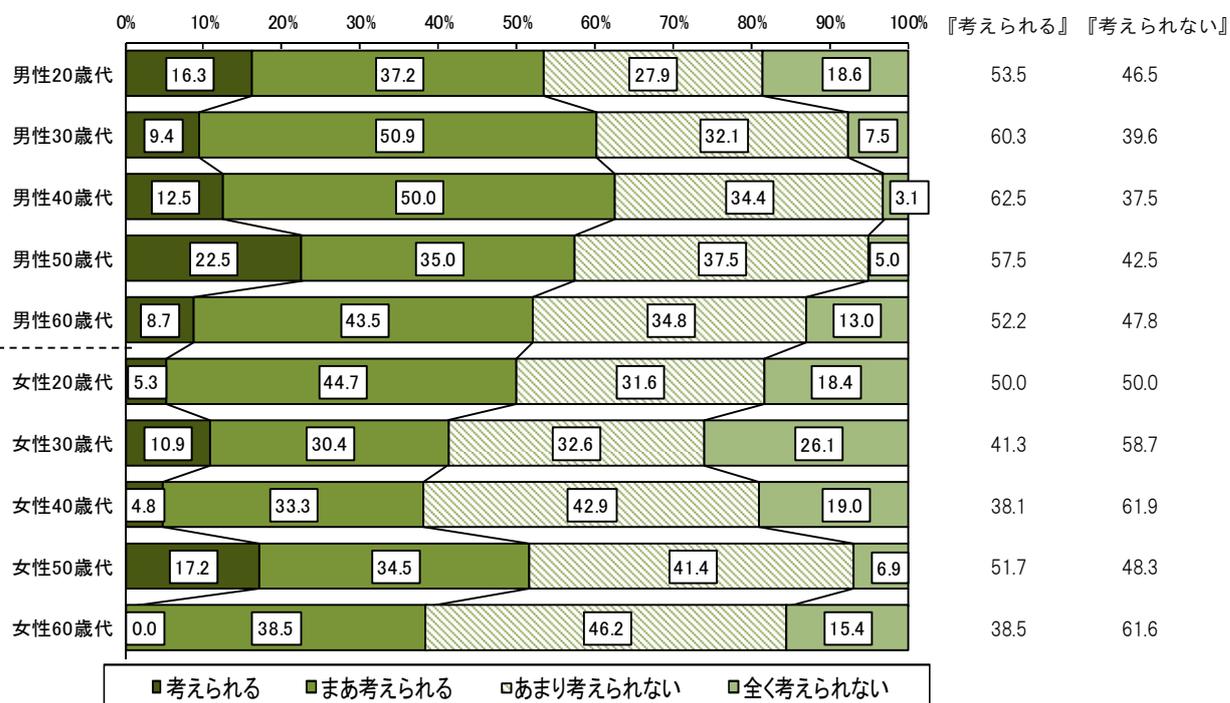
②年齢階層別

・『考えられる』の回答比率は、60歳代を除く全ての年代で5割を超えている。



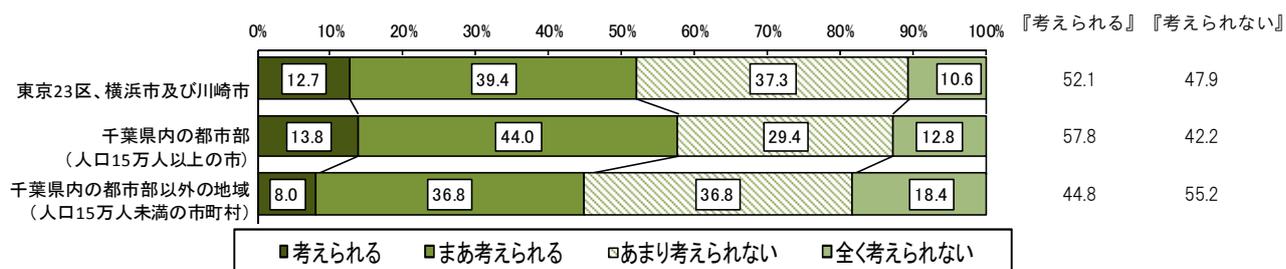
③性・年齢階層別

- 『考えられる』の回答比率は男性30歳代と男性40歳代が高く、6割を超えている。全ての年代で男性の方が『考えられる』の回答比率が高くなっている。



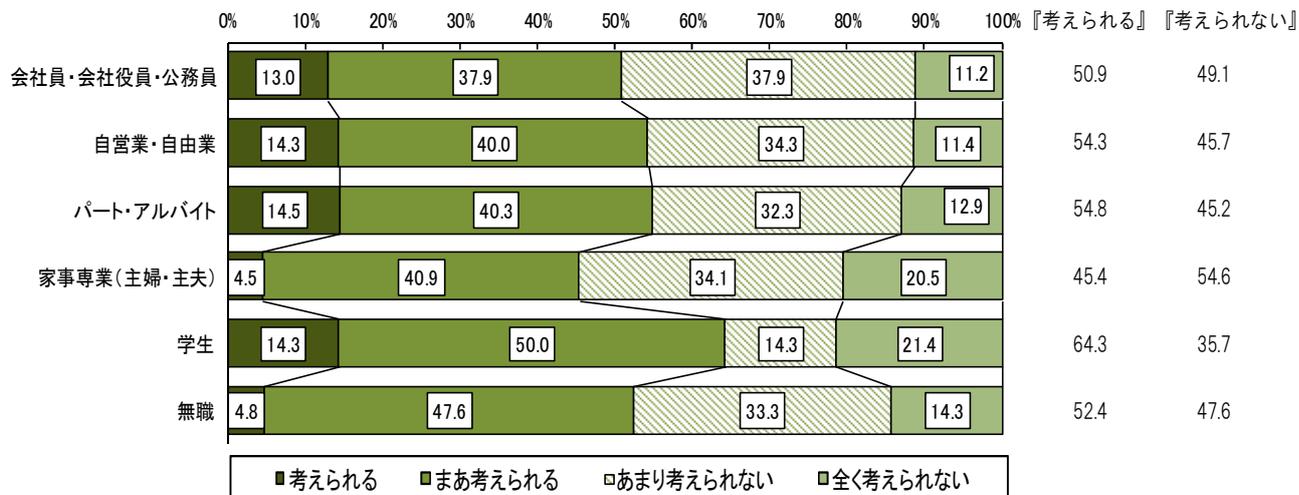
④居住地別

- 『考えられる』の回答比率は東京23区、横浜市及び川崎市と千葉県内の都市部で5割を超えている。



⑤職業別

- 『考えられる』の回答比率が最も高いのは学生となっている。家事専業（主婦・主夫）を除く全ての職業で『考えられる』の回答比率が5割を超えている。



前回調査との比較

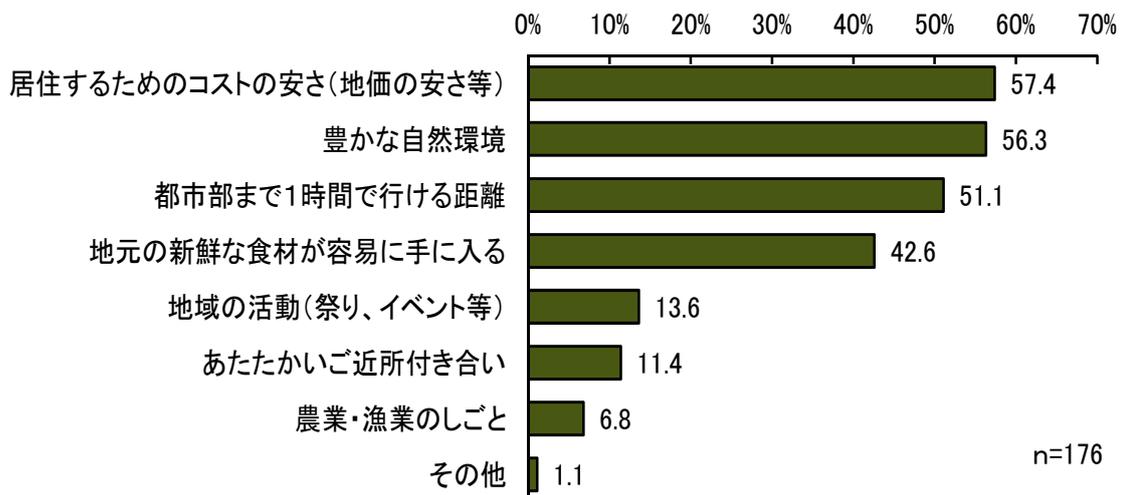
- 今回調査では、本設問の回答対象者を Q12 で「具体的な移住の計画はあるが、実現していない」または「具体的な移住の計画はないが、興味・関心はある」を選んだ人としているため、全ての人を対象とした前回調査との比較はできない。

(3) 移住を考えられる理由

Q14. あなたが、富津市に移住すると仮定した場合、その要因となるものはなんですか（3つまで）。

※Q13で「考えられる」または「まあ考えられる」とした者のみ回答

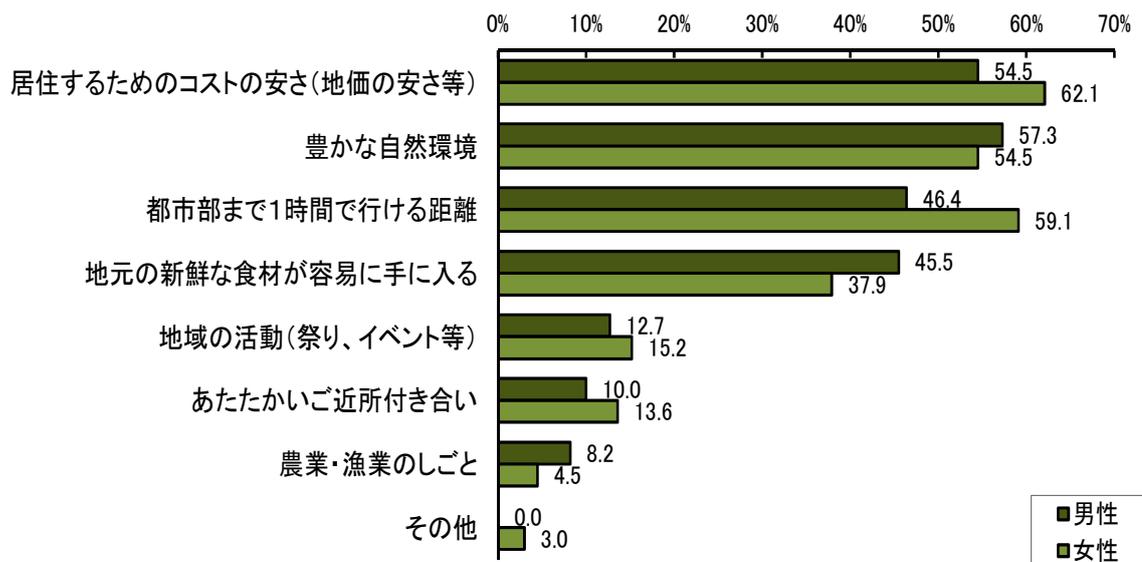
「居住するためのコストの安さ（地価の安さ等）」の比率が最も高く、次いで「豊かな自然環境」「都市部まで1時間で行ける距離」「地元の新鮮な食材が容易に手に入る」となっている。



■ 属性別動向

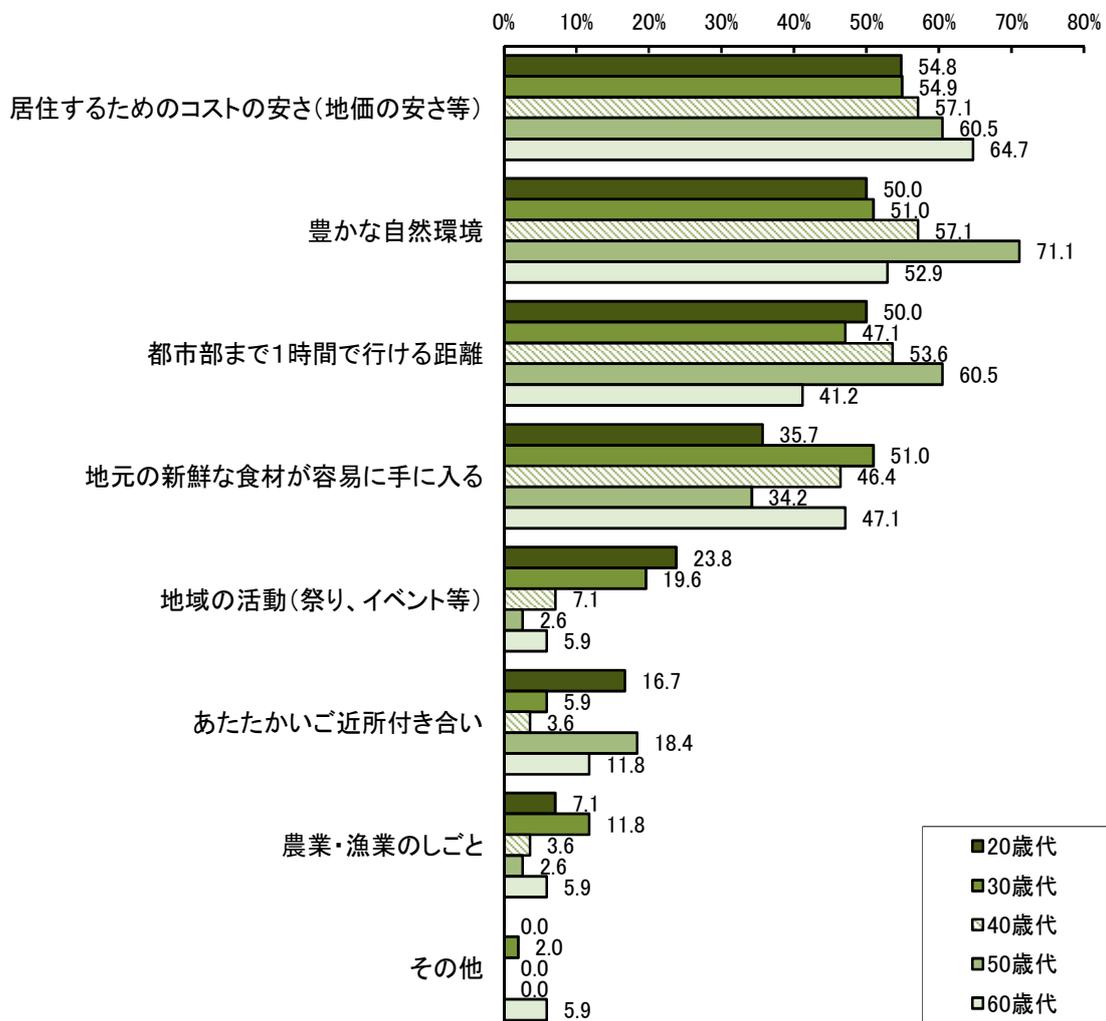
① 性別

・男女間の回答比率では「居住するためのコストの安さ（地価の安さ等）」「都市部まで1時間で行ける距離」「地元の新鮮な食材が容易に手に入る」で差異が目立つ。



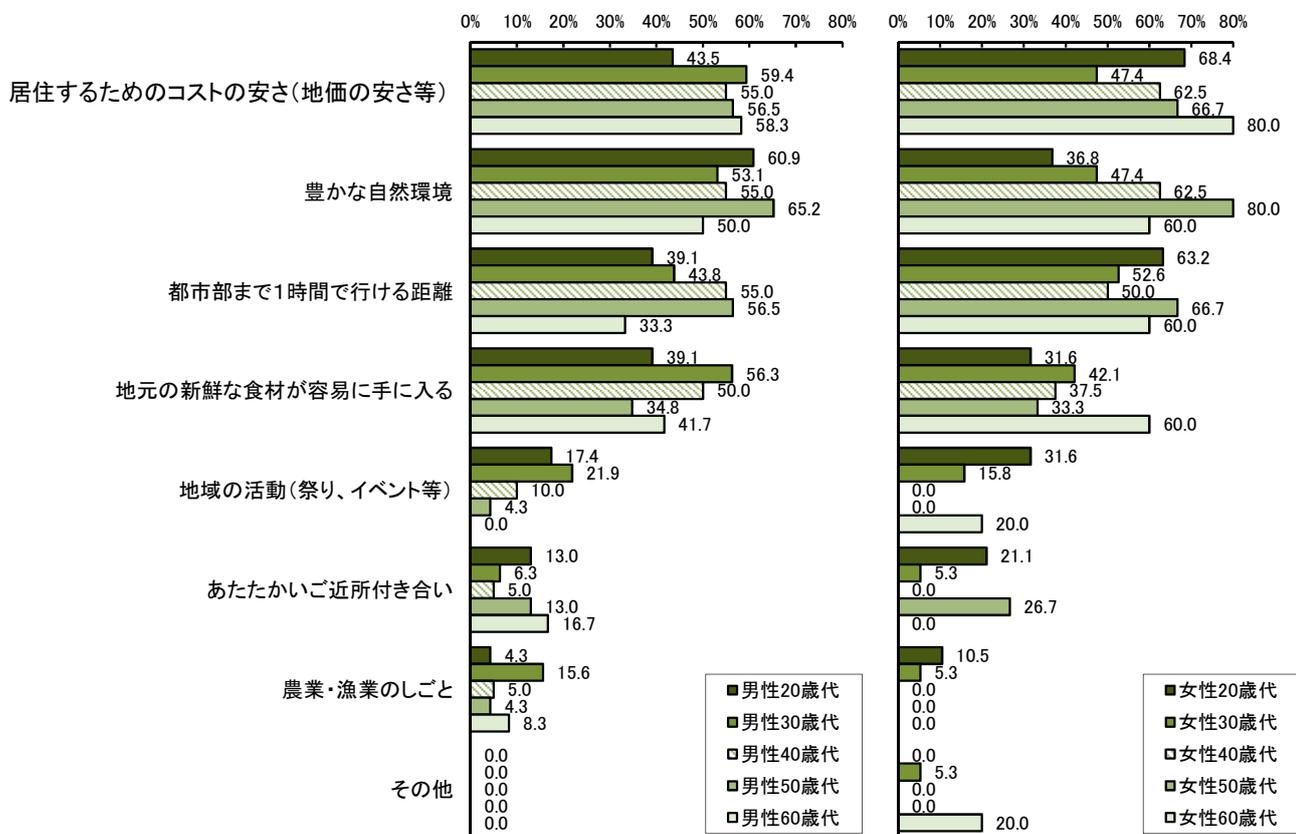
②年齢階層別

- ・「豊かな自然環境」と「都市部まで1時間で行ける距離」は50歳代の、「地域の活動（祭り、イベント等）」は20歳代と30歳代の、「あたたかいご近所付き合い」は20歳代と50歳代の回答比率が他の年代と比較して特に高くなっている。



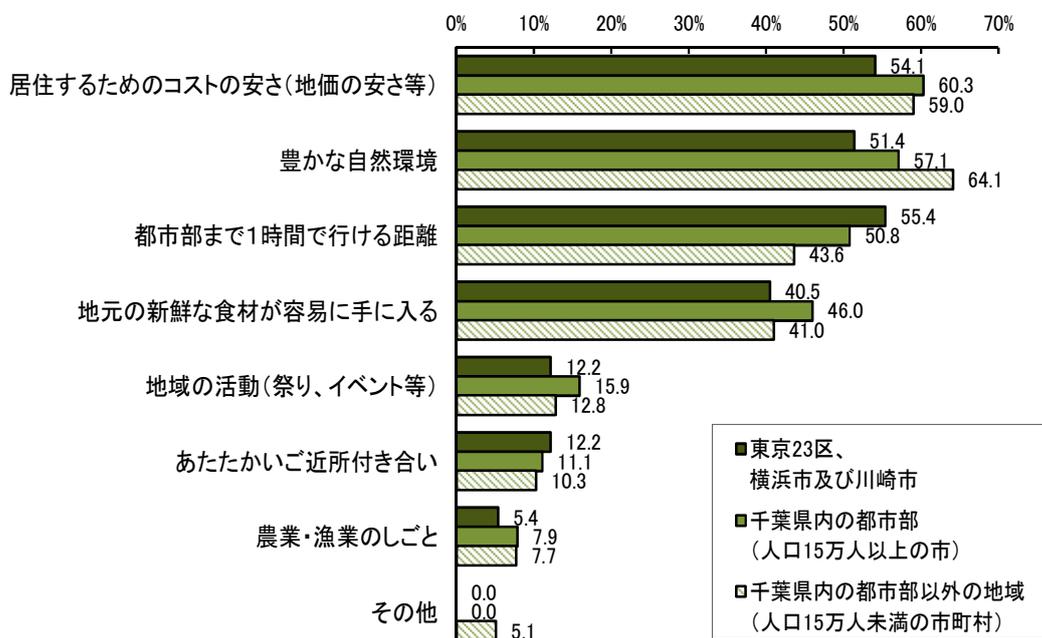
③性・年齢階層別

- ・「居住するためのコストの安さ（地価の安さ等）」の20歳代と60歳代、「豊かな自然環境」の20歳代、「都市部まで1時間で行ける距離」の20歳代と60歳代、「地元の新鮮な食材が容易に手に入る」の60歳代、「地域の活動（祭り、イベント等）」の60歳代の男女間の回答比率に大きな差異がみられる。



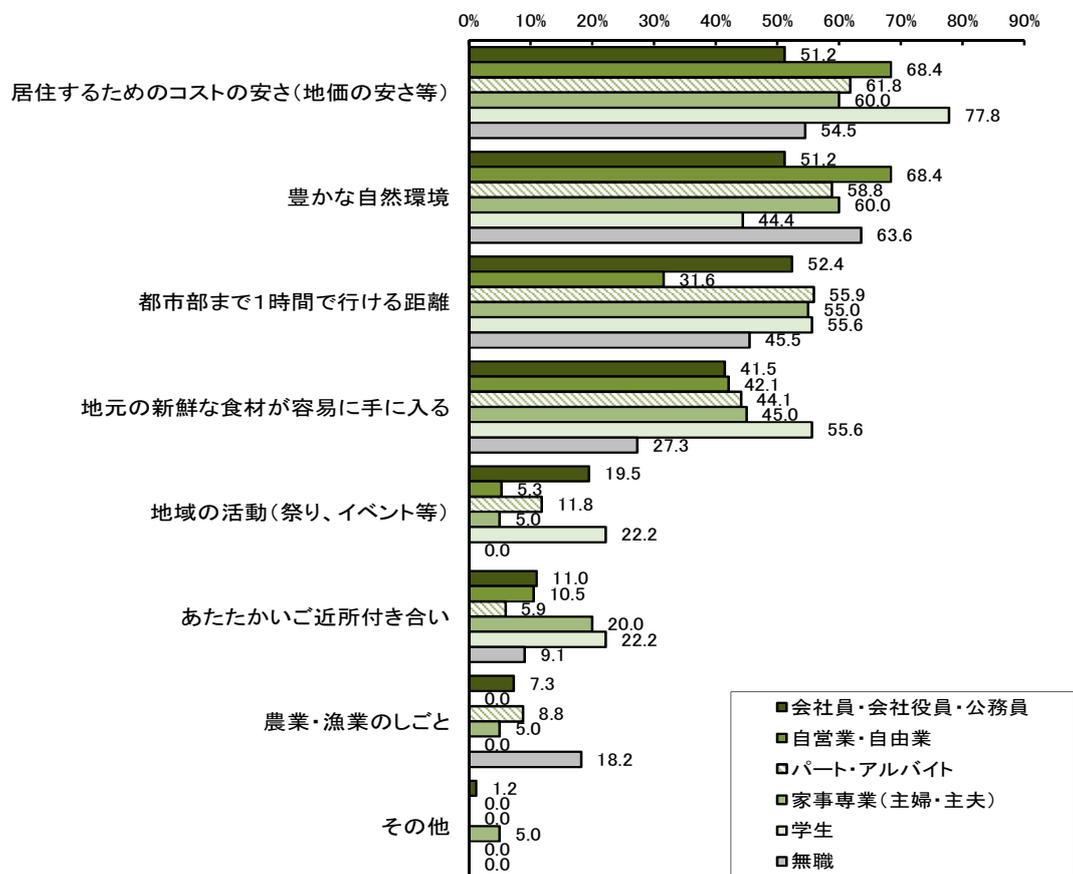
④居住地別

- ・「居住するためのコストの安さ（地価の安さ等）」「地元の新鮮な食材が容易に手に入る」は千葉県内の都市部、「豊かな自然環境」は千葉県内の都市部以外の地域、「都市部まで1時間で行ける距離」は東京23区、横浜市及び川崎市の回答比率が最も高くなっている。



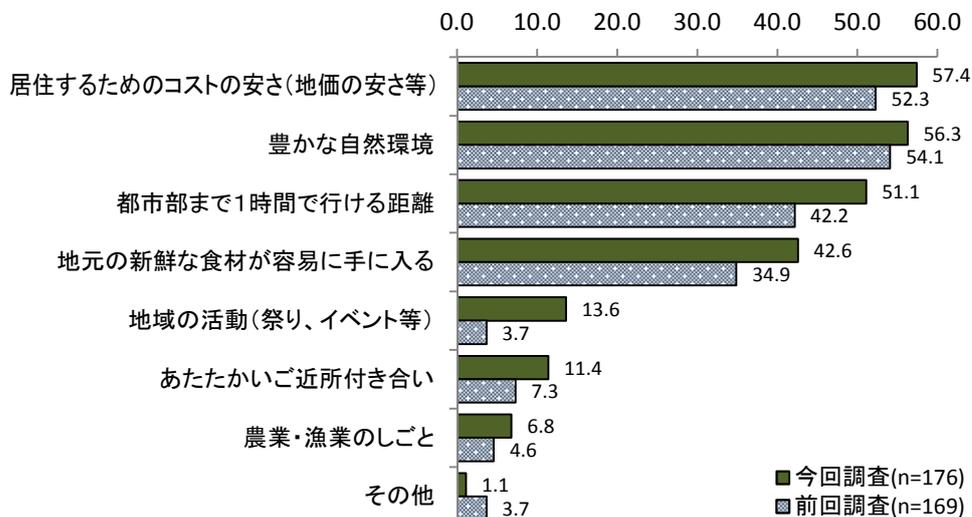
⑤職業別

- ・「居住するためのコストの安さ（地価の安さ等）」「地元の新鮮な食材が容易に手に入る」の回答比率が最も高いのは学生となっている。会社員・会社役員・公務員は「居住するためのコストの安さ（地価の安さ等）」「豊かな自然環境」「都市部まで1時間で行ける距離」の回答比率がほぼ同じとなっている。



前回調査との比較

- ・前回調査と比較して多くの項目で回答比率が増加している。中でも「都市部まで1時間で行ける距離」「地元の新鮮な食材が容易に手に入る」「地域の活動（祭り、イベント等）」の回答比率の増加が目立つ。

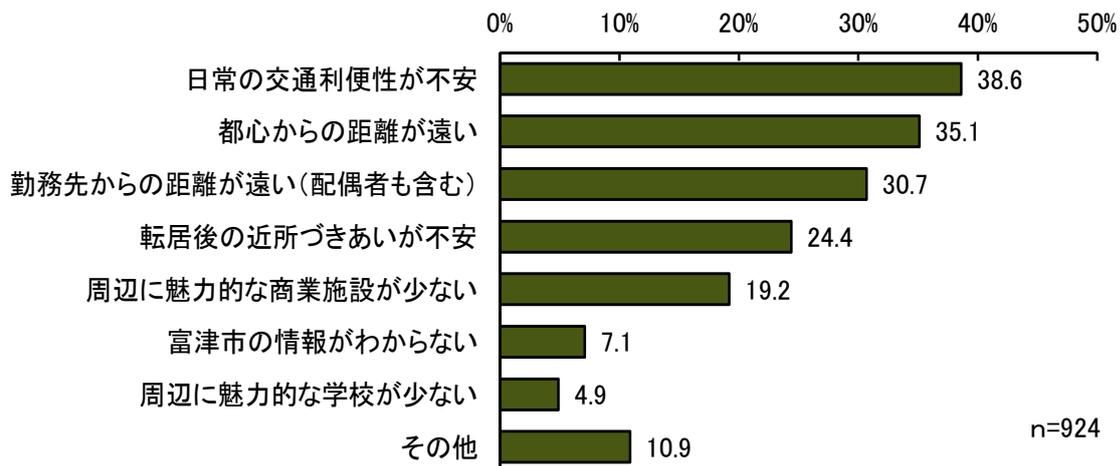


(4) 移住したくない理由

Q15. そのように否定的に感じるのは何故だと思いますか（いくつでも）。

※Q12 で「移住に興味・関心がない」、Q13 で「あまり考えられない」または「全く考えられない」とした者のみ回答

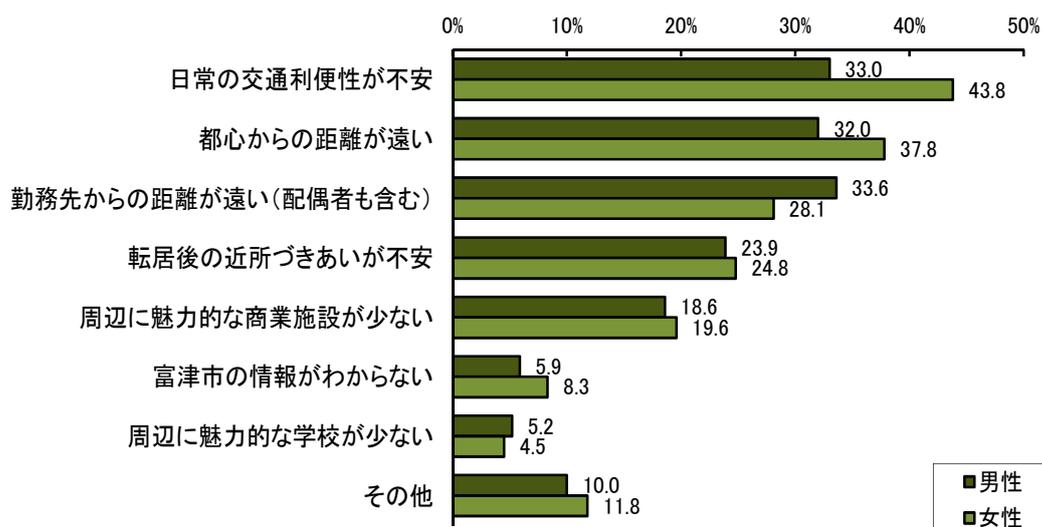
「日常の交通利便性が不安」の比率が最も高く、次いで「都心からの距離が遠い」「勤務先からの距離が遠い（配偶者も含む）」「転居後の近所づきあいが不安」となっている。



■属性別動向

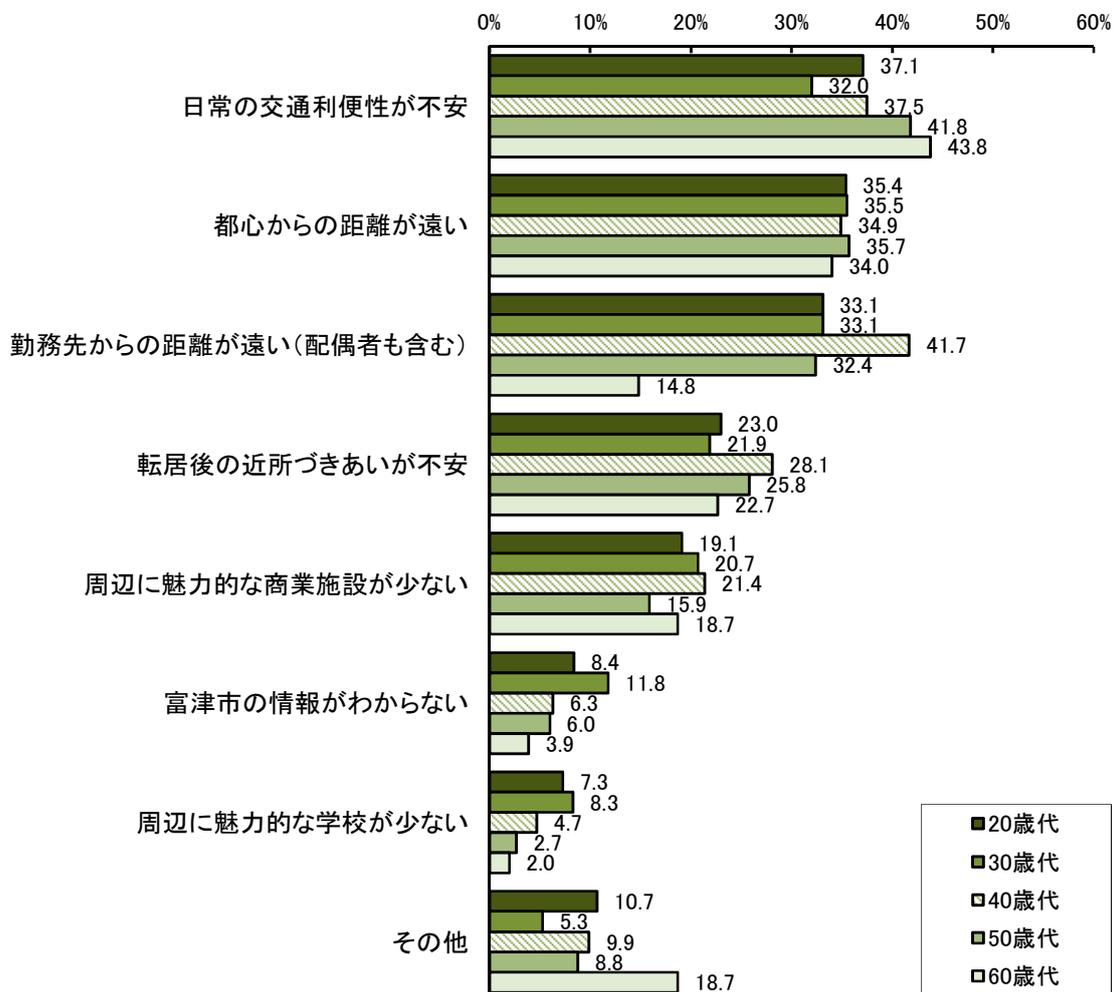
①性別

- 男女間の回答比率では「日常の交通利便性が不安」「都心からの距離が遠い」「勤務先からの距離が遠い（配偶者も含む）」で差異が目立つ。



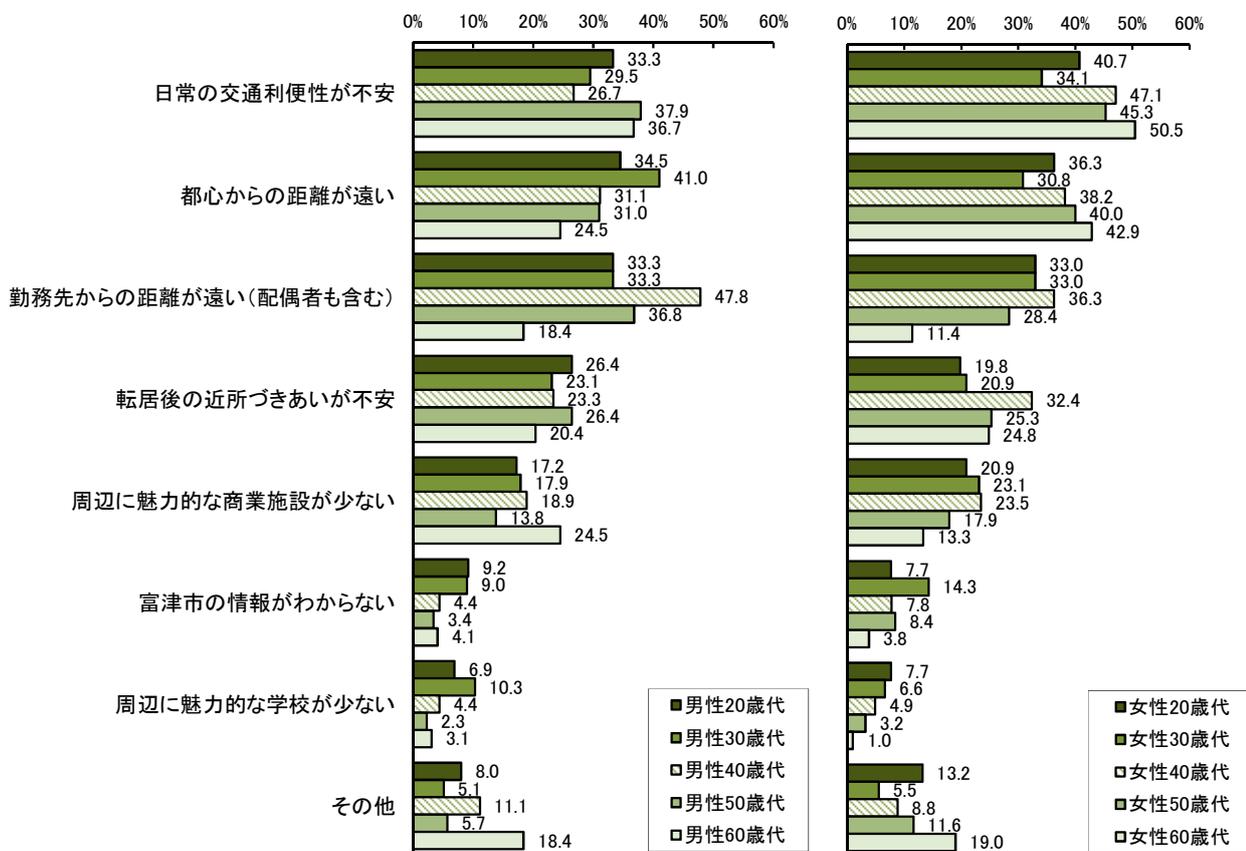
②年齢階層別

- 「勤務先からの距離が遠い（配偶者も含む）」は40歳代の回答比率が他の年代と比較して特に高くなっている。「日常の交通利便性が不安」の回答比率はおおむね年代が上がるにつれて高くなっている。「都心からの距離が遠い」の回答比率は全ての年代でほぼ同じとなっている。



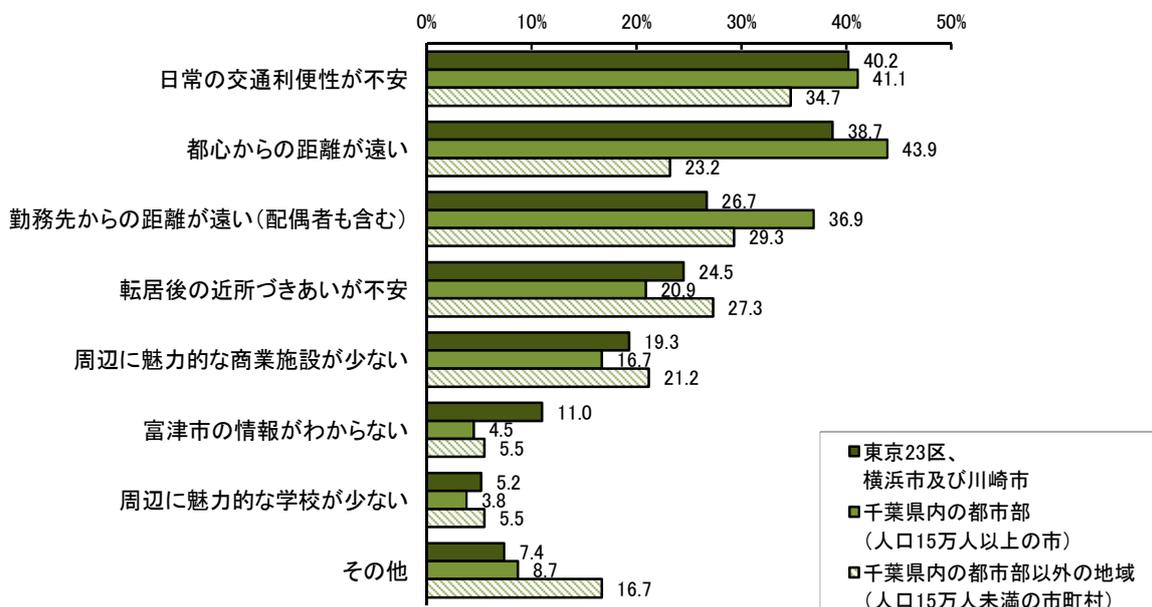
③性・年齢階層別

- 「日常の交通利便性が不安」の40歳代と60歳代、「都心からの距離が遠い」の30歳代と60歳代、「周辺に魅力的な商業施設が少ない」の60歳代の男女間の回答比率に大きな差異がみられる。



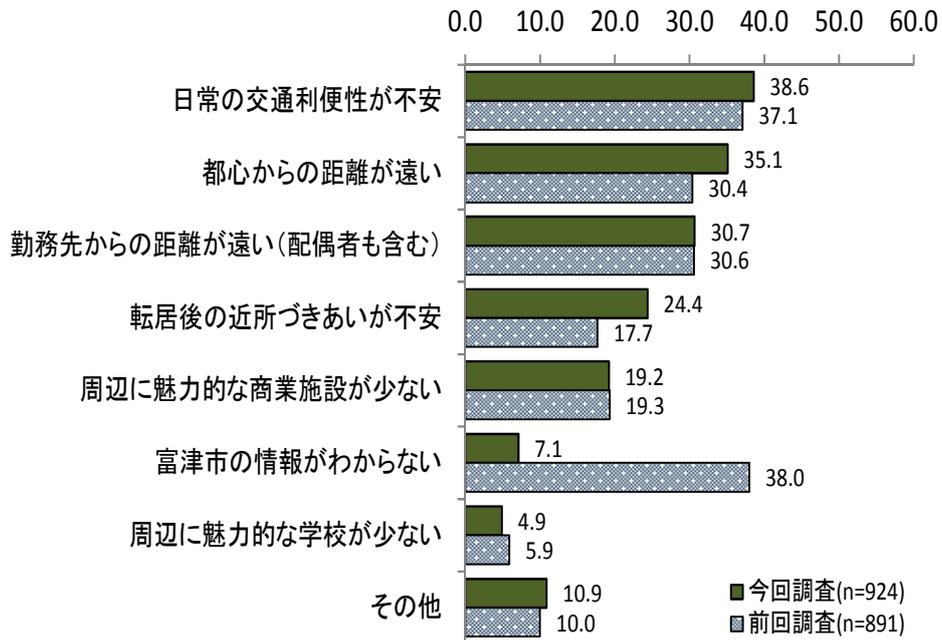
④居住地別

- 「日常の交通利便性が不安」「都心からの距離が遠い」「勤務先からの距離が遠い(配偶者も含む)」は千葉県内の都市部、「転居後の近所づきあいが不安」「周辺に魅力的な商業施設が少ない」は千葉県内の都市部以外の地域の回答比率が最も高くなっている。東京23区、横浜市及び川崎市は「日常の交通利便性が不安」「都心からの距離が遠い」の回答比率が高くなっている。



前回調査との比較

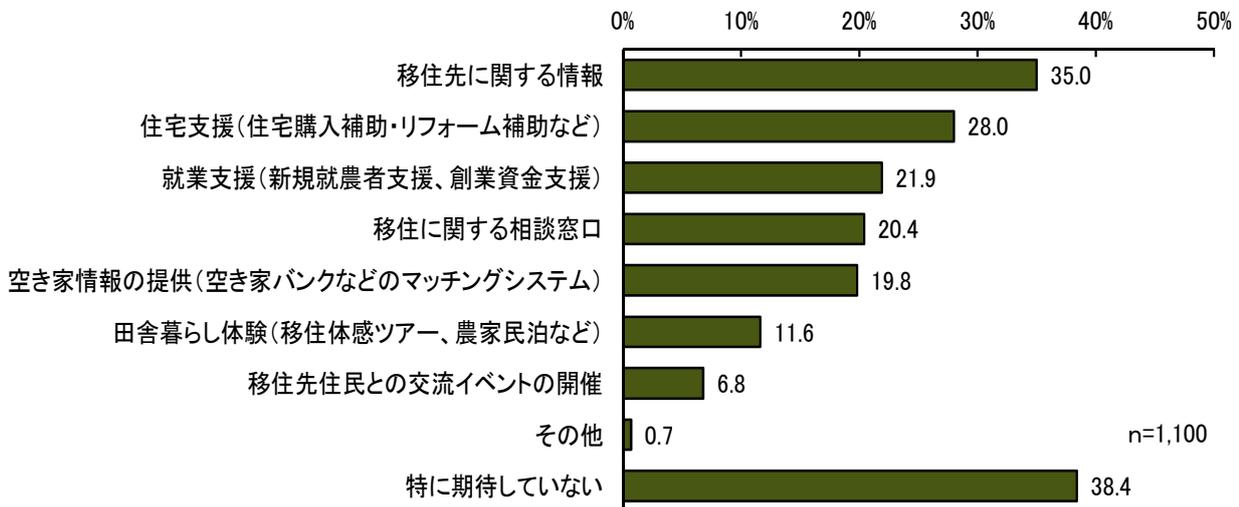
- 前回調査と比較して「富津市の情報がわからない」の回答比率が大幅に減少している。



(5) 移住に関して求めるもの

Q16. 地方移住に関して、あなたが求めるものは何ですか（3つまで）。

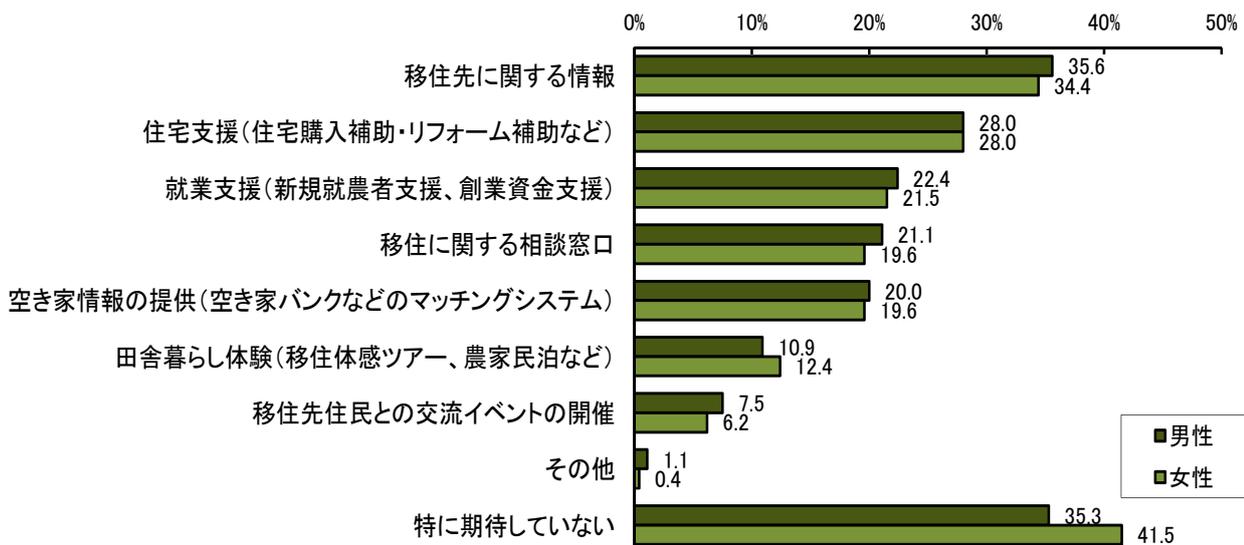
「特に期待していない」を除くと、「移住先に関する情報」の比率が最も高く、次いで「住宅支援（住宅購入補助・リフォーム補助など）」「就業支援（新規就農者支援、創業資金支援）」「移住に関する相談窓口」となっている。



■ 属性別動向

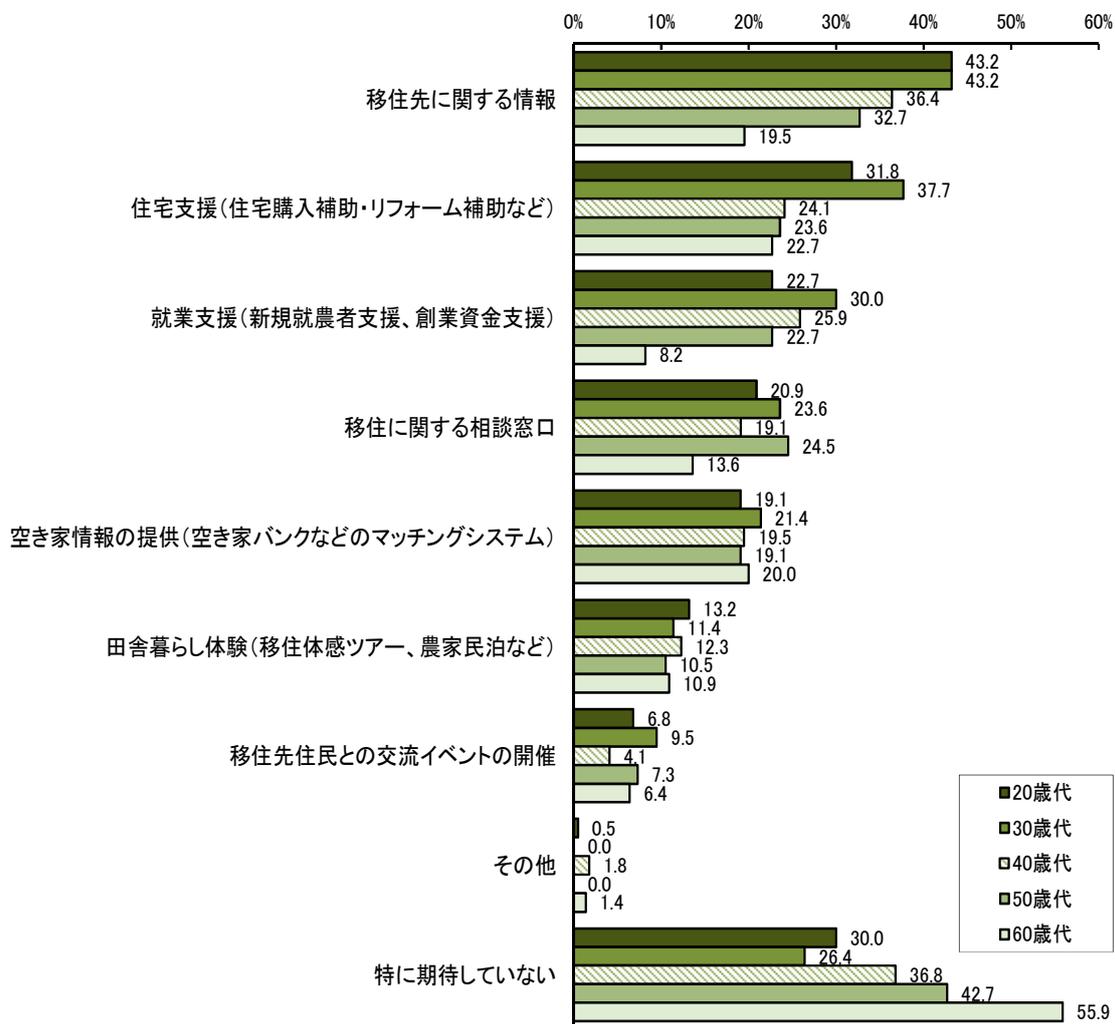
① 性別

- 「特に期待していない」を除くと、男女ともに「移住先に関する情報」の回答比率が最も高くなっている。男女間で回答比率に大きな差は生じていない。



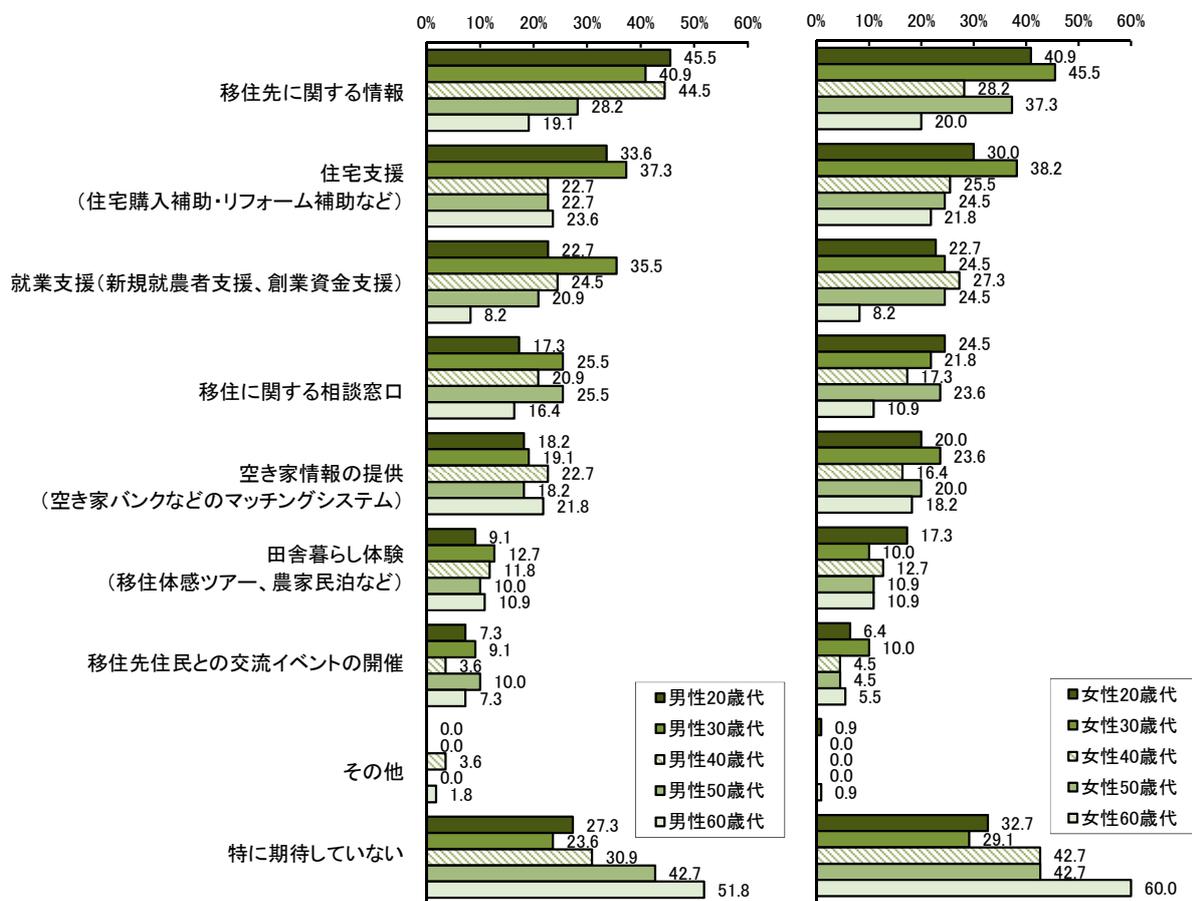
②年齢階層別

- ・「移住先に関する情報」と「住宅支援（住宅購入補助・リフォーム補助など）」は 20 歳代と 30 歳代の、「就業支援（新規就農者支援、創業資金支援）」は 30 歳代の回答比率が他の年代と比較して特になくなっている。



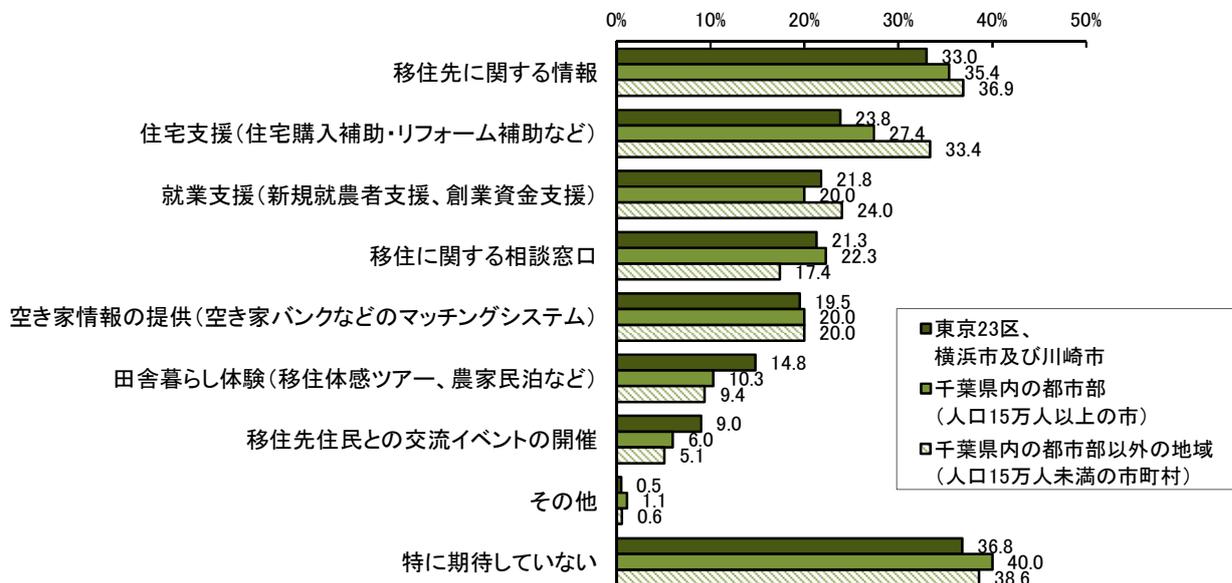
③性・年齢階層別

- 「移住先に関する情報」の40歳代、「就業支援（新規就農者支援、創業資金支援）」の30歳代、「移住に関する窓口」と「田舎暮らし体験（移住体感ツアー、農家民泊など）」の20歳代の男女間の回答比率に大きな差異がみられる。



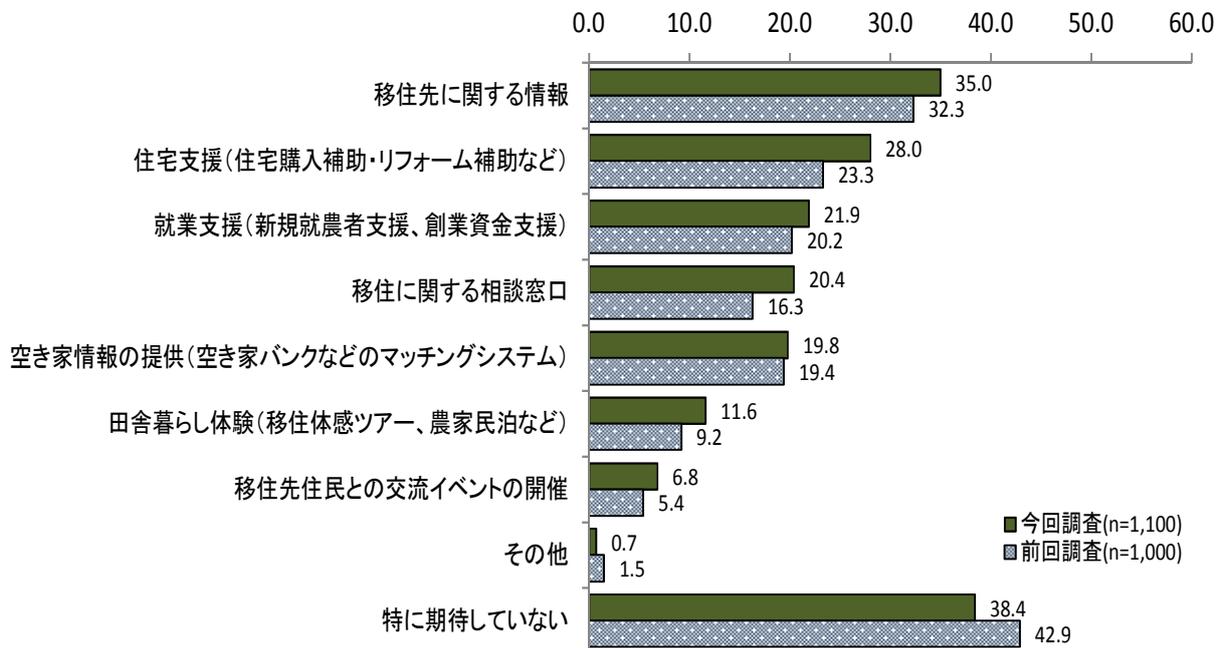
④居住地別

- 「特に期待していない」を除くと、全ての居住地で「移住先に関する情報」の回答比率が最も高くなっている。千葉県内の都市部以外の地域は「住宅支援（住宅購入補助・リフォーム補助など）」の、東京23区、横浜市及び川崎市は「田舎暮らし体験（移住体感ツアー、農家民泊など）」の回答比率が他の居住地と比較して特になくなっている。



前回調査との比較

- 前回調査と比較して「住宅支援（住宅購入補助・リフォーム補助など）」「移住に関する窓口支援」の回答比率の増加が目立つ。



市外居住者アンケート調査報告書

発行年月 平成31年3月

発行 富津市

〒293-8506 富津市下飯野 2443 番地

Tel 0439-80-1223

ホームページアドレス

<http://www.city.futtsu.lg.jp/>

Eメールアドレス

info@city.futtsu.chiba.jp

編集 富津市総務部企画課

